

平成 30 年度（2018 年度）
大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

平成 31 年 3 月



平成 30 年度 (2018 年度)
大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

< 目 次 >

< I ・ 調査方法等 >	
1. 調査概要	1
2. 表記区分	1
3. 注意事項	2
< II ・ 回収状況 >	
回収状況	5
< III ・ 調査結果及びその概要 >	
1. 学校全体の学生数	7
2. 障害学生数	8
(1) 障害学生数	
(2) 障害学生在籍率	
(3) 障害種別の障害学生数	
(4) 障害種別・学科（専攻）別	
ア 大学	
イ 短期大学	
ウ 高等専門学校	
(5) 発達障害又は精神障害と他の障害の重複（障害種別）	
3. 障害学生在籍学校数	16
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別	
4. 支援障害学生数	19
(1) 支援障害学生数	
(2) 支援障害学生在籍率・障害学生支援率	
(3) 障害種別の支援障害学生数	
(4) 障害種別・学科（専攻）別	
ア 大学	
イ 短期大学	
ウ 高等専門学校	
(5) 発達障害又は精神障害と他の障害の重複（障害種別）	
5. 支援障害学生在籍学校数	27
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別	
6. 支援の実施状況	30
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別	
ア 授業支援（総表）	
イ 授業以外の支援（総表）	
ウ 授業支援（大学）	
エ 授業以外の支援（大学）	
オ 授業支援（短期大学）	
カ 授業以外の支援（短期大学）	
キ 授業支援（高等専門学校）	
ク 授業以外の支援（高等専門学校）	

(3) 主な支援	
ア 視覚障害	
イ 聴覚・言語障害	
ウ 肢体不自由	
エ 病弱・虚弱	
オ 発達障害	
カ 精神障害	
7. 障害学生支援に関する体制等	42
(1) 障害者差別解消法に関する対応要領等 (障害学生数別・学校種別)	
(2) 専門委員会等の設置状況 (障害学生数別・学校種別)	
(3) 紛争の防止、解決等に関する調整機関の設置状況 (障害学生数別・学校種別)	
(4) 1) 障害学生支援担当部署の設置状況 (障害学生数別・学校種別)	
2) 障害学生支援担当者の配置状況 (障害学生数別・学校種別)	
3) 障害学生支援担当者の職種 (職種別・障害学生在籍数別・学校種別)	
(5) 障害学生の相談受付窓口	
(6) 支援の申し出等に関する対応手順	
(7) 施設・設備の整備状況 (学校種別・内容別)	
(8) 支援学生 (障害学生を支援する学生) 在籍学校数 (支援学生数別・学校種別)	
8. 障害学生支援に関する活動や取組実施状況	52
(1) 学校種別・障害学生在籍者数別	
(2) 学校種別・内容別	
9. 障害のある生徒の受入に関する配慮及び入学者数等	56
(1) 入学者選抜における配慮に関する体制	
(2) 入学者選抜において実施可能な配慮	
(3) 障害のある入学者数等 (障害種別・学校種別)	
(4) 受験上の配慮を行なった受験者数 (障害種別・学校種別)	
(5) 入学者選抜において実施した配慮の内容 (障害種別)	
10. 障害学生の卒業後の進路	63
進路状況 (学校種別・障害種別)	
11. 発達障害学生支援状況 (一部再掲)	68
(1) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数 (学校種別)	
(2) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数 (学科 (専攻) 別)	
(3) 発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数 (学校種別)	
(4) 発達障害のある学生への支援 (支援内容別)	
(5) 発達障害を理由とする受験上の配慮 (学校種別)	
(6) 発達障害学生の卒業後の進路状況 (学校種別)	
<IV・参考資料>	
調査の手引	75
調査票 (大学・大学院用)	87

< I・調査方法等 >

1. 調査概要

- (1) 目的：障害のある学生（以下「障害学生」という）の今後の修学支援に関する方策を検討する上で、全国の大学、短期大学及び高等専門学校（以下「学校」という）における障害学生の状況及びその支援状況について把握し、障害学生の修学支援の充実に資する。
- (2) 対象：大学（大学院、大学院大学及び専攻科を含む。以下同じ）、短期大学（大学内に短期大学部を有している場合を含む。専攻科を含む。以下同じ）、高等専門学校（専攻科を含む。以下同じ）
- (3) 調査方法：悉皆調査
- 各学校が独立行政法人日本学生支援機構のウェブサイトより調査票をダウンロードし、回答を記入後、メール添付にて提出する。
- (4) 調査期日：平成30年5月1日現在

2. 表記区分

(1) 学校種別

学校種別	区 分
大 学	大学(大学院、大学院大学及び専攻科を含む)
短期大学	短期大学(大学内に短期大学部を有している場合を含む。専攻科を含む)
高等専門学校	高等専門学校(専攻科を含む)

(2) 課程別

学校種別	課程別	区 分
大 学	学部(通学)	学部生<通学制>
	学部(通信)	学部生<通信制>
	大学院(通学)	大学院生<通学制>
	大学院(通信)	大学院生<通信制>
	専攻科	専攻科生
短期大学	学科(通学)	学科生<通学制>
	学科(通信)	学科生<通信制>
	専攻科	専攻科生
高等専門学校	本科(通学)	本科生
	専攻科	専攻科生

※調査対象には、研究生、科目等履修生、聴講生及び別科生は含まない。

(3) 障害種別

障害種別	区 分
視覚障害	盲、弱視
聴覚・言語障害	聾、難聴、言語障害のみ
肢体不自由	上肢機能障害、下肢機能障害、上下肢機能障害、他の機能障害
病弱・虚弱	内部障害等、他の慢性疾患
重複	重複
発達障害 (診断書有)	S L D (限局性学習症／限局性学習障害)、ADHD (注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害)、A S D (自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害)、発達障害の重複
精神障害	統合失調症等、気分障害、神経症性障害等、摂食障害・睡眠障害等、他の精神障害
その他の障害	上記に該当しない障害
発達障害 (診断書無・配慮有)	S L D (限局性学習症／限局性学習障害)、ADHD (注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害)、A S D (自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害)

3. 注意事項

(1) 本調査における用語の定義

- ①「障害学生」とは、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳を有している学生又は健康診断等において障害があることが明らかになった学生(重複する場合は実数)
- ②「支援障害学生」とは、学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている(今年度中の支援予定を含む)障害学生

支援例：ノートテイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障、学内学生生活、キャリア・就職等に関する支援等

③障害種別の内訳区分

【視覚障害】

盲……視覚による教育が不可能又は著しく困難で、主として触覚及び聴覚など、視覚以外の感覚を利用しての教育が必要な程度

弱視……視覚による教育は可能であるが、文字の拡大など教育上特別の配慮が必要な程度

【聴覚・言語障害】

聾……両耳の聴力損失 60 デシベル以上、又は補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能、又は著しく困難な程度

難聴……両耳の聴力損失 60 デシベル未満、又は補聴器を使用すれば通常の話声を解することが可能な程度

言語障害のみ……発声、発語に関する機能障害(構音障害、音声障害、流暢性の障害、言語発達遅滞、口蓋裂)

【肢体不自由】

上肢機能障害……腕、手、指および各関節に関する機能障害

下肢機能障害……脚、足指および各関節に関する機能障害

上下肢機能障害……上肢、下肢の両方に関する機能障害

他の機能障害……体幹（胴体）に関する機能障害、体幹と上肢の機能障害、体幹と下肢の機能障害、体幹と上下肢の機能障害および運動の障害

【病弱・虚弱】

内部障害等……心臓機能障害、じん臓機能障害、呼吸器機能障害、ぼうこう又は直腸の機能障害、小腸機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、肝臓機能障害及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者

他の慢性疾患……身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者 又は、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者（てんかん、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アナフィラキシー等で、身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする者はここに計上する）※上記は、「学校教育法施行令 障害の程度」及び「身体障害者障害程度等級表」または「小児慢性特定疾患」に該当する者を指す。これに当てはまらない疾患等については、「その他の障害」に計上する。

【重複】

以下の通り、障害が重複している者

○ 2つの身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害、視覚障害と肢体不自由、視覚障害と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由、聴覚・言語障害と病弱・虚弱、肢体不自由と病弱・虚弱

○ 3つ以上の身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由、視覚障害と聴覚・言語障害と病弱・虚弱、視覚障害と肢体不自由と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱、視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱

※発達障害又は精神障害と他の障害の重複については、ここには計上しない。

（別途調査：14,15 ページ、25,26 ページ参照）

【発達障害（診断書有）】

発達障害に関する医師の診断書がある者

S L D……限局性学習症／限局性学習障害（旧 L D：学習障害）

A D H D……注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害（旧注意欠陥／多動性障害）

A S D……自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害（旧高機能自閉症等：高機能自閉症及びアスペルガー症候群）

発達障害の重複……上記の3つのいずれかが重複している者

【精神障害】

統合失調症等……統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害（ICD-10 F20-F29 に該当する疾患）

気分障害……躁病エピソード、双極性感情障害、うつ病エピソード、反復性うつ病性障害、持続性気分（感情）障害等（ICD-10 F30-F39 に該当する疾患）

神経症性障害等……不安障害、強迫性障害（強迫神経症）、重度ストレスへの反応及び適応障害、解離性（転換性）障害、身体表現性障害、神経衰弱等（ICD-10 F40-F48 に該当する疾患）

摂食障害・睡眠障害等……摂食障害、睡眠障害、依存を生じない物質の乱用等（ICD-10 F50-F59 に該当する疾患）

※ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群はここに計上する。

他の精神障害……上記に当てはまらない精神障害。高次脳機能障害、依存症候群、人格障害、トゥレット症候群、性別違和（性同一性障害）、緘黙症、知的障害、診断名が確定していない抑うつ状態等。

【その他の障害】

視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複、発達障害及び精神障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある者 又は、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者

※多汗症、原因の特定できない過敏性腸症候群、頻尿等はここに計上する。

(2) 発達障害学生数について

発達障害については、医師の診断書がない場合は「障害学生数」には含めていない。しかしながら、学校における支援の実態等に鑑み、以下の定義により、発達障害（診断書無・配慮有）の学生数、支援内容について回答を得ている。

【発達障害（診断書無・配慮有）】

発達障害であるとの医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、学校が何らかの支援（教育上の配慮等）を行なっている者

※何らかの支援（教育上の配慮等）とは、学内の組織、部署等の業務として行なっているもので、一部の教職員が個人的に行なっているものは含まない。

S L D……限局性学習症／限局性学習障害（旧 L D：学習障害）

A D H D……注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害（旧注意欠陥／多動性障害）

A S D……自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害（旧高機能自閉症等：高機能自閉症及びアスペルガー症候群）

区分不明……上記の3つのいずれに該当するか不明の者

< Ⅱ・回収状況 >

回収状況

本年度の回収率は100%。

なお、本調査の回収率は、調査を開始した平成17年度が90.5%、平成18年度が93.8%、平成19年度からは、平成24年度（※）を除き回収率100%を達成している。

※閉校となる私立大学1校が未回答のため99.9%

区 分		対象校数 (校)		回答校数 (校)		回収率 (%)	
大学	国立	86	(86)	86	(86)	100.0	(100.0)
	公立	92	(89)	92	(89)	100.0	(100.0)
	私立	607	(607)	607	(607)	100.0	(100.0)
	小計	785	(782)	785	(782)	100.0	(100.0)
短期大学	国立	—	(—)	—	(—)	—	(—)
	公立	17	(16)	17	(16)	100.0	(100.0)
	私立	310	(31)	310	(31)	100.0	(100.0)
	小計	327	(331)	327	(331)	100.0	(100.0)
高等専門 学校	国立	51	(51)	51	(51)	100.0	(100.0)
	公立	3	(3)	3	(3)	100.0	(100.0)
	私立	3	(3)	3	(3)	100.0	(100.0)
	小計	57	(57)	57	(57)	100.0	(100.0)
計		1,169	(1,170)	1,169	(1,170)	100.0	(100.0)

【留意点】

①表中の（ ）内は、平成29年度の調査結果の数値である。

②表中の比率（%）については、四捨五入の都合で内訳の和と合計の値が合わない場合がある。

※上記の【留意点】については、次の<Ⅲ・調査結果及びその概要>においても同様である。

< Ⅲ・調査結果及びその概要 >

1. 学校全体の学生数

学校からの回答における平成30年5月1日時点の学生数

表1 学校全体の学生数 [学校種別・設置者別・課程別]

(人)	計	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
計	3,212,010 (3,198,451)	2,768,909 (2,754,961)	178,940 (184,201)	254,302 (249,303)	3,896 (3,923)	5,963 (6,063)
大学	3,020,539 (2,999,971)	2,600,835 (2,581,815)	160,638 (163,835)	254,302 (249,303)	3,896 (3,923)	868 (1,095)
国立	594,010 (592,964)	440,288	—	153,444	—	278
公立	152,579 (149,962)	136,322	—	16,123	—	134
私立	2,273,950 (2,257,045)	2,024,225	160,638	84,735	3,896	456
短期大学	134,785 (141,759)	114,610 (119,546)	18,302 (20,366)	—	—	1,873 (1,847)
国立	—	—	—	—	—	—
公立	6,256 (6,705)	6,143	—	—	—	113
私立	128,529 (135,054)	108,467	18,302	—	—	1,760
高等専門学校	56,686 (56,721)	53,464 (53,600)	—	—	—	3,222 (3,121)
国立	51,540 (51,568)	48,546	—	—	—	2,994
公立	2,979 (2,953)	2,796	—	—	—	183
私立	2,167 (2,200)	2,122	—	—	—	45

()内は前年度数値

2. 障害学生数

(1) 障害学生数

<概要>

- 「大学、短期大学及び高等専門学校」の障害学生数は33,812人で、前年度(31,204人)より2,608人の増。
- 学校種別で見ると次のとおり。
 - ・「大学」に在籍している障害学生は30,190人で、前年度(28,430人)より1,760人の増。
 - ・「短期大学」は、1,920人で前年度(1,434人)より486人の増。
 - ・「高等専門学校」は1,702人で前年度(1,340人)より362人の増。
- 課程別で見ると、在籍者が多い順に「大学の学部(通学)」の26,334人で、前年度(24,535人)より1,799人の増。「大学の学部(通信)」の2,067人で、前年度(1,838人)より229人の増。「短期大学の学科(通学)」の1,889人で、前年度(1,390人)より499人の増。「大学院(通学)」の1,735人で、前年度(2,000人)より265人の減。「高等専門学校の本科(通学)」の1,648人で、前年度(1,280人)より368人の増。

表2 障害学生数 [学校種別・設置者別・課程別]

	(人)	計	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
計		33,812 (31,204)	29,871 (27,205)	2,079 (1,868)	1,735 (2,000)	42 (43)	85 (88)
大学		30,190 (28,430)	26,334 (24,535)	2,067 (1,838)	1,735 (2,000)	42 (43)	12 (14)
	国立	5,613 (5,790)	4,516	—	1,091	—	6
	公立	1,716 (1,626)	1,590	—	125	—	1
	私立	22,861 (21,014)	20,228	2,067	519	42	5
			学科(通学)	学科(通信)	—	—	専攻科
短期大学		1,920 (1,434)	1,889 (1,390)	12 (30)	—	—	19 (14)
	国立	—	—	—	—	—	—
	公立	222 (31)	221	—	—	—	1
	私立	1,698 (1,403)	1,668	12	—	—	18
			本科(通学)	—	—	—	専攻科
高等専門学校		1,702 (1,340)	1,648 (1,280)	—	—	—	54 (60)
	国立	1,619 (1,270)	1,566	—	—	—	53
	公立	49 (28)	49	—	—	—	0
	私立	34 (42)	33	—	—	—	1

()内は前年度数値

(2) 障害学生在籍率

<概要>

- 全学生(3,212,010人)に占める障害学生の在籍率は1.05%で、前年度(0.98%)より0.07ポイントの増。
- ・学校種別の設置者別に見ると、障害学生在籍率が高い順に「公立短期大学」の3.55%で、前年度(0.46%)より3.09ポイントの増。「国立高等専門学校」の3.14%で、前年度(2.46%)より0.68ポイントの増。「公立高等専門学校」の1.64%で、前年度(0.95%)より0.69ポイントの増。
- ・学校種別の設置者別に見ると、障害学生在籍率が最も低いのは「国立大学」の0.94%で、前年度(0.98%)より0.04ポイントの減。
- ・学校種別の課程別を見ると、障害学生在籍率が高い順に「公立短期大学の学科(通学)」の3.60%、「国立高等専門学校の本科(通学)」の3.23%。また、「公立高等専門学校(専攻科)」には障害学生が在籍しない。

表3 障害学生在籍率 [学校種別・設置者別・課程別]

	(%)	全体の在籍率	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
計		1.05 (0.98)	1.08 (0.99)	1.16 (1.01)	0.68 (0.80)	1.08 (1.10)	1.43 (1.45)
大学		1.00 (0.95)	1.01 (0.95)	1.29 (1.12)	0.68 (0.80)	1.08 (1.10)	1.38 (1.28)
	国立	0.94 (0.98)	1.03	—	0.71	—	2.16
	公立	1.12 (1.08)	1.17	—	0.78	—	0.75
	私立	1.01 (0.93)	1.00	1.29	0.61	1.08	1.10
			学科(通学)	学科(通信)	—	—	専攻科
短期大学		1.42 (1.01)	1.65 (1.16)	0.07 (0.15)	—	—	1.01 (0.76)
	国立	—	—	—	—	—	—
	公立	3.55 (0.46)	3.60	—	—	—	0.88
	私立	1.32 (1.04)	1.54	0.07	—	—	1.02
			本科(通学)	—	—	—	専攻科
高等専門学校		3.00 (2.36)	3.08 (2.39)	—	—	—	1.68 (1.92)
	国立	3.14 (2.46)	3.23	—	—	—	1.77
	公立	1.64 (0.95)	1.75	—	—	—	0.00
	私立	1.57 (1.91)	1.56	—	—	—	2.22

()内は前年度数値

(3)障害種別の障害学生数

<概要>

○障害種別で見る障害学生数は、多い順に「病弱・虚弱」の11,151人で、前年度(10,443人)より708人の増。
 「精神障害」の8,770人で、前年度(8,289人)より481人の増。「発達障害」の6,047人で、前年度(5,174人)より873人の増。「肢体不自由」の2,478人で、前年度(2,555人)より77人の減。

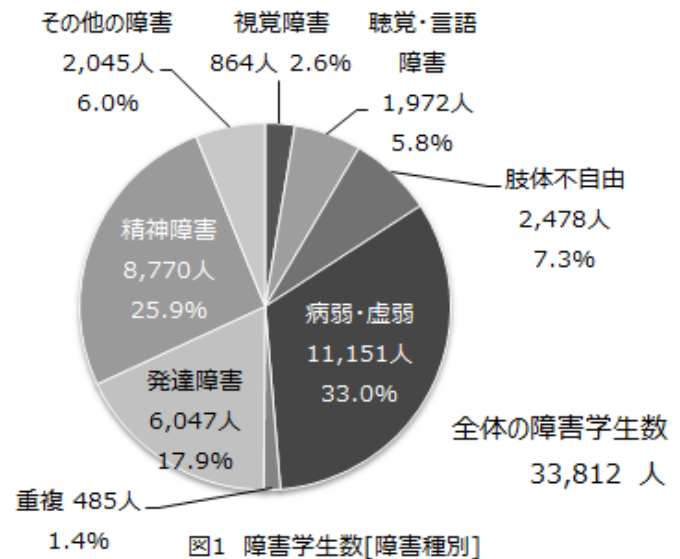


表4 障害学生数 [障害種別・学校種別]

	(人)	計	大学		短期大学		高等専門学校		
計		33,812	(31,204)	30,190	(28,430)	1,920	(1,434)	1,702	(1,340)
視覚障害		864	(831)	808	(784)	16	(9)	40	(38)
盲		179	(176)	178		0		1	
弱視		685	(655)	630		16		39	
聴覚・言語障害		1,972	(1,951)	1,837	(1,819)	75	(67)	60	(65)
聾		542	(571)	535		5		2	
難聴		1,359	(1,306)	1,244		65		50	
言語障害のみ		71	(74)	58		5		8	
肢体不自由		2,478	(2,555)	2,357	(2,438)	83	(87)	38	(30)
上肢機能障害		338	(347)	327		8		3	
下肢機能障害		907	(915)	854		33		20	
上下肢機能障害		776	(805)	745		26		5	
他の機能障害		457	(488)	431		16		10	
病弱・虚弱		11,151	(10,443)	9,594	(9,302)	1,014	(733)	543	(408)
内部障害等		6,643	(5,743)	5,902		467		274	
他の慢性疾患		4,508	(4,700)	3,692		547		269	
重複		485	(462)	468	(435)	10	(18)	7	(9)
発達障害		6,047	(5,174)	5,063	(4,458)	228	(134)	756	(582)
SLD		213	(191)	178		16		19	
ADHD		1,522	(1,187)	1,267		74		181	
ASD		3,426	(3,118)	2,879		115		432	
発達障害の重複		886	(678)	739		23		124	
精神障害		8,770	(8,289)	8,261	(7,880)	355	(280)	154	(129)
統合失調症等		863	(822)	808		41		14	
気分障害		2,770	(2,515)	2,651		83		36	
神経症性障害等		3,295	(3,041)	3,134		123		38	
摂食障害・睡眠障害等		788	(834)	714		48		26	
他の精神障害		1,054	(1,077)	954		60		40	
その他の障害		2,045	(1,499)	1,802	(1,314)	139	(106)	104	(79)

()内は前年度数値

(4)障害種別・学科(専攻)別 ア 大学

<概要>

○大学に在籍している障害学生数(30,190人)を学科(専攻)別に見ると、多い順に「社会科学」7,198人、「人文科学」5,963人、「工学」4,655人。

表5 障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (大学)

	(人)	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健(医・歯学)	保健(医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他
計		30,190	5,963	7,198	1,226	4,655	1,178	537	2,954	4	634	1,960	1,803	2,078
視覚障害		808	102	186	27	77	4	6	127	0	8	48	34	189
	盲	178	24	28	3	12	2	0	12	0	0	6	14	77
	弱視	630	78	158	24	65	2	6	115	0	8	42	20	112
聴覚・言語障害		1,837	249	499	53	376	37	27	184	0	45	173	81	113
	聾	535	81	127	7	185	5	3	16	0	10	56	20	25
	難聴	1,244	163	352	43	182	31	23	160	0	35	112	58	85
	言語障害のみ	58	5	20	3	9	1	1	8	0	0	5	3	3
肢体不自由		2,357	471	751	54	233	31	36	200	1	19	129	79	353
	上肢機能障害	327	65	108	6	37	6	8	21	0	4	24	18	30
	下肢機能障害	854	159	246	18	95	10	14	99	0	10	59	30	114
	上下肢機能障害	745	161	256	26	68	10	9	44	0	0	28	16	127
	他の機能障害	431	86	141	4	33	5	5	36	1	5	18	15	82
病弱・虚弱		9,594	1,534	2,329	327	1,364	463	147	1,448	0	253	792	496	441
	内部障害等	5,902	1,025	1,393	216	856	283	112	845	0	183	443	269	277
	他の慢性疾患	3,692	509	936	111	508	180	35	603	0	70	349	227	164
重複		468	87	124	5	83	9	3	56	0	6	15	28	52
発達障害		5,063	1,101	1,124	349	1,077	213	65	195	3	57	197	363	319
	SLD	178	34	56	4	18	8	0	13	0	1	5	23	16
	ADHD	1,267	289	273	79	213	55	23	64	1	20	64	108	78
	ASD	2,879	619	638	210	671	116	30	96	2	31	104	182	180
	発達障害の重複	739	159	157	56	175	34	12	22	0	5	24	50	45
精神障害		8,261	2,036	1,795	362	1,181	335	231	566	0	196	455	572	532
	統合失調症等	808	198	218	26	105	29	12	40	0	10	34	70	66
	気分障害	2,651	633	509	122	391	118	106	189	0	55	167	200	161
	神経症性障害等	3,134	790	751	132	484	97	71	170	0	79	152	191	217
	摂食障害・睡眠障害等	714	172	118	38	81	54	23	78	0	34	47	35	34
	他の精神障害	954	243	199	44	120	37	19	89	0	18	55	76	54
その他の障害		1,802	383	390	49	264	86	22	178	0	50	151	150	79

(4)障害種別・学科(専攻)別 イ 短期大学

<概要>

○短期大学に在籍している障害学生数(1,920人)を学科(専攻)別に見ると、多い順に「教育」536人、「家政」458人、「社会」244人。

表6 障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (短期大学)

	(人)	計	人文	社会	教養	工業	農業	保健	家政	教育	芸術	その他
計		1,920	182	244	92	73	3	110	458	536	115	107
視覚障害		16	1	5	1	0	0	1	2	4	1	1
	盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	弱視	16	1	5	1	0	0	1	2	4	1	1
聴覚・言語障害		75	9	5	5	1	1	8	15	21	5	5
	聾	5	0	0	1	0	0	1	2	0	0	1
	難聴	65	7	4	3	1	1	7	12	21	5	4
	言語障害のみ	5	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0
肢体不自由		83	9	16	3	3	0	4	19	10	5	14
	上肢機能障害	8	2	0	1	0	0	1	0	3	0	1
	下肢機能障害	33	4	7	0	1	0	3	10	1	1	6
	上下肢機能障害	26	2	6	1	2	0	0	4	6	0	5
	他の機能障害	16	1	3	1	0	0	0	5	0	4	2
病弱・虚弱		1,014	50	145	48	41	1	59	260	338	27	45
	内部障害等	467	29	55	16	11	1	39	117	157	18	24
	他の慢性疾患	547	21	90	32	30	0	20	143	181	9	21
重複		10	1	2	0	1	0	1	4	0	1	0
発達障害		228	41	22	9	21	1	4	43	44	27	16
	SLD	16	2	1	0	0	0	0	4	9	0	0
	ADHD	74	8	4	6	4	1	1	14	21	9	6
	ASD	115	25	13	3	14	0	3	22	11	16	8
	発達障害の重複	23	6	4	0	3	0	0	3	3	2	2
精神障害		355	60	34	22	3	0	23	78	84	30	21
	統合失調症等	41	9	6	2	0	0	3	10	4	6	1
	気分障害	83	16	3	7	0	0	9	11	28	4	5
	神経症性障害等	123	20	16	6	0	0	3	31	30	9	8
	摂食障害・睡眠障害等	48	7	2	5	0	0	4	15	11	1	3
	他の精神障害	60	8	7	2	3	0	4	11	11	10	4
その他の障害		139	11	15	4	3	0	10	37	35	19	5

(4)障害種別・学科(専攻)別 ウ 高等専門学校

<概要>

○高等専門学校に在籍している障害学生(1,702人)を学科(専攻)別に見ると、ほとんどの障害学生(1,687人)が「工業」に在籍している。

表7 障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (高等専門学校)

	(人)	計	社会	工業	商船	芸術
計		1,702	6	1,687	7	2
視覚障害		40	0	40	0	0
	盲	1	0	1	0	0
	弱視	39	0	39	0	0
聴覚・言語障害		60	0	60	0	0
	聾	2	0	2	0	0
	難聴	50	0	50	0	0
	言語障害のみ	8	0	8	0	0
肢体不自由		38	0	38	0	0
	上肢機能障害	3	0	3	0	0
	下肢機能障害	20	0	20	0	0
	上下肢機能障害	5	0	5	0	0
	他の機能障害	10	0	10	0	0
病弱・虚弱		543	2	540	0	1
	内部障害等	274	1	273	0	0
	他の慢性疾患	269	1	267	0	1
重複		7	0	7	0	0
発達障害		756	1	749	6	0
	SLD	19	0	19	0	0
	ADHD	181	0	178	3	0
	ASD	432	1	430	1	0
	発達障害の重複	124	0	122	2	0
精神障害		154	2	151	0	1
	統合失調症等	14	0	14	0	0
	気分障害	36	0	36	0	0
	神経症性障害等	38	1	37	0	0
	摂食障害・睡眠障害等	26	1	24	0	1
	他の精神障害	40	0	40	0	0
その他の障害		104	1	102	1	0

(5)発達障害又は精神障害と他の障害の重複(障害種別)

<概要>

- 発達障害と他の障害が重複している障害学生数を障害種別で見ると次のとおり。
 - ・多い順に、「精神障害」との重複が177人、「病弱・虚弱」との重複が70人、「肢体不自由」との重複が25人となっている。
 - ・学校種別で見ると、「大学」では「精神障害」との重複が最も多く、「短期大学」と「高等専門学校」では「病弱・虚弱」との重複が最も多くなっている。
- 精神障害と他の障害が重複している障害学生数を障害種別で見ると次のとおり。
 - ・多い順に、「発達障害」との重複が305人、「病弱・虚弱」との重複が68人、「肢体不自由」との重複が32人となっている。
 - ・学校種別で見ると、すべての学校種において、「発達障害」との重複が最も多くなっている。

表8 発達障害と他の障害が重複している障害学生数 [障害種別]

(人)	計	大学					発達障害の重複	短期大学				発達障害の重複	高等専門学校				発達障害の重複
		S	A	D	A	S		S	A	A	S		S	A	A	S	
		L	D	H	S		D	H	S	D		D	H	S	D		
計	335	285	10	69	173	33	19	1	7	9	2	31	1	14	10	6	
視覚障害	12	10	0	0	8	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
盲	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
弱視	11	9	0	0	7	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
聴覚・言語障害	13	11	0	1	8	2	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	
聾	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
難聴	9	7	0	0	5	2	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	
言語障害のみ	3	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
肢体不自由	25	20	3	2	14	1	2	1	0	0	1	3	0	1	2	0	
上肢機能障害	2	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
下肢機能障害	7	6	0	0	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	
上下肢機能障害	8	7	2	2	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
他の機能障害	8	6	1	0	4	1	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	
病弱・虚弱	70	49	1	9	32	7	6	0	1	4	1	15	0	6	5	4	
内部障害等	30	25	0	6	15	4	2	0	0	1	1	3	0	0	1	2	
他の慢性疾患	40	24	1	3	17	3	4	0	1	3	0	12	0	6	4	2	
重複	19	16	0	7	7	2	3	0	1	2	0	0	0	0	0	0	
精神障害	177	164	5	46	98	15	4	0	2	2	0	9	0	5	3	1	
統合失調症等	9	8	0	0	8	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
気分障害	61	56	1	20	28	7	2	0	1	1	0	3	0	2	1	0	
神経症性障害等	62	59	2	14	37	6	1	0	1	0	0	2	0	0	1	1	
摂食障害・睡眠障害等	15	12	1	3	8	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	
他の精神障害	30	29	1	9	17	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	
その他の障害	19	15	1	4	6	4	2	0	2	0	0	2	1	1	0	0	

表9 精神障害と他の障害が重複している障害学生数[障害種別]

	(人)	大学							短期大学				高等専門学校						
		計	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害		
計	469	440	30	130	176	34	70	20	0	7	1	2	10	9	0	4	2	2	1
視覚障害	3	3	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	3	3	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴覚・言語障害	16	15	1	6	5	0	3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
聾	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	11	10	1	5	4	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
言語障害のみ	3	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	32	29	2	3	13	0	11	3	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
上肢機能障害	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	10	9	2	2	4	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
上下肢機能障害	19	18	0	1	7	0	10	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	2	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	68	61	5	16	22	9	9	5	0	2	0	1	2	2	0	1	0	1	0
内部障害等	35	32	3	7	11	6	5	1	0	1	0	0	0	2	0	1	0	1	0
他の慢性疾患	33	29	2	9	11	3	4	4	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0
重複	11	11	0	2	5	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発達障害	305	288	20	94	115	19	40	10	0	4	1	0	5	7	0	3	2	1	1
SLD	3	3	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ADHD	74	70	5	30	21	7	7	1	0	0	0	0	1	3	0	1	1	1	0
ASD	195	185	14	53	83	8	27	8	0	3	1	0	4	2	0	1	0	0	1
発達障害の重複	33	30	1	9	10	4	6	1	0	1	0	0	0	2	0	1	1	0	0
その他の障害	34	33	1	8	16	4	4	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

3. 障害学生在籍学校数

(1)障害種別・学校種別

<概要>

○障害学生が在籍している学校は941校で、全学校(1,169校)に占める障害学生在籍校の割合は80.5%。

○障害種別の在籍校数が多い順に「病弱・虚弱」693校、「精神障害」689校、「発達障害」673校。

表10 障害学生在籍学校数 [障害種別・学校種別]

(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
計	941	678	206	57
視覚障害学生が 1人以上在籍する学校数	282	254	14	14
盲	62	61	0	1
弱視	259	232	14	13
聴覚・言語障害学生が 1人以上在籍する学校数	513	439	52	22
聾	117	110	5	2
難聴	465	400	45	20
言語障害のみ	54	46	5	3
肢体不自由学生が 1人以上在籍する学校数	556	470	67	19
上肢機能障害	184	173	8	3
下肢機能障害	364	323	30	11
上下肢機能障害	297	269	23	5
他の機能障害	188	169	13	6
病弱・虚弱学生が 1人以上在籍する学校数	693	529	124	40
内部障害等	633	493	106	34
他の慢性疾患	484	371	86	27
重複障害学生が 1人以上在籍する学校数	176	164	8	4
発達障害学生が 1人以上在籍する学校数	673	522	99	52
SLD	151	127	13	11
ADHD	463	376	43	44
ASD	555	446	60	49
発達障害の重複	316	263	19	34
精神障害学生が 1人以上在籍する学校数	689	533	115	41
統合失調症等	336	294	30	12
気分障害	434	377	40	17
神経症性障害等	497	414	61	22
摂食障害・睡眠障害等	308	255	34	19
他の精神障害	380	322	40	18
その他の障害学生が 1人以上在籍する学校数	383	309	53	21
全体の学校数	1,169	785	327	57

(2)学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別

<概要>

○障害学生在籍者数別で見ると、多い順に「21人以上」400校、「0人」228校、「2～5人」173校、「11～20人」149校、「6～10人」113校、「1人」106校。

○障害学生が在籍する学校を全学生数の規模別で見ると、多い順に「1～499人」211校、「1,000～1,999人」201校、「2,000～4,999人」180校。

表11 障害学生在籍学校数 [学校種別・障害学生在籍者数別]

	障害学生 在籍 (校) 学校数	障害学生 在籍率(%)	障害学生 21人以上	障害学生 11～20人	障害学生 6～10人	障害学生 2～5人	障害学生 1人	障害学生 0人	全体の 学校数
計	941	80.5	400	149	113	173	106	228	1,169
大学	678	86.4	345	113	75	90	55	107	785
短期大学	206	63.0	24	25	31	76	50	121	327
高等専門学校	57	100.0	31	11	7	7	1	0	57

表12 障害学生在籍学校数 [学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別]

	障害学生 在籍 (校) 学校数	障害学生 在籍率(%)	障害学生 21人以上	障害学生 11～20人	障害学生 6～10人	障害学生 2～5人	障害学生 1人	障害学生 0人	全体の 学校数
10,000人以上	66	100.0	64	1	0	1	0	0	66
大学	66	100.0	64	1	0	1	0	0	66
短期大学	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
5,000～9,999人	108	100.0	85	15	7	1	0	0	108
大学	108	100.0	85	15	7	1	0	0	108
短期大学	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
2,000～4,999人	180	97.8	102	40	17	17	4	4	184
大学	176	97.8	102	39	17	15	3	4	180
短期大学	4	100.0	0	1	0	2	1	0	4
高等専門学校	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
1,000～1,999人	201	90.5	79	47	22	33	20	21	222
大学	164	89.1	60	39	16	29	20	20	184
短期大学	8	88.9	4	0	1	3	0	1	9
高等専門学校	29	100.0	15	8	5	1	0	0	29
500～999人	175	78.5	50	20	32	46	27	48	223
大学	96	76.2	26	11	21	22	16	30	126
短期大学	52	74.3	8	6	9	19	10	18	70
高等専門学校	27	100.0	16	3	2	5	1	0	27
1～499人	211	57.7	20	26	35	75	55	155	366
大学	68	56.2	8	8	14	22	16	53	121
短期大学	142	58.2	12	18	21	52	39	102	244
高等専門学校	1	100.0	0	0	0	1	0	0	1

障害学生在籍率：障害学生在籍校数÷全体の学校数×100 (%)

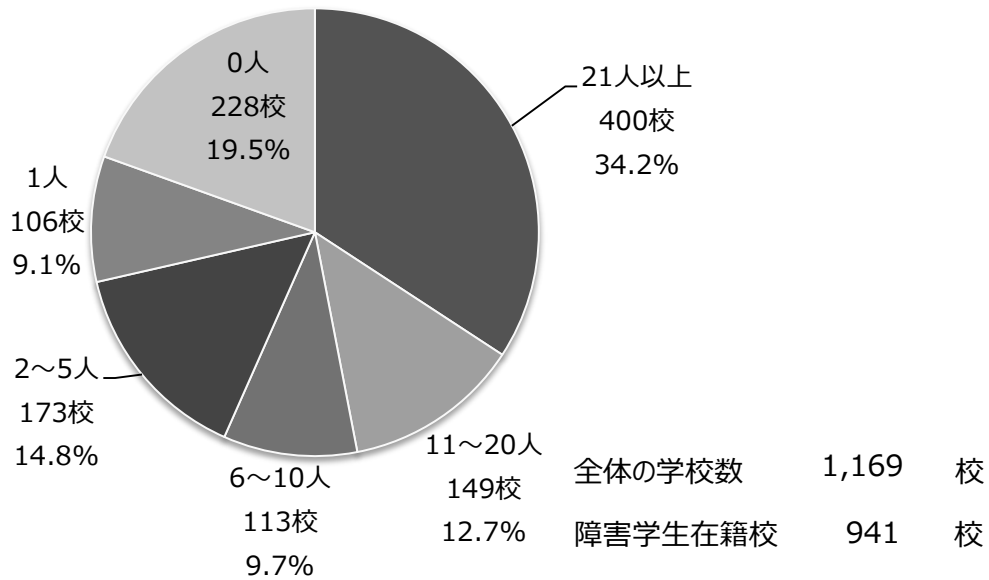


図2 障害学生在籍学校数 [障害学生在籍者数別]

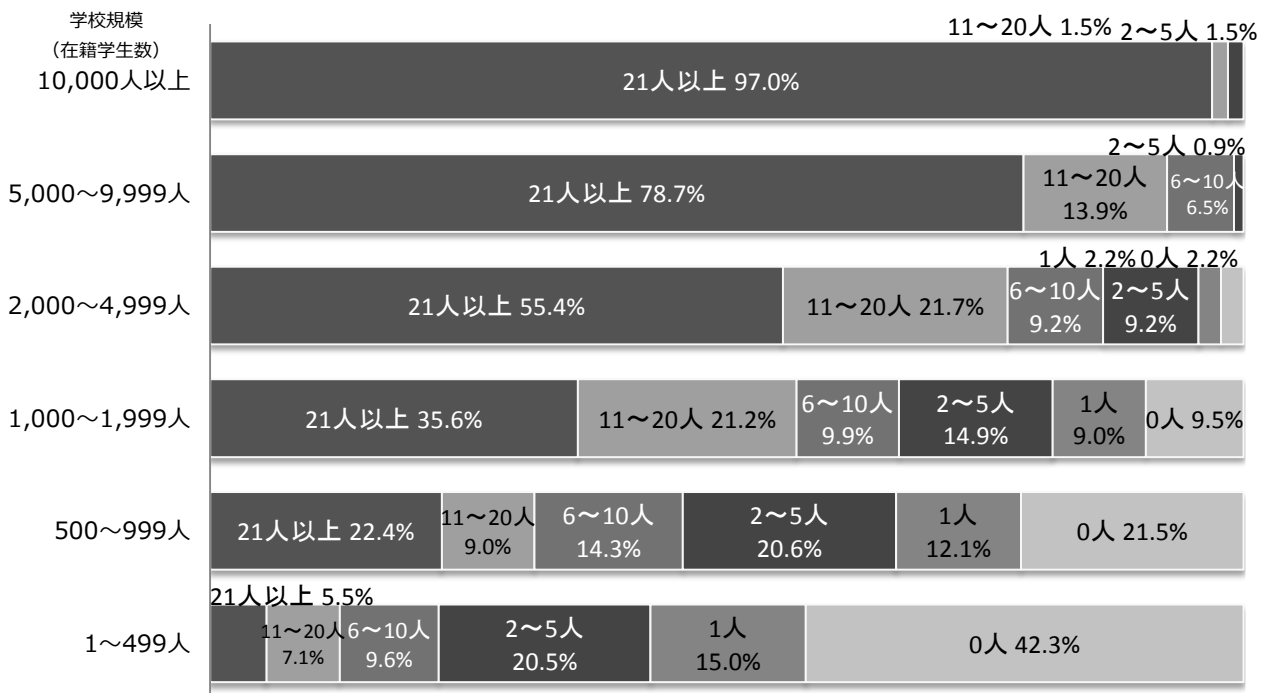


図3 障害学生在籍学校構成比 [在籍学生数別・障害学生在籍者数別]

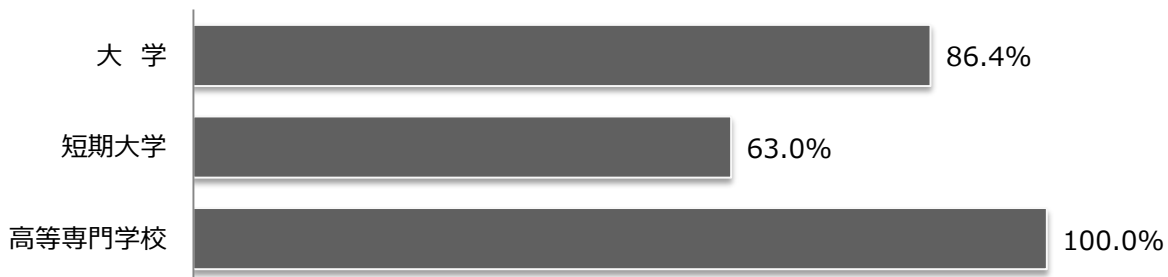


図4 障害学生在籍率 [学校種別]

4. 支援障害学生数

(1) 支援障害学生数

<概要>

- 障害学生(33,812人)のうち支援障害学生(※)の総数は17,091人で、前年度(15,573人)より1,518人の増。
- 学校種別で見ると多い順に、「大学」の15,366人で、前年度(14,346人)より1,020人の増。「高等専門学校」の975人で、前年度(719人)より256人の増。「短期大学」の750人で、前年度(508人)より242人の増。
- 学校種別・設置者別で見ると多い順に、「私立大学」の11,064人で、前年度(9,826人)より1,238人の増。「国立大学」の3,564人で、前年度(3,862人)より298人の減。「国立高等専門学校」の906人で、前年度(679人)より227人の増。
- 課程別で見ると多い順に、「大学の学部(通学)」の13,206人で、前年度(12,050人)より1,156人の増。「大学の学部(通信)」の1,089人で、前年度(994人)より95人の増。「大学院(通学)」の1,037人で、前年度(1,269人)より232人の減。

表13 支援障害学生数 [学校種別・設置者別・課程別]

(人)	計	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
計	17,091 (15,573)	14,896 (13,222)	1,093 (1,008)	1,037 (1,269)	24 (23)	41 (51)
大学	15,366 (14,346)	13,206 (12,050)	1,089 (994)	1,037 (1,269)	24 (23)	10 (10)
国立	3,564 (3,862)	2,800	—	758	—	6
公立	738 (658)	694	—	44	—	0
私立	11,064 (9,826)	9,712	1,089	235	24	4
(人)	計	学科(通学)	学科(通信)	—	—	専攻科
短期大学	750 (508)	742 (489)	4 (14)	—	—	4 (5)
国立	—	—	—	—	—	—
公立	16 (18)	15	—	—	—	1
私立	734 (490)	727	4	—	—	3
(人)	計	本科(通学)	—	—	—	専攻科
高等専門学校	975 (719)	948 (683)	—	—	—	27 (36)
国立	906 (679)	879	—	—	—	27
公立	45 (19)	45	—	—	—	0
私立	24 (21)	24	—	—	—	0

()内は前年度数値

※支援障害学生：学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている（平成30年度中の予定を含む）障害学生。

(2) 支援障害学生在籍率・障害学生支援率

<概要>

○支援障害学生在籍率で見ると次のとおり。

- ・支援障害学生在籍率は0.53%で、前年度(0.49%)より0.04ポイントの増。
- ・学校種別で見ると多い順に、「高等専門学校」の1.72%で、前年度(1.27%)より0.45ポイントの増。「短期大学」の0.56%で、前年度(0.36%)より0.2ポイントの増。「大学」の0.51%で、前年度(0.48%)より0.03ポイントの増。

○障害学生支援率で見ると次のとおり。

- ・障害学生支援率は50.5%で、前年度(49.9%)より0.6ポイントの増。
- ・学校種別・設置者別で見ると障害学生支援率で50%を超えているのは、「公立高等専門学校」で91.8%、「私立高等専門学校」で70.6%、「国立大学」で63.5%、「国立高等専門学校」で56.0%となっている。

表14 支援障害学生在籍率・障害学生支援率 [学校種別・設置者別・課程別]

	在籍率 (%)	支援率 (%)	学部(通学)		学部(通信)		大学院(通学)		大学院(通信)		専攻科	
			在籍率	支援率	在籍率	支援率	在籍率	支援率	在籍率	支援率	在籍率	支援率
計	0.53 (0.49)	50.5 (49.9)	0.54 (0.48)	49.9 (48.6)	0.61 (0.55)	52.6 (54.0)	0.41 (0.51)	59.8 (63.5)	0.62 (0.59)	57.1 (53.5)	0.69 (0.84)	48.2 (58.0)
大学	0.51 (0.48)	50.9 (50.5)	0.51 (0.47)	50.1 (49.1)	0.68 (0.61)	52.7 (54.1)	0.41 (0.51)	59.8 (63.5)	0.62 (0.59)	57.1 (53.5)	1.15 (0.91)	83.3 (71.4)
国立	0.60 (0.65)	63.5 (66.7)	0.64 (0.64)	62.0 (62.0)	—	—	0.49 (0.49)	69.5 (69.5)	—	—	2.16 (2.16)	100.0 (100.0)
公立	0.48 (0.44)	43.0 (40.5)	0.51 (0.51)	43.6 (43.6)	—	—	0.27 (0.27)	35.2 (35.2)	—	—	0.00 (0.00)	0.0 (0.0)
私立	0.49 (0.44)	48.4 (46.8)	0.48 (0.48)	48.0 (48.0)	0.68 (0.68)	52.7 (52.7)	0.28 (0.28)	45.3 (45.3)	0.62 (0.62)	57.1 (57.1)	0.88 (0.88)	80.0 (80.0)
短期大学	0.56 (0.36)	39.1 (35.4)	0.65 (0.41)	39.3 (35.2)	0.02 (0.07)	33.3 (46.7)	—	—	—	—	0.21 (0.27)	21.1 (35.7)
国立	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公立	0.26 (0.27)	7.2 (58.1)	0.24 (0.24)	6.8 (6.8)	—	—	—	—	—	—	0.88 (0.88)	100.0 (100.0)
私立	0.57 (0.36)	43.2 (34.9)	0.67 (0.67)	43.6 (43.6)	0.02 (0.02)	33.3 (33.3)	—	—	—	—	0.17 (0.17)	16.7 (16.7)
高等専門学校	1.72 (1.27)	57.3 (53.7)	1.77 (1.27)	57.5 (53.4)	—	—	—	—	—	—	0.84 (1.15)	50.0 (60.0)
国立	1.76 (1.32)	56.0 (53.5)	1.81 (1.81)	56.1 (56.1)	—	—	—	—	—	—	0.90 (0.90)	50.9 (50.9)
公立	1.51 (0.64)	91.8 (67.9)	1.61 (1.61)	91.8 (91.8)	—	—	—	—	—	—	0.00 (0.00)	0.0 (0.0)
私立	1.11 (0.95)	70.6 (50.0)	1.13 (1.13)	72.7 (72.7)	—	—	—	—	—	—	0.00 (0.00)	0.0 (0.0)

()内は前年度数値

※支援障害学生在籍率: 支援障害学生数÷全体の学生数×100(%)

※障害学生支援率: 支援障害学生数÷障害学生数×100(%)

(3)障害種別の支援障害学生数

<概要>

- 障害学生(33,812人)のうち支援障害学生の総数は、17,091人で、前年度(15,573人)より1,518人の増。
- 障害種別で見ると多い順に、「精神障害」の5,420人で、前年度(5,307人)より113人の増。「発達障害」4,325人で、前年度(3,698人)より627人の増。「病弱・虚弱」2,819人で、前年度(2,259人)より560人の増。

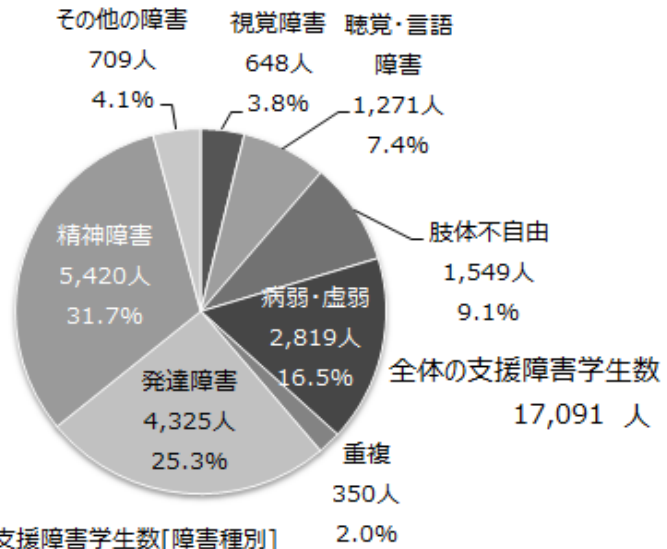


表15 支援障害学生数 [障害種別・学校種別]

	(人)	計		大学		短期大学		高等専門学校	
			(前年度)		(前年度)		(前年度)		(前年度)
計	17,091	17,091	(15,573)	15,366	(14,346)	750	(508)	975	(719)
視覚障害	648	648	(611)	614	(592)	9	(5)	25	(14)
盲	176	176	(165)	175		0		1	
弱視	472	472	(446)	439		9		24	
聴覚・言語障害	1,271	1,271	(1,280)	1,194	(1,202)	40	(35)	37	(43)
聾	495	495	(519)	489		4		2	
難聴	744	744	(727)	681		34		29	
言語障害のみ	32	32	(34)	24		2		6	
肢体不自由	1,549	1,549	(1,554)	1,475	(1,492)	48	(44)	26	(18)
上肢機能障害	131	131	(131)	128		2		1	
下肢機能障害	555	555	(536)	519		21		15	
上下肢機能障害	569	569	(563)	546		19		4	
他の機能障害	294	294	(324)	282		6		6	
病弱・虚弱	2,819	2,819	(2,259)	2,221	(1,882)	254	(141)	344	(236)
内部障害等	1,815	1,815	(1,512)	1,528		122		165	
他の慢性疾患	1,004	1,004	(747)	693		132		179	
重複	350	350	(325)	339	(305)	4	(11)	7	(9)
発達障害	4,325	4,325	(3,698)	3,763	(3,318)	160	(89)	402	(291)
SLD	134	134	(140)	111		13		10	
ADHD	1,066	1,066	(797)	918		50		98	
ASD	2,436	2,436	(2,240)	2,138		79		219	
発達障害の重複	689	689	(521)	596		18		75	
精神障害	5,420	5,420	(5,307)	5,132	(5,080)	197	(153)	91	(74)
統合失調症等	523	523	(499)	492		22		9	
気分障害	1,635	1,635	(1,487)	1,571		41		23	
神経症性障害等	2,178	2,178	(2,120)	2,074		75		29	
摂食障害・睡眠障害等	436	436	(496)	392		27		17	
他の精神障害	648	648	(705)	603		32		13	
その他の障害	709	709	(539)	628	(475)	38	(30)	43	(34)

()内は前年度数値

(4)障害種別・学科(専攻)別 ア 大学

<概要>

○大学に在籍している支援障害学生(15,366人)を学科(専攻)別に見ると、多い順に「社会科学」3,606人、「人文科学」3,219人、「工学」2,508人。

表16 支援障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (大学)

(人)	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健 (医・歯学)	保健 (医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他
計	15,366	3,219	3,606	664	2,508	557	307	1,140	4	299	916	734	1,412
視覚障害	614	76	124	17	49	3	6	104	0	6	32	24	173
盲	175	24	28	3	12	1	0	12	0	0	6	13	76
弱視	439	52	96	14	37	2	6	92	0	6	26	11	97
聴覚・言語障害	1,194	178	299	29	269	24	17	90	0	26	128	55	79
聾	489	74	109	7	177	4	3	14	0	9	52	17	23
難聴	681	101	180	22	90	20	14	73	0	17	72	36	56
言語障害のみ	24	3	10	0	2	0	0	3	0	0	4	2	0
肢体不自由	1,475	285	473	35	130	17	16	109	1	8	74	25	302
上肢機能障害	128	18	45	2	16	2	4	9	0	1	7	3	21
下肢機能障害	519	97	147	12	48	5	7	58	0	4	34	6	101
上下肢機能障害	546	115	190	20	48	8	4	22	0	0	21	11	107
他の機能障害	282	55	91	1	18	2	1	20	1	3	12	5	73
病弱・虚弱	2,221	366	532	63	358	77	30	273	0	66	211	114	131
内部障害等	1,528	271	404	47	229	47	22	169	0	50	129	63	97
他の慢性疾患	693	95	128	16	129	30	8	104	0	16	82	51	34
重複	339	57	88	4	72	5	3	44	0	2	11	8	45
発達障害	3,763	871	831	264	778	173	52	124	3	43	149	221	254
SLD	111	26	35	1	8	7	0	10	0	0	1	14	9
ADHD	918	232	196	55	144	37	20	44	1	16	48	64	61
ASD	2,138	483	472	164	489	98	22	53	2	24	79	109	143
発達障害の重複	596	130	128	44	137	31	10	17	0	3	21	34	41
精神障害	5,132	1,228	1,125	233	764	240	174	337	0	124	252	255	400
統合失調症等	492	112	133	17	67	24	7	18	0	7	21	31	55
気分障害	1,571	364	295	73	237	90	80	113	0	35	78	89	117
神経症性障害等	2,074	515	505	87	320	67	61	103	0	59	96	92	169
摂食障害・睡眠障害等	392	98	61	28	52	33	15	40	0	14	24	10	17
他の精神障害	603	139	131	28	88	26	11	63	0	9	33	33	42
その他の障害	628	158	134	19	88	18	9	59	0	24	59	32	28

(4)障害種別・学科(専攻)別 イ 短期大学

<概要>

○短期大学に在籍している支援障害学生(750人)を学科(専攻)別に見ると、多い順に「教育」205人、「家政」134人、「人文」98人。

表17 支援障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (短期大学)

(人)	計	人文	社会	教養	工業	農業	保健	家政	教育	芸術	その他
計	750	98	69	32	38	2	49	134	205	69	54
視覚障害	9	0	2	0	0	0	1	2	4	0	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	9	0	2	0	0	0	1	2	4	0	0
聴覚・言語障害	40	4	3	2	1	1	2	10	11	3	3
聾	4	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1
難聴	34	3	3	0	1	1	2	8	11	3	2
言語障害のみ	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	48	7	12	2	2	0	1	9	3	3	9
上肢機能障害	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
下肢機能障害	21	4	6	0	0	0	1	5	0	1	4
上下肢機能障害	19	2	5	1	2	0	0	3	2	0	4
他の機能障害	6	1	1	1	0	0	0	1	0	2	0
病弱・虚弱	254	12	21	17	19	0	25	33	98	14	15
内部障害等	122	6	12	10	2	0	16	22	40	6	8
他の慢性疾患	132	6	9	7	17	0	9	11	58	8	7
重複	4	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0
発達障害	160	32	13	7	15	1	3	28	25	24	12
SLD	13	2	0	0	0	0	0	4	7	0	0
ADHD	50	7	2	6	4	1	1	6	12	8	3
ASD	79	18	9	1	10	0	2	15	3	14	7
発達障害の重複	18	5	2	0	1	0	0	3	3	2	2
精神障害	197	38	14	4	0	0	13	46	51	19	12
統合失調症等	22	7	2	0	0	0	2	6	1	3	1
気分障害	41	11	0	1	0	0	3	5	16	3	2
神経症性障害等	75	13	7	0	0	0	2	21	23	5	4
摂食障害・睡眠障害等	27	5	1	1	0	0	3	10	4	0	3
他の精神障害	32	2	4	2	0	0	3	4	7	8	2
その他の障害	38	5	3	0	0	0	4	5	13	5	3

(4)障害種別・学科(専攻)別 ウ 高等専門学校

<概要>

○高等専門学校に在籍している支援障害学生(975人)を学科(専攻)別に見ると、障害学生数と同様に、ほとんどの支援障害学生(965人)が「工業」に在籍している。

表18 支援障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (高等専門学校)

	(人)	計	社 会	工 業	商 船	芸 術
計		975	6	965	3	1
視覚障害		25	0	25	0	0
盲		1	0	1	0	0
弱視		24	0	24	0	0
聴覚・言語障害		37	0	37	0	0
聾		2	0	2	0	0
難聴		29	0	29	0	0
言語障害のみ		6	0	6	0	0
肢体不自由		26	0	26	0	0
上肢機能障害		1	0	1	0	0
下肢機能障害		15	0	15	0	0
上下肢機能障害		4	0	4	0	0
他の機能障害		6	0	6	0	0
病弱・虚弱		344	2	341	0	1
内部障害等		165	1	164	0	0
他の慢性疾患		179	1	177	0	1
重複		7	0	7	0	0
発達障害		402	1	398	3	0
SLD		10	0	10	0	0
ADHD		98	0	96	2	0
ASD		219	1	218	0	0
発達障害の重複		75	0	74	1	0
精神障害		91	2	89	0	0
統合失調症等		9	0	9	0	0
気分障害		23	0	23	0	0
神経症性障害等		29	1	28	0	0
摂食障害・睡眠障害等		17	1	16	0	0
他の精神障害		13	0	13	0	0
その他の障害		43	1	42	0	0

(5)発達障害又は精神障害と他の障害の重複(障害種別)

<概要>

- 発達障害と他の障害が重複している障害学生のうち、支援障害学生数を障害種別で見ると、多い順に「精神障害」148人、「病弱・虚弱」49人となっている。
- 精神障害と他の障害が重複している障害学生のうち、支援障害学生数を障害種別で見ると、多い順に「発達障害」258人、「病弱・虚弱」46人となっている。

表19 発達障害と他の障害が重複している支援障害学生数 [障害種別]

	大学		発達障害の重複			短期大学			発達障害の重複			高等専門学校			発達障害の重複	
	(人)	計	S L D	A D D	A S D	S L D	A D D	A S D	S L D	A D D	A S D	S L D	A D D	A S D	S L D	A D D
計	267	231	8	58	141	24	12	1	4	5	2	24	1	10	8	5
視覚障害	11	10	0	0	8	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
盲	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	10	9	0	0	7	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
聴覚・言語障害	12	10	0	1	7	2	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1
聾	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	8	6	0	0	4	2	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1
言語障害のみ	3	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	21	17	3	2	11	1	2	1	0	0	1	2	0	1	1	0
上肢機能障害	2	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
下肢機能障害	4	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上下肢機能障害	8	7	2	2	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	7	5	1	0	3	1	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0
病弱・虚弱	49	33	0	5	23	5	4	0	1	2	1	12	0	4	5	3
内部障害等	21	16	0	3	10	3	2	0	0	1	1	3	0	0	1	2
他の慢性疾患	28	17	0	2	13	2	2	0	1	1	0	9	0	4	4	1
重複	13	12	0	6	5	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
精神障害	148	138	4	40	83	11	3	0	2	1	0	7	0	4	2	1
統合失調症等	8	7	0	0	7	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
気分障害	45	43	0	18	21	4	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0
神経症性障害等	55	52	2	11	33	6	1	0	1	0	0	2	0	0	1	1
摂食障害・睡眠障害等	13	10	1	3	6	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0
他の精神障害	27	26	1	8	16	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
その他の障害	13	11	1	4	4	2	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0

表20 精神障害と他の障害が重複している支援障害学生数[障害種別]

(人)	計	大学							短期大学				高等専門学校			他の精神障害			
		統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害			
計	384	360	23	105	148	26	58	18	0	6	1	2	9	6	0	1	2	2	1
視覚障害	3	3	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	3	3	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴覚・言語障害	13	12	1	5	4	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
聾	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	9	8	1	4	3	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
言語障害のみ	2	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	28	25	2	3	12	0	8	3	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
上肢機能障害	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	9	8	2	2	4	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
上下肢機能障害	16	15	0	1	6	0	8	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	2	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	46	40	2	11	15	5	7	5	0	2	0	1	2	1	0	0	0	1	0
内部障害等	22	20	1	5	5	4	5	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0
他の慢性疾患	24	20	1	6	10	1	2	4	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0
重複	9	9	0	1	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発達障害	258	245	16	78	99	17	35	8	0	3	1	0	4	5	0	1	2	1	1
SLD	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ADHD	66	63	5	24	20	7	7	1	0	0	0	0	1	2	0	0	1	1	0
ASD	161	154	10	44	70	6	24	6	0	2	1	0	3	1	0	0	0	0	1
発達障害の重複	29	26	1	9	8	4	4	1	0	1	0	0	0	2	0	1	1	0	0
その他の障害	27	26	1	6	14	2	3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

5. 支援障害学生在籍学校数

(1)障害種別・学校種別

<概要>

○支援障害学生が在籍している学校は838校で、全学校(1,169校)に占める支援障害学生在籍校(838校)の割合は71.7%。

○障害種別の支援障害学生の在籍校は、多い順に「発達障害」592校、「精神障害」571校、「病弱・虚弱」496校。

表21 支援障害学生在籍学校数 [障害種別・学校種別]

(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
計	838	628	154	56
支援視覚障害学生が 1人以上在籍する学校数	222	203	8	11
盲	60	59	0	1
弱視	195	177	8	10
支援聴覚・言語障害学生が 1人以上在籍する学校数	388	343	29	16
聾	109	103	4	2
難聴	334	296	24	14
言語障害のみ	26	22	2	2
支援肢体不自由学生が 1人以上在籍する学校数	430	380	39	11
上肢機能障害	77	74	2	1
下肢機能障害	259	232	19	8
上下肢機能障害	238	217	17	4
他の機能障害	129	121	6	2
支援病弱・虚弱学生が 1人以上在籍する学校数	496	396	69	31
内部障害等	432	353	51	28
他の慢性疾患	294	236	41	17
支援重複障害学生が 1人以上在籍する学校数	136	128	4	4
支援発達障害学生が 1人以上在籍する学校数	592	471	72	49
SLD	110	92	11	7
ADHD	368	300	30	38
ASD	482	395	45	42
発達障害の重複	272	232	15	25
支援精神障害学生が 1人以上在籍する学校数	571	455	82	34
統合失調症等	246	219	19	8
気分障害	332	298	22	12
神経症性障害等	404	343	42	19
摂食障害・睡眠障害等	199	166	20	13
他の精神障害	290	257	22	11
支援その他の障害学生が 1人以上在籍する学校数	267	225	27	15
全体の学校数	1,169	785	327	57

(2)学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別

<概要>

- 支援障害学生在籍者数別で見ると、多い順に「0人」331校、「21人以上」223校、「2～5人」203校、「11～20人」155校、「1人」129校、「6～10人」128校。
- 支援障害学生が在籍する学校を全学生数の規模別で見ると、多い順に「1,000～1,999人」184校、「2,000～4,999人」172校、「1～499人」165校。

表22 支援障害学生在籍学校数 [学校種別・支援障害学生在籍者数別]

	支援障害 学生在籍 (校)	支援 障害学生 在籍率(%)	支援 障害学生 21人以上	支援 障害学生 11～20人	支援 障害学生 6～10人	支援 障害学生 2～5人	支援 障害学生 1人	支援 障害学生 0人	全体の 学校数
計	838	71.7	223	155	128	203	129	331	1,169
大学	628	80.0	211	127	93	122	75	157	785
短期大学	154	47.1	5	11	23	64	51	173	327
高等専門学校	56	98.2	7	17	12	17	3	1	57

表23 支援障害学生在籍学校数 [学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別]

	支援障害 学生在籍 (校)	支援 障害学生 在籍率(%)	支援 障害学生 21人以上	支援 障害学生 11～20人	支援 障害学生 6～10人	支援 障害学生 2～5人	支援 障害学生 1人	支援 障害学生 0人	全体の 学校数
10,000人以上	66	100.0	61	2	2	0	1	0	66
大学	66	100.0	61	2	2	0	1	0	66
短期大学	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
5,000～9,999人	107	99.1	64	24	11	7	1	1	108
大学	107	99.1	64	24	11	7	1	1	108
短期大学	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
2,000～4,999人	172	93.5	55	43	28	37	9	12	184
大学	171	95.0	55	43	28	36	9	9	180
短期大学	1	25.0	0	0	0	1	0	3	4
高等専門学校	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
1,000～1,999人	184	82.9	31	48	33	47	25	38	222
大学	149	81.0	24	38	24	39	24	35	184
短期大学	6	66.7	1	2	1	1	1	3	9
高等専門学校	29	100.0	6	8	8	7	0	0	29
500～999人	144	64.6	7	25	24	51	37	79	223
大学	79	62.7	5	12	16	24	22	47	126
短期大学	39	55.7	1	4	4	18	12	31	70
高等専門学校	26	96.3	1	9	4	9	3	1	27
1～499人	165	45.1	5	13	30	61	56	201	366
大学	56	46.3	2	8	12	16	18	65	121
短期大学	108	44.3	3	5	18	44	38	136	244
高等専門学校	1	100.0	0	0	0	1	0	0	1

支援障害学生在籍率：支援障害学生在籍校数÷全体の学校数×100 (%)

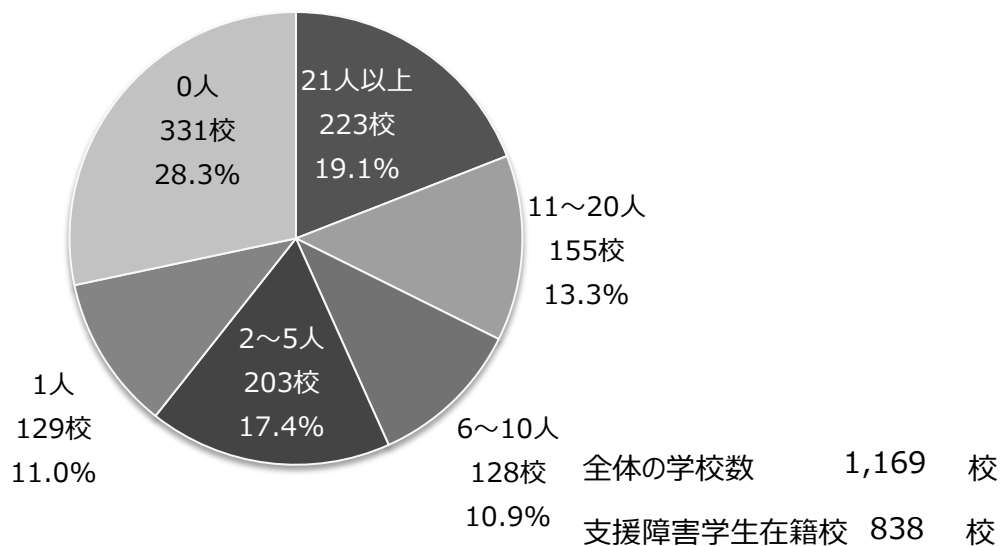


図6 支援障害学生在籍学校数 [支援障害学生在籍者数別]

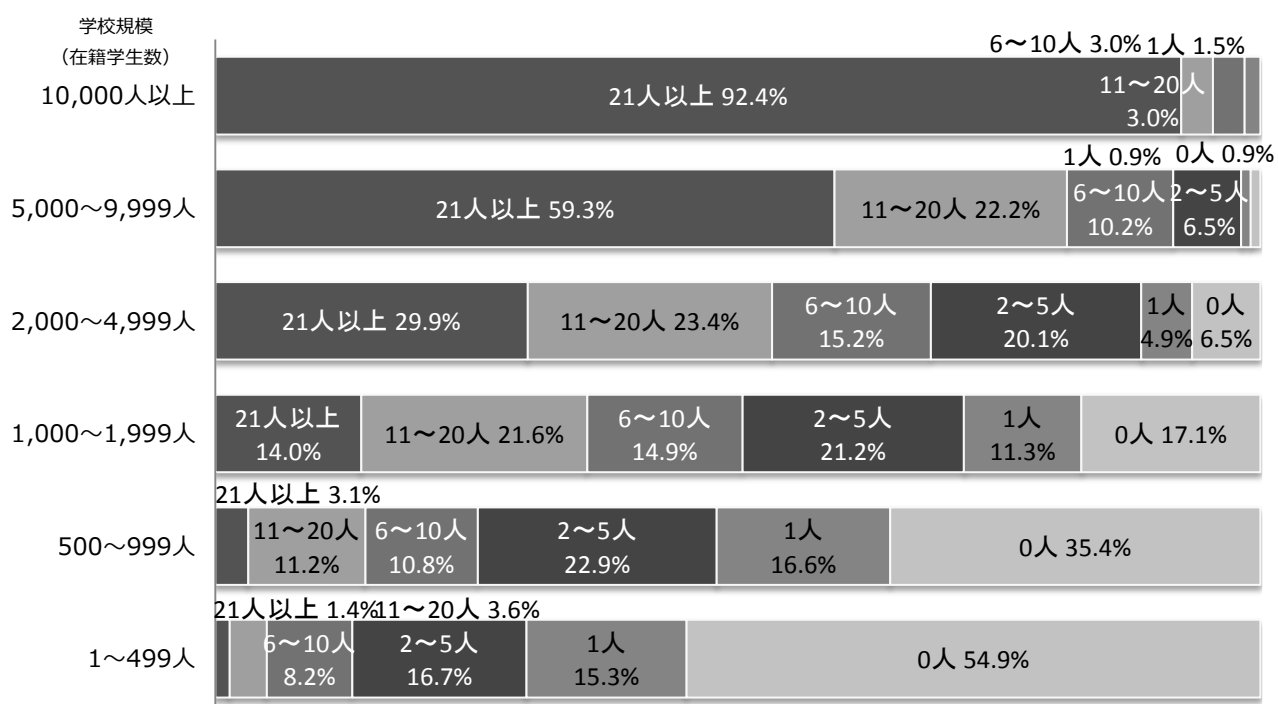


図7 支援障害学生在籍学校構成比 [在籍学生数別・支援障害学生在籍者数別]

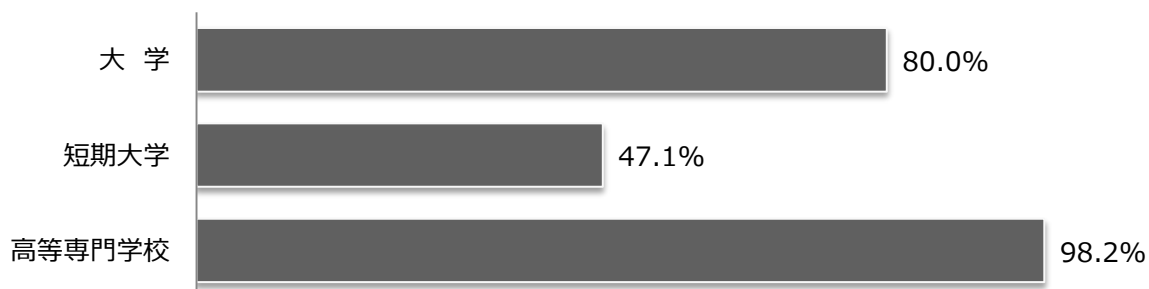


図8 支援障害学生在籍率 [学校種別]

6. 支援の実施状況

(1)障害種別・学校種別

<概要>

- 障害学生への授業に関する支援を実施している学校は782校で支援実施状況を障害種別に見ると、多い順に「発達障害」518校、「精神障害」474校、「病弱・虚弱」433校。
- 障害学生への授業以外の支援を実施している学校は669校で、支援実施状況を障害種別に見ると、多い順に「発達障害」471校、「精神障害」434校、「病弱・虚弱」320校。

表24 授業支援実施状況 [障害種別・学校種別]

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
実施校数		782	598	130	54
視覚障害		213	195	8	10
聴覚・言語障害		371	330	27	14
肢体不自由		390	344	35	11
病弱・虚弱		433	350	57	26
重複		124	116	4	4
発達障害		518	419	55	44
精神障害		474	385	59	30
その他の障害		235	201	20	14

表25 授業以外の支援実施状況 [障害種別・学校種別]

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
実施校数		669	512	114	43
視覚障害		98	92	3	3
聴覚・言語障害		167	148	13	6
肢体不自由		302	269	28	5
病弱・虚弱		320	257	43	20
重複		97	92	3	2
発達障害		471	376	58	37
精神障害		434	358	54	22
その他の障害		134	115	13	6

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 ア 授業支援(総表)

<概要>

○障害学生への授業支援状況について、多い順に「22 配慮依頼文書の配付」513校、「17 教室内座席配慮」496校、「23 出席に関する配慮」397校。

表26 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (総表)

	(校)	計	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	重複	発達障害	精神障害	その他の障害
実施校数		782	213	371	390	433	124	518	474	235
1 点訳・墨訳		44	43	—	—	—	4	—	—	—
2 教材のテキストデータ化		107	73	12	14	6	14	12	4	1
3 教材の拡大		141	117	1	18	4	17	15	2	2
4 ガイドヘルプ		56	33	2	21	2	8	1	6	0
5 リーディングサービス		30	28	1	2	1	4	1	1	0
6 手話通訳		63	0	63	—	—	3	—	—	—
7 ノートテイク		180	9	153	27	3	19	16	3	2
8 パソコンテイク		118	7	109	1	1	9	3	0	2
9 ビデオ教材字幕付け		86	6	83	0	0	9	0	0	1
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用		79	16	23	18	5	7	40	10	1
11 試験時間延長・別室受験		297	85	26	129	46	37	113	118	32
12 解答方法配慮		181	75	18	78	13	21	52	23	11
13 パソコンの持込使用許可		173	62	25	63	15	25	66	9	6
14 注意事項等文書伝達		270	26	120	32	39	22	160	53	15
15 使用教室配慮		252	33	24	172	41	32	29	30	9
16 実技・実習配慮		369	56	87	160	138	48	104	109	48
17 教室内座席配慮		496	113	217	226	114	78	156	167	70
18 FM補聴器・マイク使用		189	—	187	—	—	13	—	—	—
19 専用机・イス・スペース確保		214	22	13	172	25	37	8	12	5
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用		112	54	57	3	0	9	8	1	2
21 講義に関する配慮		356	82	85	99	45	32	201	85	20
22 配慮依頼文書の配付		513	142	253	239	294	86	371	304	160
23 出席に関する配慮		397	14	7	149	196	46	181	234	85
24 学習指導		263	13	17	24	42	7	196	106	12
25 授業内容の代替、提出期限延長等		272	28	24	60	69	12	163	136	29
26 履修支援		264	39	44	60	44	20	185	112	19
27 学外実習・フィールドワーク配慮		256	28	58	87	82	26	77	73	20
28 その他		258	44	67	53	80	24	108	101	38

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 イ 授業以外の支援(総表)

<概要>

○障害学生への授業以外の支援状況について、多い順に「8 専門家によるカウンセリング」445校、「9 医療機関との連携」270校、「6 対人関係配慮」と「16就職支援情報の提供、支援期間の紹介」269校。

○障害種別で見ると多い順に「8 専門家によるカウンセリング」は「発達障害」350校、「精神障害」336校。「9 医療機関との連携」については「精神障害」166校、「発達障害」158校。

表27 授業以外の支援実施状況〔支援内容別・障害種別〕 (総表)

	(校)	計	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	重複	発達障害	精神障害	その他の障害
実施校数		669	98	167	302	320	97	471	434	134
学生生活支援		417	52	64	186	113	52	237	169	33
1 居場所の確保		236	24	30	62	44	21	160	127	22
2 通学支援		204	14	3	150	43	30	8	20	5
3 個別支援情報の収集		168	18	28	38	28	16	101	54	9
4 情報取得支援		162	24	26	23	16	11	98	50	6
社会的スキル指導		347	15	26	41	54	24	278	167	22
5 自己管理指導		266	8	13	17	36	12	221	109	12
6 対人関係配慮		269	9	17	21	23	15	214	126	13
7 日常生活支援		105	4	7	19	23	11	65	58	12
保健管理・生活支援		535	35	62	173	231	64	379	374	108
8 専門家によるカウンセリング		445	16	41	62	117	28	350	336	84
9 医療機関との連携		270	6	12	23	87	16	158	166	22
10 医療機器、薬剤の保管等		81	1	2	14	45	11	9	10	5
11 休憩室・治療室の確保等		262	21	18	93	119	33	100	119	38
12 生活介助		60	0	0	51	5	11	0	0	0
13 介助者の入構、入室許可		104	8	9	75	13	16	5	7	1
進路・就職指導		377	48	107	126	93	39	249	166	35
14 キャリア教育		211	27	60	57	41	20	145	92	13
15 障害学生向け求人情報の提供		245	34	72	92	61	23	134	79	19
16 就職支援情報の提供、支援機関の紹介		269	36	77	89	63	28	177	100	23
17 インターンシップ先の開拓		113	14	27	35	26	14	67	33	11
18 就職先の開拓、就職活動支援		210	26	56	71	55	20	126	89	22
その他		186	20	21	60	62	16	69	82	10

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 ウ 授業支援(大学)

<概要>

○障害学生への授業支援状況について、多い順に「22 配慮依頼文書の配付」423校、「17 教室内座席配慮」403校、「23 出席に関する配慮」328校。

表28 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (大学)

	(校)	計	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	重複	発達障害	精神障害	その他の障害
実施校数		598	195	330	344	350	116	419	385	201
1 点訳・墨訳		44	43	—	—	—	4	—	—	—
2 教材のテキストデータ化		106	73	12	14	6	13	12	4	1
3 教材の拡大		124	106	1	15	4	16	13	2	2
4 ガイドヘルプ		54	33	1	21	2	8	1	5	0
5 リーディングサービス		29	27	1	2	1	4	1	1	0
6 手話通訳		61	0	61	—	—	3	—	—	—
7 ノートテイク		176	9	149	27	3	19	16	3	2
8 パソコンテイク		116	7	107	1	1	9	3	0	2
9 ビデオ教材字幕付け		84	6	81	0	0	9	0	0	1
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用		73	16	20	18	5	7	35	10	1
11 試験時間延長・別室受験		257	84	25	122	44	36	98	99	28
12 解答方法配慮		169	75	18	74	12	21	48	20	10
13 パソコンの持込使用許可		166	61	24	61	13	25	63	9	6
14 注意事項等文書伝達		228	25	114	30	26	20	135	45	12
15 使用教室配慮		216	32	21	152	36	28	24	23	7
16 実技・実習配慮		296	49	75	137	109	43	88	88	35
17 教室内座席配慮		403	99	190	205	101	72	127	145	58
18 FM補聴器・マイク使用		173	—	172	—	—	12	—	—	—
19 専用机・イス・スペース確保		196	22	12	158	24	36	7	11	5
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用		108	54	54	3	0	9	7	1	2
21 講義に関する配慮		320	79	79	93	39	29	181	80	19
22 配慮依頼文書の配付		423	133	235	221	255	80	317	270	143
23 出席に関する配慮		328	14	7	137	172	44	161	205	80
24 学習指導		210	13	13	22	35	7	151	96	12
25 授業内容の代替、提出期限延長等		240	28	24	55	63	12	145	124	28
26 履修支援		238	39	43	56	41	16	171	102	18
27 学外実習・フィールドワーク配慮		209	27	52	72	63	22	66	64	17
28 その他		217	44	57	48	69	22	93	88	36

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 エ授業以外の支援(大学)

<概要>

○大学における障害学生への授業以外の支援について、実施校数が多い順に「8 専門家によるカウンセリング」347校、「16 就職支援情報の提供、支援機関の紹介」229校、「5 自己管理指導」221校。

表29 授業以外の支援実施状況〔支援内容別・障害種別〕（大学）

	(校)	計	視覚 障害	聴覚・ 言語 障害	肢 体 不 自 由	病 弱 ・ 虚 弱	重 複	発 達 障 害	精 神 障 害	そ の 他 の 障 害
実施校数		512	92	148	269	257	92	376	358	115
学生生活支援		338	50	56	171	94	50	189	141	29
1 居場所の確保		192	22	26	56	37	19	127	106	21
2 通学支援		188	14	2	142	39	30	7	18	4
3 個別支援情報の収集		131	17	22	33	20	16	77	45	7
4 情報取得支援		144	24	24	22	12	11	84	47	6
社会的スキル指導		281	13	23	37	42	23	225	147	22
5 自己管理指導		221	7	12	16	31	12	184	102	12
6 対人関係配慮		218	8	14	19	17	14	173	109	13
7 日常生活支援		90	4	7	18	19	10	57	52	12
保健管理・生活支援		417	33	56	157	188	61	306	309	94
8 専門家によるカウンセリング		347	16	36	57	102	28	284	279	76
9 医療機関との連携		217	5	9	20	69	13	130	142	19
10 医療機器、薬剤の保管等		66	1	2	13	35	10	6	10	4
11 休憩室・治療室の確保等		215	19	17	85	96	31	82	97	34
12 生活介助		55	0	0	47	4	11	0	0	0
13 介助者の入構、入室許可		99	8	9	72	12	16	4	7	1
進路・就職指導		306	45	98	114	78	38	210	143	30
14 キャリア教育		182	25	53	51	37	20	129	79	12
15 障害学生向け求人情報の提供		209	33	67	82	53	23	118	70	17
16 就職支援情報の提供、支援機関の紹介		229	35	73	81	55	27	153	89	21
17 インターンシップ先の開拓		91	14	23	32	22	14	54	29	9
18 就職先の開拓、就職活動支援		168	24	49	62	45	20	106	75	17
その他		161	19	19	55	52	15	60	77	9

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 才 授業支援(短期大学)

<概要>

○障害学生への授業支援状況について、多い順に「22 配慮依頼文書の配付」66校、「17 教室内座席配慮」63校、「16 実技・実習配慮」49校。

表30 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (短期大学)

	(校)	計	視覚 障害	聴覚・ 言語 障害	肢体 不自 由	病弱・ 虚 弱	重 複	発 達 障 害	精 神 障 害	そ の 他 の 障 害
実施校数		130	8	27	35	57	4	55	59	20
1 点訳・墨訳		0	0	—	—	—	0	—	—	—
2 教材のテキストデータ化		1	0	0	0	0	1	0	0	0
3 教材の拡大		10	5	0	3	0	1	1	0	0
4 ガイドヘルプ		2	0	1	0	0	0	0	1	0
5 リーディングサービス		1	1	0	0	0	0	0	0	0
6 手話通訳		2	0	2	—	—	0	—	—	—
7 ノートテイク		4	0	4	0	0	0	0	0	0
8 パソコンテイク		2	0	2	0	0	0	0	0	0
9 ビデオ教材字幕付け		2	0	2	0	0	0	0	0	0
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用		2	0	2	0	0	0	1	0	0
11 試験時間延長・別室受験		25	0	0	7	0	1	7	10	2
12 解答方法配慮		7	0	0	4	0	0	2	1	0
13 パソコンの持込使用許可		3	0	1	1	1	0	1	0	0
14 注意事項等文書伝達		25	0	4	1	8	2	13	5	0
15 使用教室配慮		26	0	3	16	2	2	2	5	1
16 実技・実習配慮		49	2	9	13	17	2	8	14	7
17 教室内座席配慮		63	7	17	17	8	3	14	18	7
18 FM補聴器・マイク使用		9	—	8	—	—	1	—	—	—
19 専用机・イス・スペース確保		13	0	1	10	1	1	0	1	0
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用		3	0	3	0	0	0	0	0	0
21 講義に関する配慮		26	1	6	5	5	3	12	3	1
22 配慮依頼文書の配付		66	4	12	16	28	3	32	24	9
23 出席に関する配慮		47	0	0	10	18	1	10	19	5
24 学習指導		28	0	3	1	6	0	21	6	0
25 授業内容の代替、提出期限延長等		16	0	0	2	3	0	6	5	0
26 履修支援		23	0	1	4	3	4	12	9	1
27 学外実習・フィールドワーク配慮		37	1	5	10	15	3	7	6	3
28 その他		25	0	7	4	8	1	7	5	1

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 カ 授業以外の支援(短期大学)

<概要>

○短期大学における障害学生への授業以外の支援について、実施校数が多い順に「8 専門家によるカウンセリング」61校、「11 休憩室・治療室の確保等」、「15 障害学生向け求人情報の提供」及び「18 就職先の開拓、就職活動支援」33校、「16 就職支援情報の提供、支援機関の紹介」32校。

表31 授業以外の支援実施状況〔支援内容別・障害種別〕 (短期大学)

	(校)	計	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	重複	発達障害	精神障害	その他の障害
実施校数		114	3	13	28	43	3	58	54	13
学生生活支援		51	1	5	11	13	1	24	17	2
1 居場所の確保		25	1	2	3	5	1	16	13	0
2 通学支援		13	0	1	7	3	0	1	1	1
3 個別支援情報の収集		20	0	4	4	4	0	9	5	1
4 情報取得支援		9	0	2	0	2	0	5	2	0
社会的スキル指導		39	2	2	2	10	0	28	13	0
5 自己管理指導		23	1	1	0	5	0	15	7	0
6 対人関係配慮		28	1	2	1	4	0	20	10	0
7 日常生活支援		9	0	0	1	4	0	3	4	0
保健管理・生活支援		78	1	3	12	27	1	38	46	10
8 専門家によるカウンセリング		61	0	2	3	11	0	33	39	5
9 医療機関との連携		30	0	1	2	12	1	10	16	2
10 医療機器、薬剤の保管等		5	0	0	0	3	0	1	0	1
11 休憩室・治療室の確保等		33	1	0	5	15	1	11	15	3
12 生活介助		3	0	0	3	0	0	0	0	0
13 介助者の入構、入室許可		4	0	0	2	1	0	1	0	0
進路・就職指導		56	2	9	11	14	1	29	18	4
14 キャリア教育		22	2	7	5	3	0	10	11	1
15 障害学生向け求人情報の提供		33	1	5	10	8	0	13	9	2
16 就職支援情報の提供、支援機関の紹介		32	1	4	7	7	1	17	9	1
17 インターンシップ先の開拓		15	0	4	3	3	0	8	3	1
18 就職先の開拓、就職活動支援		33	1	7	9	9	0	14	12	4
その他		18	0	0	5	5	1	6	4	0

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 キ 授業支援(高等専門学校)

<概要>

○障害学生への授業支援状況について、多い順に「17 教室内座席配慮」30校、「24 学習指導」25校、「16 実技・実習配慮」と「22 配慮依頼文書の配付」24校。

表32 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (高等専門学校)

	(校)	計	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	重複	発達障害	精神障害	その他の障害
実施校数		54	10	14	11	26	4	44	30	14
1 点訳・墨訳		0	0	—	—	—	0	—	—	—
2 教材のテキストデータ化		0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 教材の拡大		7	6	0	0	0	0	1	0	0
4 ガイドヘルプ		0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 リーディングサービス		0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 手話通訳		0	0	0	—	—	0	—	—	—
7 ノートテイク		0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 パソコンテイク		0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 ビデオ教材字幕付け		0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用		4	0	1	0	0	0	4	0	0
11 試験時間延長・別室受験		15	1	1	0	2	0	8	9	2
12 解答方法配慮		5	0	0	0	1	0	2	2	1
13 パソコンの持込使用許可		4	1	0	1	1	0	2	0	0
14 注意事項等文書伝達		17	1	2	1	5	0	12	3	3
15 使用教室配慮		10	1	0	4	3	2	3	2	1
16 実技・実習配慮		24	5	3	10	12	3	8	7	6
17 教室内座席配慮		30	7	10	4	5	3	15	4	5
18 FM補聴器・マイク使用		7	—	7	—	—	0	—	—	—
19 専用机・イス・スペース確保		5	0	0	4	0	0	1	0	0
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用		1	0	0	0	0	0	1	0	0
21 講義に関する配慮		10	2	0	1	1	0	8	2	0
22 配慮依頼文書の配付		24	5	6	2	11	3	22	10	8
23 出席に関する配慮		22	0	0	2	6	1	10	10	0
24 学習指導		25	0	1	1	1	0	24	4	0
25 授業内容の代替、提出期限延長等		16	0	0	3	3	0	12	7	1
26 履修支援		3	0	0	0	0	0	2	1	0
27 学外実習・フィールドワーク配慮		10	0	1	5	4	1	4	3	0
28 その他		16	0	3	1	3	1	8	8	1

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 ク 授業以外の支援(高等専門学校)

<概要>

○高等専門学校における障害学生への授業以外の支援について、実施校数が多い順に「8 専門家によるカウンセリング」37校、「6 対人関係配慮」及び「9 医療機関との連携」23校、「5 自己管理指導」22校。

表33 授業以外の支援実施状況〔支援内容別・障害種別〕（高等専門学校）

	(校)	計	視覚 障害	聴覚・ 言語 障害	肢体 不自由	病弱・ 虚弱	重複	発達 障害	精神 障害	その 他の 障害
実施校数		43	3	6	5	20	2	37	22	6
学生生活支援		28	1	3	4	6	1	24	11	2
1 居場所の確保		19	1	2	3	2	1	17	8	1
2 通学支援		3	0	0	1	1	0	0	1	0
3 個別支援情報の収集		17	1	2	1	4	0	15	4	1
4 情報取得支援		9	0	0	1	2	0	9	1	0
社会的スキル指導		27	0	1	2	2	1	25	7	0
5 自己管理指導		22	0	0	1	0	0	22	0	0
6 対人関係配慮		23	0	1	1	2	1	21	7	0
7 日常生活支援		6	0	0	0	0	1	5	2	0
保健管理・生活支援		40	1	3	4	16	2	35	19	4
8 専門家によるカウンセリング		37	0	3	2	4	0	33	18	3
9 医療機関との連携		23	1	2	1	6	2	18	8	1
10 医療機器、薬剤の保管等		10	0	0	1	7	1	2	0	0
11 休憩室・治療室の確保等		14	1	1	3	8	1	7	7	1
12 生活介助		2	0	0	1	1	0	0	0	0
13 介助者の入構、入室許可		1	0	0	1	0	0	0	0	0
進路・就職指導		15	1	0	1	1	0	10	5	1
14 キャリア教育		7	0	0	1	1	0	6	2	0
15 障害学生向け求人情報の提供		3	0	0	0	0	0	3	0	0
16 就職支援情報の提供、支援機関の紹介		8	0	0	1	1	0	7	2	1
17 インターンシップ先の開拓		7	0	0	0	1	0	5	1	1
18 就職先の開拓、就職活動支援		9	1	0	0	1	0	6	2	1
その他		7	1	2	0	5	0	3	1	1

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

(3)主な支援 ア 視覚障害

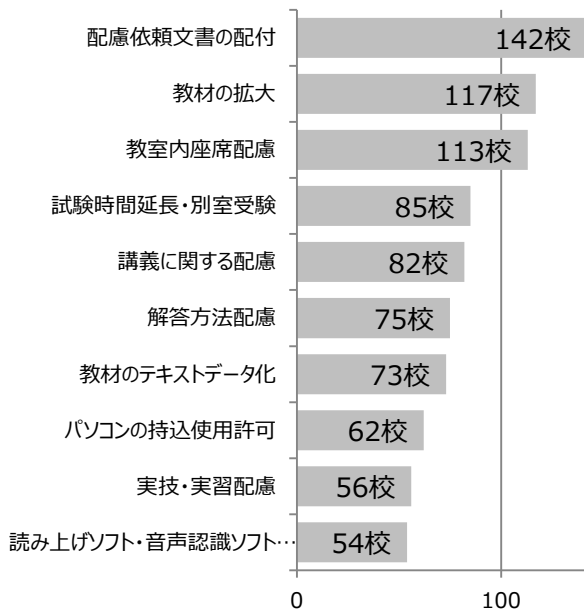


図9 主な授業支援（視覚障害）

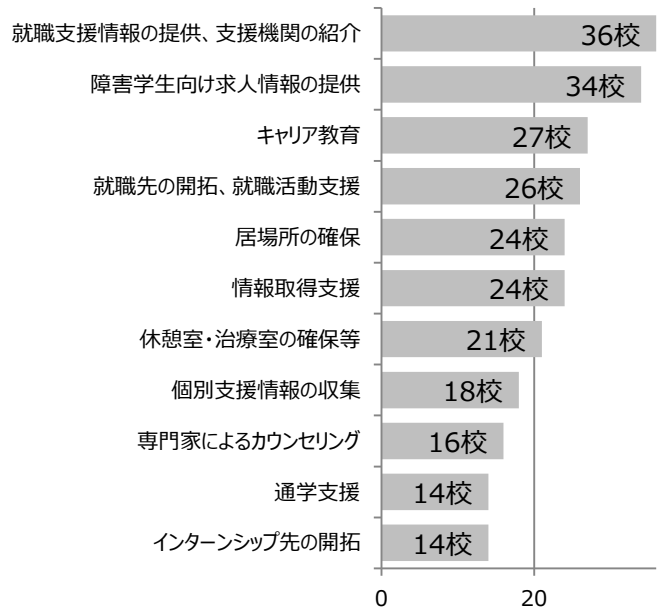


図10 主な授業以外の支援（視覚障害）

※ 複数回答あり

(3)主な支援 イ 聴覚・言語障害

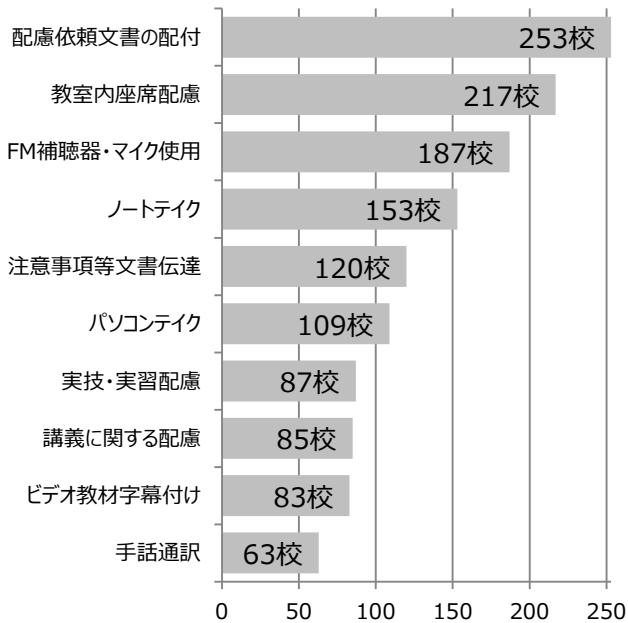


図11 主な授業支援（聴覚・言語障害）

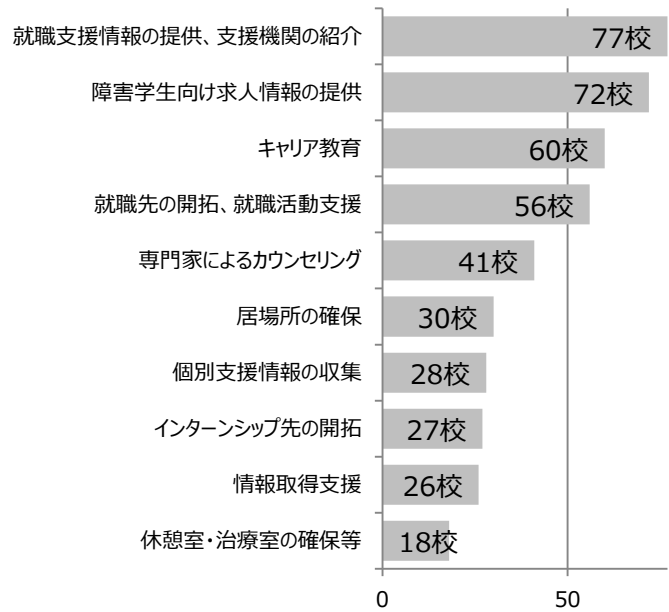


図12 主な授業以外の支援（聴覚・言語障害）

※ 複数回答あり

(3)主な支援 ウ 肢体不自由

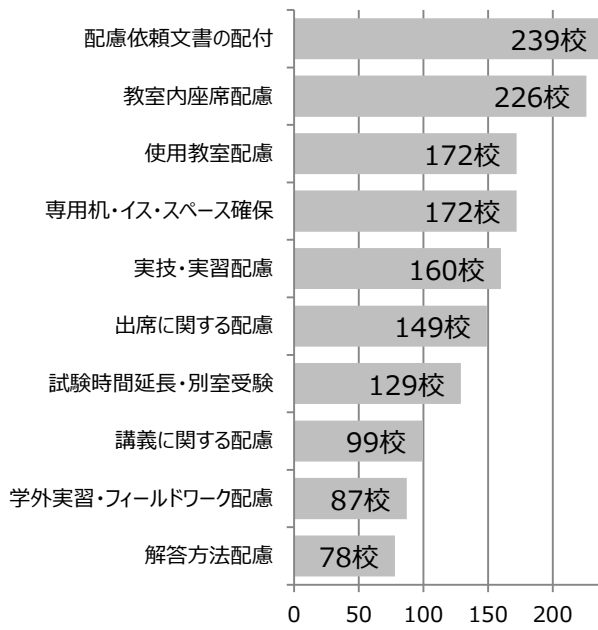


図13 主な授業支援（肢体不自由）

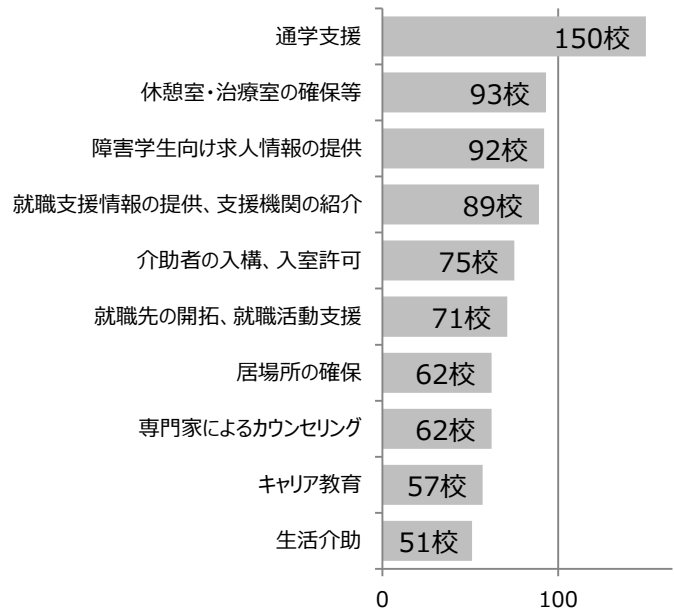


図14 主な授業以外の支援（肢体不自由）

※ 複数回答あり

(3)主な支援 エ 病弱・虚弱

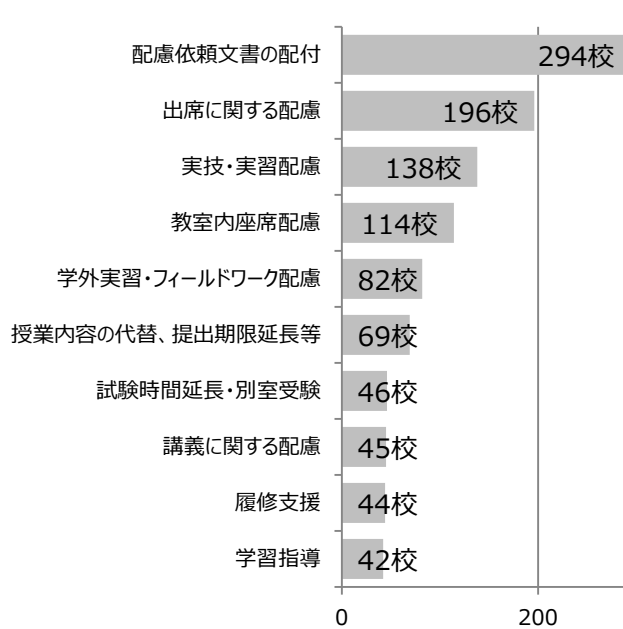


図15 主な授業支援（病弱・虚弱）

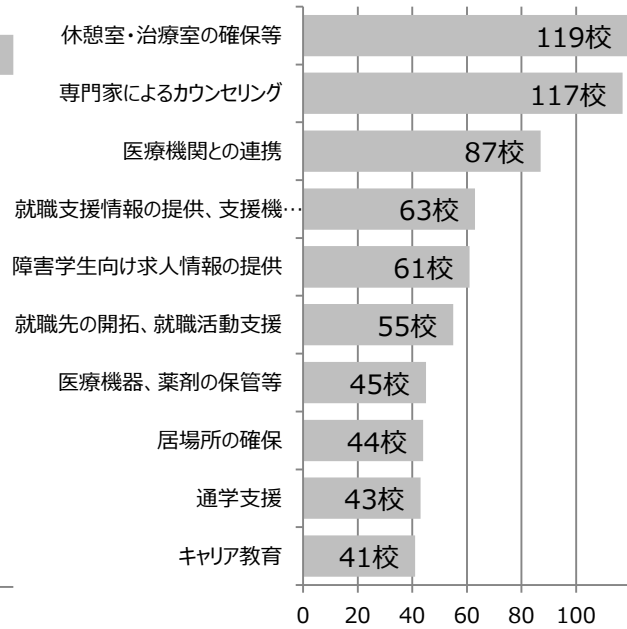


図16 主な授業以外の支援（病弱・虚弱）

※ 複数回答あり

(3)主な支援 オ 発達障害

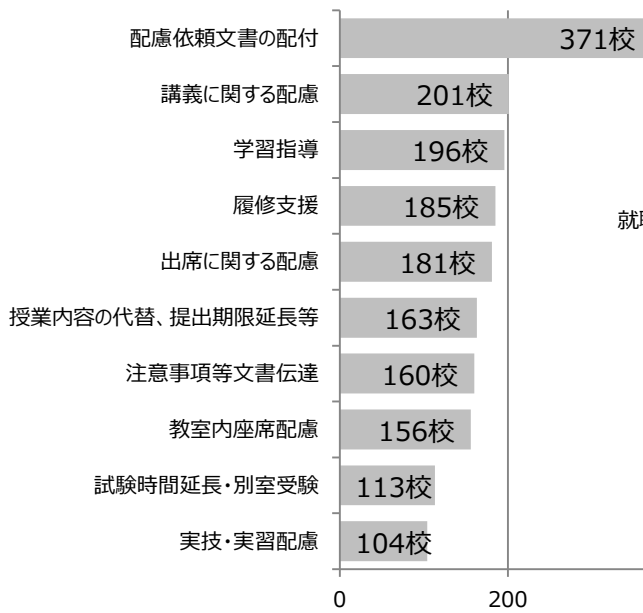


図17 主な授業支援（発達障害）

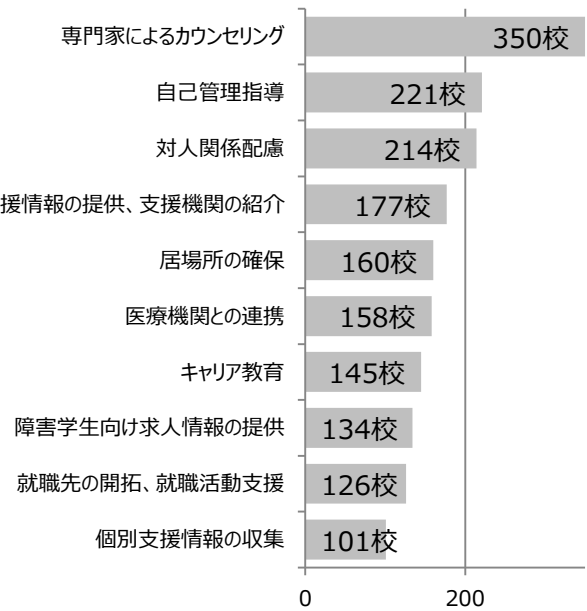


図18 主な授業以外の支援（発達障害）

※ 複数回答あり

(3)主な支援 カ 精神障害

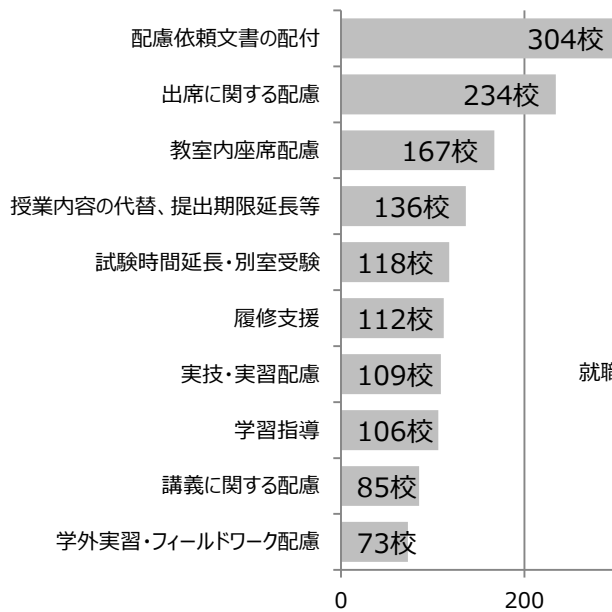


図19 主な授業支援（精神障害）

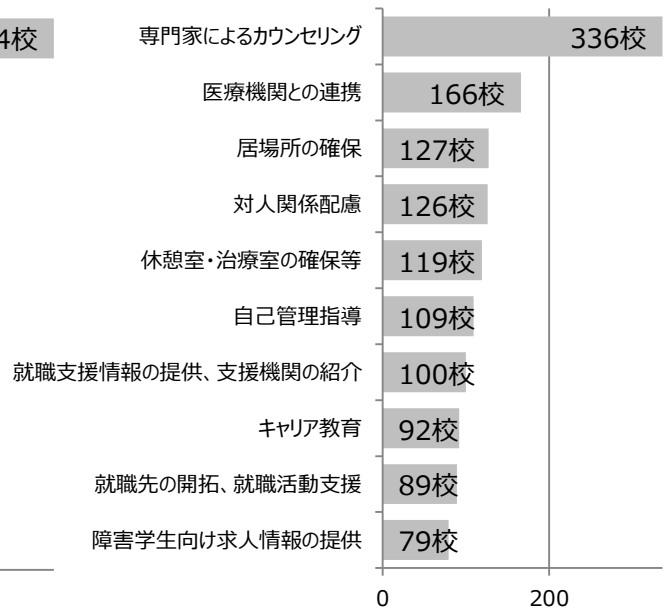


図20 主な授業以外の支援（精神障害）

※ 複数回答あり

7. 障害学生支援に関する体制等

(1)障害者差別解消法に関する対応要領等(障害学生数別・学校種別)

<概要>

○障害者差別解消法に関する対応要領等の設置状況を見ると、「対応要領または基本方針、規程等がある」学校は634校で、全学校(1,169校)の54.2%。「平成30年度中に策定予定である」学校78校を合わせると712校であり、全学校(1,169校)の60.9%。「対応要領または基本方針、規則等はない」学校は457校で全学校(1,169校)の39.1%。

表34 障害者差別解消法に関する対応要領等 [学校種別]

	全体の学校数 (校)	対応要領または基本方針 規程等がある			平成30年度中に策定予定			対応要領または基本方針 規程等はない		
		(%)	支援障 害学生 在籍校		(%)	支援障 害学生 在籍校		(%)	支援障 害学生 在籍校	
計	1,169	634	54.2	548	78	6.7	50	457	39.1	240
大学	785	464	59.1	419	49	6.2	35	272	34.6	174
短期大学	327	120	36.7	80	26	8.0	12	181	55.4	62
高等専門学校	57	50	87.7	49	3	5.3	3	4	7.0	4

表35 障害者差別解消法に関する対応要領等 [障害学生数別・学校種別]

	全体の学校数 (校)	対応要領または基本方針 規程等がある			平成30年度中に策定予定			対応要領または基本方針 規程等はない		
		(%)	支援障 害学生 在籍校		(%)	支援障 害学生 在籍校		(%)	支援障 害学生 在籍校	
障害学生21人以上	400	304	76.0	301	19	4.8	19	77	19.3	71
大学	345	262	75.9	260	16	4.6	16	67	19.4	63
短期大学	24	14	58.3	13	1	4.2	1	9	37.5	7
高等専門学校	31	28	90.3	28	2	6.5	2	1	3.2	1
障害学生11～20人	149	95	63.8	93	11	7.4	10	43	28.9	40
大学	113	74	65.5	73	5	4.4	5	34	30.1	33
短期大学	25	11	44.0	10	5	20.0	4	9	36.0	7
高等専門学校	11	10	90.9	10	1	9.1	1	0	0.0	0
障害学生6～10人	113	61	54.0	58	11	9.7	6	41	36.3	31
大学	75	45	60.0	42	7	9.3	5	23	30.7	18
短期大学	31	11	35.5	11	4	12.9	1	16	51.6	11
高等専門学校	7	5	71.4	5	0	0.0	0	2	28.6	2
障害学生2～5人	173	73	42.2	67	12	6.9	10	88	50.9	67
大学	90	32	35.6	29	7	7.8	6	51	56.7	43
短期大学	76	35	46.1	32	5	6.6	4	36	47.4	23
高等専門学校	7	6	85.7	6	0	0.0	0	1	14.3	1
障害学生1人	106	39	36.8	29	6	5.7	5	61	57.5	31
大学	55	19	34.5	15	4	7.3	3	32	58.2	17
短期大学	50	19	38.0	14	2	4.0	2	29	58.0	14
高等専門学校	1	1	100.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0
障害学生0人	228	62	27.2	0	19	8.3	0	147	64.5	0
大学	107	32	29.9	0	10	9.3	0	65	60.7	0
短期大学	121	30	24.8	0	9	7.4	0	82	67.8	0
高等専門学校	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0

※支援障害学生在籍学校数:支援障害学生が在籍している学校数

(2) 専門委員会等の設置状況(障害学生数別・学校種別)

<概要>

○障害学生支援に関する専門委員会の設置状況を見てみると、「専門委員会を設置」している学校は455校で、全学校(1,169校)の38.9%。「他の委員会が対応」する学校は577校で、全学校(1,169校)の49.4%。これらを合わせた「対応する委員会がある」学校は1,032校で、全学校(1,169校)の88.3%となっている。

表36 障害学生支援に関する専門委員会等[学校種別]

	全体の 学校数		対応する委員会がある				対応する委員会はない						
	(校)	(%)	専門委員会を設置 支援障 害学生 在籍校	(%)	他の委員会が対応 支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校				
計	1,169	1,032	88.3	782	455	38.9	398	577	49.4	384	137	11.7	56
大学	785	712	90.7	589	336	42.8	314	376	47.9	275	73	9.3	39
短期大学	327	267	81.7	141	89	27.2	54	178	54.4	87	60	18.3	13
高等専門学校	57	53	93.0	52	30	52.6	30	23	40.4	22	4	7.0	4

表37 障害学生支援に関する専門委員会等[障害学生数別・学校種別]

	全体の 学校数		対応する委員会がある				対応する委員会はない						
	(校)	(%)	専門委員会を設置 支援障 害学生 在籍校	(%)	他の委員会が対応 支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校				
障害学生21人以上	400	384	96.0	376	232	58.0	229	152	38.0	147	16	4.0	15
大学	345	332	96.2	326	204	59.1	203	128	37.1	123	13	3.8	13
短期大学	24	21	87.5	19	11	45.8	9	10	41.7	10	3	12.5	2
高等専門学校	31	31	100.0	31	17	54.8	17	14	45.2	14	0	0.0	0
障害学生11～20人	149	132	88.6	129	62	41.6	60	70	47.0	69	17	11.4	14
大学	113	102	90.3	101	46	40.7	46	56	49.6	55	11	9.7	10
短期大学	25	20	80.0	18	10	40.0	8	10	40.0	10	5	20.0	3
高等専門学校	11	10	90.9	10	6	54.5	6	4	36.4	4	1	9.1	1
障害学生6～10人	113	105	92.9	90	43	38.1	40	62	54.9	50	8	7.1	5
大学	75	71	94.7	62	32	42.7	30	39	52.0	32	4	5.3	3
短期大学	31	29	93.5	23	9	29.0	8	20	64.5	15	2	6.5	0
高等専門学校	7	5	71.4	5	2	28.6	2	3	42.9	3	2	28.6	2
障害学生2～5人	173	149	86.1	128	54	31.2	50	95	54.9	78	24	13.9	16
大学	90	77	85.6	68	27	30.0	25	50	55.6	43	13	14.4	10
短期大学	76	66	86.8	54	22	28.9	20	44	57.9	34	10	13.2	5
高等専門学校	7	6	85.7	6	5	71.4	5	1	14.3	1	1	14.3	1
障害学生1人	106	93	87.7	59	27	25.5	19	66	62.3	40	13	12.3	6
大学	55	48	87.3	32	14	25.5	10	34	61.8	22	7	12.7	3
短期大学	50	44	88.0	27	13	26.0	9	31	62.0	18	6	12.0	3
高等専門学校	1	1	100.0	0	0	0.0	0	1	100.0	0	0	0.0	0
障害学生0人	228	169	74.1	0	37	16.2	0	132	57.9	0	59	25.9	0
大学	107	82	76.6	0	13	12.1	0	69	64.5	0	25	23.4	0
短期大学	121	87	71.9	0	24	19.8	0	63	52.1	0	34	28.1	0
高等専門学校	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0

※支援障害学生在籍学校数:支援障害学生が在籍している学校数

(3)紛争の防止、解決等に関する調整機関の設置状況(障害学生数別・学校種別)

<概要>

- 紛争の防止、解決等に関する調整機関の設置状況を見ると、「第三者視点で調査を行なう機関がある」学校77校と「他の機関が対応している」学校457校を合わせた534校で、組織的な対応をしており、全学校(1,169校)の45.7%にあたる。
- 「第三者的視点で調整を行なう機関はない」学校は635校で、全学校の(1,169校)の54.3%にあたる。

表38 紛争の防止、解決等に関する調整機関[学校種別]

	全体の対応する機関がある 学校数				第三者的視点で調整を行なう機関がある				第三者的視点で調整を行なう機関はない				
			支援障害学生 在籍校				支援障害学生 在籍校				支援障害学生 在籍校		
	(校)	(%)	(%)	(校)	(%)	(%)	(校)	(%)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
計	1,169	534	45.7	411	77	6.6	68	457	39.1	343	635	54.3	427
大学	785	382	48.7	322	65	8.3	62	317	40.4	260	403	51.3	306
短期大学	327	127	38.8	65	10	3.1	4	117	35.8	61	200	61.2	89
高等専門学校	57	25	43.9	24	2	3.5	2	23	40.4	22	32	56.1	32

表39 紛争の防止、解決等に関する調整機関[障害学生数別・学校種別]

	全体の対応する機関がある 学校数				第三者的視点で調整を行なう機関がある				第三者的視点で調整を行なう機関はない				
			支援障害学生 在籍校				支援障害学生 在籍校				支援障害学生 在籍校		
	(校)	(%)	(%)	(校)	(%)	(%)	(校)	(%)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
障害学生21人以上	400	222	55.5	219	44	11.0	44	178	44.5	175	178	44.5	172
大学	345	199	57.7	197	43	12.5	43	156	45.2	154	146	42.3	142
短期大学	24	9	37.5	8	1	4.2	1	8	33.3	7	15	62.5	13
高等専門学校	31	14	45.2	14	0	0.0	0	14	45.2	14	17	54.8	17
障害学生11～20人	149	67	45.0	66	9	6.0	9	58	38.9	57	82	55.0	77
大学	113	51	45.1	51	8	7.1	8	43	38.1	43	62	54.9	60
短期大学	25	11	44.0	10	0	0.0	0	11	44.0	10	14	56.0	11
高等専門学校	11	5	45.5	5	1	9.1	1	4	36.4	4	6	54.5	6
障害学生6～10人	113	46	40.7	40	8	7.1	8	38	33.6	32	67	59.3	55
大学	75	30	40.0	27	6	8.0	6	24	32.0	21	45	60.0	38
短期大学	31	13	41.9	10	1	3.2	1	12	38.7	9	18	58.1	13
高等専門学校	7	3	42.9	3	1	14.3	1	2	28.6	2	4	57.1	4
障害学生2～5人	173	70	40.5	60	5	2.9	4	65	37.6	56	103	59.5	84
大学	90	37	41.1	33	3	3.3	3	34	37.8	30	53	58.9	45
短期大学	76	31	40.8	25	2	2.6	1	29	38.2	24	45	59.2	34
高等専門学校	7	2	28.6	2	0	0.0	0	2	28.6	2	5	71.4	5
障害学生1人	106	45	42.5	26	3	2.8	3	42	39.6	23	61	57.5	39
大学	55	21	38.2	14	2	3.6	2	19	34.5	12	34	61.8	21
短期大学	50	23	46.0	12	1	2.0	1	22	44.0	11	27	54.0	18
高等専門学校	1	1	100.0	0	0	0.0	0	1	100.0	0	0	0.0	0
障害学生0人	228	84	36.8	0	8	3.5	0	76	33.3	0	144	63.2	0
大学	107	44	41.1	0	3	2.8	0	41	38.3	0	63	58.9	0
短期大学	121	40	33.1	0	5	4.1	0	35	28.9	0	81	66.9	0
高等専門学校	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0

※支援障害学生在籍学校数:支援障害学生が在籍している学校数

(4) 1)障害学生支援担当部署の設置状況(障害学生数別・学校種別)

<概要>

- 障害学生支援担当部署の設置状況を見ると、「専門部署・機関を設置」している学校250校と「他の部署・機関が対応」する学校878校を合わせた1,128校で、組織的な対応をしており、全学校(1,169校)の96.5%にあたる。
- 「対応する部署・機関はない」学校は41校で、全学校の(1,169校)の3.5%にあたる。

表40 障害学生支援担当部署[学校種別]

	全体の 学校数 (校)	対応する部署・機関がある						対応する部署・機関はない					
		専門部署・機関を設置			他の部署・機関が対応			専門部署・機関を設置			他の部署・機関が対応		
		支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	
計	1,169	1,128	96.5	832	250	21.4	223	878	75.1	609	41	3.5	6
大学	785	765	97.5	626	192	24.5	183	573	73.0	443	20	2.5	2
短期大学	327	306	93.6	150	41	12.5	23	265	81.0	127	21	6.4	4
高等専門学校	57	57	100.0	56	17	29.8	17	40	70.2	39	0	0.0	0

表41 障害学生支援担当部署[障害学生数別・学校種別]

	全体の 学校数 (校)	対応する部署・機関がある						対応する部署・機関はない					
		専門部署・機関を設置			他の部署・機関が対応			専門部署・機関を設置			他の部署・機関が対応		
		支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	
障害学生21人以上	400	400	100.0	391	150	37.5	149	250	62.5	242	0	0.0	0
大学	345	345	100.0	339	135	39.1	134	210	60.9	205	0	0.0	0
短期大学	24	24	100.0	21	5	20.8	5	19	79.2	16	0	0.0	0
高等専門学校	31	31	100.0	31	10	32.3	10	21	67.7	21	0	0.0	0
障害学生11～20人	149	146	98.0	142	34	22.8	34	112	75.2	108	3	2.0	1
大学	113	112	99.1	111	27	23.9	27	85	75.2	84	1	0.9	0
短期大学	25	23	92.0	20	2	8.0	2	21	84.0	18	2	8.0	1
高等専門学校	11	11	100.0	11	5	45.5	5	6	54.5	6	0	0.0	0
障害学生6～10人	113	112	99.1	95	15	13.3	14	97	85.8	81	1	0.9	0
大学	75	74	98.7	65	12	16.0	11	62	82.7	54	1	1.3	0
短期大学	31	31	100.0	23	3	9.7	3	28	90.3	20	0	0.0	0
高等専門学校	7	7	100.0	7	0	0.0	0	7	100.0	7	0	0.0	0
障害学生2～5人	173	171	98.8	142	21	12.1	19	150	86.7	123	2	1.2	2
大学	90	89	98.9	77	9	10.0	8	80	88.9	69	1	1.1	1
短期大学	76	75	98.7	58	10	13.2	9	65	85.5	49	1	1.3	1
高等専門学校	7	7	100.0	7	2	28.6	2	5	71.4	5	0	0.0	0
障害学生1人	106	102	96.2	62	10	9.4	7	92	86.8	55	4	3.8	3
大学	55	53	96.4	34	4	7.3	3	49	89.1	31	2	3.6	1
短期大学	50	48	96.0	28	6	12.0	4	42	84.0	24	2	4.0	2
高等専門学校	1	1	100.0	0	0	0.0	0	1	100.0	0	0	0.0	0
障害学生0人	228	197	86.4	0	20	8.8	0	177	77.6	0	31	13.6	0
大学	107	92	86.0	0	5	4.7	0	87	81.3	0	15	14.0	0
短期大学	121	105	86.8	0	15	12.4	0	90	74.4	0	16	13.2	0
高等専門学校	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0

※支援障害学生在籍学校数:支援障害学生が在籍している学校数

(4) 2)障害学生支援担当者の配置状況(障害学生数別・学校種別)

<概要>

○障害学生支援担当者の配置状況を見てみると、「専任」を配置している学校198校と「兼任」を配置している学校919校を合わせた1,117校で、支援担当者を配置しており、全学校(1,169校)の95.6%にあたる。

表42 障害学生支援担当者[学校種別]

	全体の 学校数 (校)	支援担当者を配置		専任		兼任		外部委託				
		(校)	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)			
計	1,169	1,117	95.6	828	198	16.9	184	919	78.6	644	489	41.8
大学	785	757	96.4	622	168	21.4	163	589	75.0	459	327	41.7
短期大学	327	303	92.7	150	24	7.3	15	279	85.3	135	119	36.4
高等専門学校	57	57	100.0	56	6	10.5	6	51	89.5	50	43	75.4

表43 障害学生支援担当者[障害学生数別・学校種別]

	全体の 学校数 (校)	支援担当者を配置		専任		兼任		外部委託				
		(校)	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)			
障害学生21人以上	400	400	100.0	391	139	34.8	139	261	65.3	252	209	52.3
大学	345	345	100.0	339	132	38.3	132	213	61.7	207	172	49.9
短期大学	24	24	100.0	21	5	20.8	5	19	79.2	16	11	45.8
高等専門学校	31	31	100.0	31	2	6.5	2	29	93.5	29	26	83.9
障害学生11～20人	149	145	97.3	141	24	16.1	24	121	81.2	117	64	43.0
大学	113	111	98.2	110	21	18.6	21	90	79.6	89	46	40.7
短期大学	25	23	92.0	20	2	8.0	2	21	84.0	18	10	40.0
高等専門学校	11	11	100.0	11	1	9.1	1	10	90.9	10	8	72.7
障害学生6～10人	113	111	98.2	94	5	4.4	5	106	93.8	89	54	47.8
大学	75	73	97.3	64	4	5.3	4	69	92.0	60	35	46.7
短期大学	31	31	100.0	23	1	3.2	1	30	96.8	22	15	48.4
高等専門学校	7	7	100.0	7	0	0.0	0	7	100.0	7	4	57.1
障害学生2～5人	173	169	97.7	141	11	6.4	11	158	91.3	130	64	37.0
大学	90	88	97.8	77	4	4.4	4	84	93.3	73	32	35.6
短期大学	76	74	97.4	57	4	5.3	4	70	92.1	53	28	36.8
高等専門学校	7	7	100.0	7	3	42.9	3	4	57.1	4	4	57.1
障害学生1人	106	100	94.3	61	6	5.7	5	94	88.7	56	38	35.8
大学	55	51	92.7	32	2	3.6	2	49	89.1	30	21	38.2
短期大学	50	48	96.0	29	4	8.0	3	44	88.0	26	16	32.0
高等専門学校	1	1	100.0	0	0	0.0	0	1	100.0	0	1	100.0
障害学生0人	228	192	84.2	0	13	5.7	0	179	78.5	0	60	26.3
大学	107	89	83.2	0	5	4.7	0	84	78.5	0	21	19.6
短期大学	121	103	85.1	0	8	6.6	0	95	78.5	0	39	32.2
高等専門学校	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0

※支援障害学生在籍学校数：支援障害学生が在籍している学校数

※複数回答あり

※専任担当者と兼任担当者の両方が配置されている学校については、専任配置校とした。

(4) 3)障害学生支援担当者の職種(職種別・障害学生数別・学校種別)

<概要>

○障害学生支援担当者別の配置校数を職種別に多い順に並べると次のとおり。

- ・専任スタッフでは、最も多いのが「コーディネーター」と「職員」98校。次いで「教員」57校、「カウンセラー」42校。
- ・兼任スタッフでは、最も多いのが「職員」970校。次いで「教員」675校、「カウンセラー」383校。
- ・外部委託では、最も多いのが「医師・カウンセラー等」438校。次いで「専門技能者」58校。

表44 障害学生支援担当者[職種別・学校種別]

(校)	計	専任スタッフ							兼任スタッフ							外部委託					
		コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教員	職員	教員	その他	コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教員	職員	教員	その他	医師・カウンセラー等	専門技能者	その他			
計	941	198	98	42	6	8	98	57	32	1,089	90	383	188	25	970	675	58	489	438	58	31
大学	678	168	85	36	5	8	87	50	28	737	65	280	161	21	669	434	40	327	285	50	21
短期大学	206	24	12	5	1	0	9	4	3	297	16	89	27	4	250	192	16	119	110	8	6
高等専門学校	57	6	1	1	0	0	2	3	1	55	9	14	0	0	51	49	2	43	43	0	4

表45 障害学生支援担当者[職種別・障害学生数別・学校種別]

(校)	計	専任スタッフ							兼任スタッフ							外部委託					
		コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教員	職員	教員	その他	コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教員	職員	教員	その他	医師・カウンセラー等	専門技能者	その他			
障害学生21人以上	400	139	73	29	5	7	77	41	22	386	43	185	97	10	346	249	25	209	177	37	19
大学	345	132	70	28	5	7	72	40	22	332	38	169	94	10	296	206	22	172	140	36	16
短期大学	24	5	2	1	0	0	4	0	0	24	0	9	3	0	22	16	2	11	11	1	0
高等専門学校	31	2	1	0	0	0	1	1	0	30	5	7	0	0	28	27	1	26	26	0	3
障害学生11～20人	149	24	12	4	0	1	10	9	3	141	11	50	25	4	127	80	10	64	61	7	3
大学	113	21	10	4	0	1	10	8	3	107	8	39	21	3	97	59	9	46	43	7	2
短期大学	25	2	2	0	0	0	0	0	0	23	1	7	4	1	20	12	1	10	10	0	0
高等専門学校	11	1	0	0	0	0	0	1	0	11	2	4	0	0	10	9	0	8	8	0	1
障害学生6～10人	113	5	3	0	0	0	2	1	0	111	13	32	16	3	101	67	4	54	51	3	1
大学	75	4	2	0	0	0	2	1	0	73	10	20	14	2	68	38	4	35	32	2	1
短期大学	31	1	1	0	0	0	0	0	0	31	2	10	2	1	26	22	0	15	15	1	0
高等専門学校	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	2	0	0	7	7	0	4	4	0	0
障害学生2～5人	173	11	5	3	0	0	3	3	4	166	11	52	21	5	149	108	8	64	57	6	4
大学	90	4	2	2	0	0	1	1	1	87	4	23	12	4	82	49	3	32	29	5	1
短期大学	76	4	3	0	0	0	1	1	2	73	6	28	9	1	62	54	4	28	24	1	3
高等専門学校	7	3	0	1	0	0	1	1	1	6	1	1	0	0	5	5	1	4	4	0	0
障害学生1人	106	6	2	2	1	0	3	0	0	100	6	24	13	0	89	57	4	38	34	2	3
大学	55	2	1	0	0	0	1	0	0	51	3	14	10	0	47	28	1	21	20	0	1
短期大学	50	4	1	2	1	0	2	0	0	48	3	10	3	0	41	28	3	16	13	2	2
高等専門学校	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0
障害学生0人	228	13	3	4	0	0	3	3	3	185	6	40	16	3	158	114	7	60	58	3	1
大学	107	5	0	2	0	0	1	0	2	87	2	15	10	2	79	54	1	21	21	0	0
短期大学	121	8	3	2	0	0	2	3	1	98	4	25	6	1	79	60	6	39	37	3	1
高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 複数回答あり

表46 支援障害学生在籍校における障害学生支援担当者[職種別・学校種別]

	支援障害学生在籍校 (校)	専任スタッフ		支援技術を持つ教職員					兼任スタッフ					外部委託							
		コーディネーター	カウンセラー	医師	職員	教員	その他	コーディネーター	カウンセラー	医師	職員	教員	その他	医師・カウンセラー等	専門技能者	その他					
計	838	184	95	37	5	8	95	54	29	807	82	320	164	21	727	499	46	387	342	53	27
大学	628	163	85	34	5	8	86	50	26	604	61	254	145	18	548	355	37	285	244	50	20
短期大学	154	15	9	2	0	0	7	1	2	149	12	52	19	3	129	96	7	60	56	3	3
高等専門学校	56	6	1	1	0	0	2	3	1	54	9	14	0	0	50	48	2	42	42	0	4

表47 支援障害学生在籍校における障害学生支援担当者[職種別・障害学生数別・学校種別]

	支援障害学生在籍校 (校)	専任スタッフ		支援技術を持つ教職員					兼任スタッフ					外部委託							
		コーディネーター	カウンセラー	医師	職員	教員	その他	コーディネーター	カウンセラー	医師	職員	教員	その他	医師・カウンセラー等	専門技能者	その他					
障害学生21人以上	391	139	73	29	5	7	77	41	22	377	42	182	97	10	337	244	24	205	173	37	19
大学	339	132	70	28	5	7	72	40	22	326	37	166	94	10	290	203	21	169	137	36	16
短期大学	21	5	2	1	0	0	4	0	0	21	0	9	3	0	19	14	2	10	10	1	0
高等専門学校	31	2	1	0	0	0	1	1	0	30	5	7	0	0	28	27	1	26	26	0	3
障害学生11～20人	143	24	12	4	0	1	10	9	3	137	11	49	25	4	123	78	10	62	59	7	3
大学	111	21	10	4	0	1	10	8	3	106	8	39	21	3	96	59	9	45	42	7	2
短期大学	21	2	2	0	0	0	0	0	0	20	1	6	4	1	17	10	1	9	9	0	0
高等専門学校	11	1	0	0	0	0	0	1	0	11	2	4	0	0	10	9	0	8	8	0	1
障害学生6～10人	95	5	3	0	0	0	2	1	0	94	12	29	14	2	87	57	3	46	43	2	1
大学	65	4	2	0	0	0	2	1	0	64	9	19	12	1	60	34	3	30	27	2	1
短期大学	23	1	1	0	0	0	0	0	0	23	2	8	2	1	20	16	0	12	12	0	0
高等専門学校	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	2	0	0	7	7	0	4	4	0	0
障害学生2～5人	144	11	5	3	0	0	3	3	4	138	11	46	19	5	124	88	7	52	46	6	3
大学	78	4	2	2	0	0	1	1	1	76	4	22	11	4	72	44	3	28	25	5	1
短期大学	59	4	3	0	0	0	1	1	2	56	6	23	8	1	47	39	3	20	17	1	2
高等専門学校	7	3	0	1	0	0	1	1	1	6	1	1	0	0	5	5	1	4	4	0	0
障害学生1人	65	5	2	1	0	0	3	0	0	61	6	14	9	0	56	32	2	22	21	1	1
大学	35	2	1	0	0	0	1	0	0	32	3	8	7	0	30	15	1	13	13	0	0
短期大学	30	3	1	1	0	0	2	0	0	29	3	6	2	0	26	17	1	9	8	1	1
高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害学生0人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 支援障害学生在籍校:各障害学生数区分のうち、支援障害学生が在籍している学校数

※ 複数回答あり

(5)障害学生の相談受付窓口

<概要>

○障害学生の支援の申し出等に対応する窓口の設置状況を見ると、「支援の申し出等の相談に対応する窓口がある」学校は880校で、全体の学校数(1,169校)の75.3%。このうち、「窓口について、要覧、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している」学校は657校。

表48 障害学生の相談受付窓口の設置状況

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
支援の申し出等の相談に対応する窓口がある		880	620	207	53
窓口について、要覧、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している		657	476	135	46
窓口は設けているが、特に周知はしていない		223	144	72	7
支援の申し出等の相談に対応する窓口はない		289	165	120	4
特に窓口は設けず、各部署で相談に対応していることを周知している		189	115	71	3
窓口はなく、相談対応について特に周知はしていない		100	50	49	1

(6)支援の申し出等に関する対応手順

<概要>

○支援の申し出等に関する対応手順の整備状況を見ると、「対応手順を規定した文書がある」学校は278校。「対応要領等に手順が記載されている」学校220校と合わせると498校で、全体の学校数(1,169校)の42.6%。

表49 支援の申し出等に関する対応手順

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
対応手順を規定した文書がある		278	203	57	18
対応要領等に対応手順が記載されている		220	169	38	13
対応手順を規定する文書はない		671	413	232	26

(7)施設・設備の整備状況(学校種別・内容別)

<概要>

○大学、短期大学、高等専門学校すべてにおいて以下の整備率が高い。

- ・屋外については「専用駐車場」、「道路の舗装、段差の解消等」。
- ・屋内については「エレベーター」、「障害者用トイレ」、「車椅子移動等に必要なスペース確保」。
- ・支援機器については「車椅子、簡易ベッド等」。

表50 施設・設備の整備状況

		学内全体に (校)	現在必要な 箇所に整備	部分的に整 備している が不十分	整備中また は年度内に 整備予定	未整備
大学						
屋外	道路の舗装、段差の解消等	152	323	255	2	53
	手すり、スロープ、階段昇降機等	87	360	288	1	49
	点字ブロック、標識シール等	51	167	263	1	303
	専用駐車場	162	377	118	1	127
屋内	自動扉等出入口の整備	124	302	269	2	88
	エレベーター	200	351	218	0	16
	手すり、スロープ、階段昇降機等	92	336	309	0	48
	車椅子移動等に必要なスペース確保	164	291	264	1	65
	点字プレート等教室表示	27	77	117	3	561
	聴覚障害者用屋内信号装置	0	7	14	0	764
	障害者用トイレ	187	381	197	0	20
	自習室、独習室	55	210	165	3	352
	磁気誘導ループ	0	8	6	2	769
	点字プリンタ	—	81	27	2	675
支援機器	立体コピー機	—	33	8	0	744
	拡大読書機	—	91	52	0	642
	点字携帯端末	—	28	9	1	747
	筆談器等	—	106	76	2	601
	車椅子、簡易ベッド等	—	500	225	0	60
	その他	19	57	17	3	—
短期大学						
屋外	道路の舗装、段差の解消等	45	109	118	1	54
	手すり、スロープ、階段昇降機等	19	121	140	1	46
	点字ブロック、標識シール等	13	46	61	2	205
	専用駐車場	37	126	40	2	122
屋内	自動扉等出入口の整備	29	94	112	1	91
	エレベーター	50	112	109	1	55
	手すり、スロープ、階段昇降機等	19	111	147	1	49
	車椅子移動等に必要なスペース確保	39	111	111	1	65
	点字プレート等教室表示	4	21	27	3	272
	聴覚障害者用屋内信号装置	0	1	3	1	322
	障害者用トイレ	47	132	115	2	31
	自習室、独習室	11	54	47	4	211
	磁気誘導ループ	0	0	0	1	326
	点字プリンタ	—	11	6	0	310
支援機器	立体コピー機	—	6	3	0	318
	拡大読書機	—	11	7	0	309
	点字携帯端末	—	4	3	0	320
	筆談器等	—	18	15	0	294
	車椅子、簡易ベッド等	—	172	107	0	48
	その他	2	10	2	0	—
高等専門学校						
屋外	道路の舗装、段差の解消等	10	23	24	0	0
	手すり、スロープ、階段昇降機等	8	25	24	0	0
	点字ブロック、標識シール等	1	3	13	0	40
	専用駐車場	10	28	16	0	3
屋内	自動扉等出入口の整備	10	21	24	0	2
	エレベーター	10	19	26	0	2
	手すり、スロープ、階段昇降機等	6	25	25	0	1
	車椅子移動等に必要なスペース確保	8	20	25	0	4
	点字プレート等教室表示	1	0	4	0	52
	聴覚障害者用屋内信号装置	0	0	0	0	57
	障害者用トイレ	12	23	22	0	0
	自習室、独習室	1	10	12	0	34
	磁気誘導ループ	0	0	0	0	57
	点字プリンタ	—	0	0	0	57
支援機器	立体コピー機	—	2	2	0	53
	拡大読書機	—	0	1	0	56
	点字携帯端末	—	0	0	0	57
	筆談器等	—	2	3	1	51
	車椅子、簡易ベッド等	—	36	19	0	2
	その他	1	1	0	0	—

(8)支援学生(障害学生を支援する学生)在籍学校数(支援学生数別・学校種別)

<概要>

○支援学生在籍学校数の状況を見ると、「①学校が運営する組織に登録する支援学生がいる」学校が227校であり、支援学生在籍校の8割を超えている。

表51 支援学生在籍学校数 [支援学生数別・学校種別]

(校)	支援学生がいる																
	①学校が運営する組織に登録する支援学生がいる ②①以外の支援学生がいる																
	i)学生が運営					ii)他校より派遣					iii)その他						
	有償	無償	その他	有償	無償	その他	有償	無償	その他	有償	無償	その他	有償	無償	その他		
計	277	227	186	33	11	31	14	17	0	2	2	0	0	38	18	17	4
大学	244	200	169	25	8	30	14	16	0	2	2	0	0	33	18	13	3
短期大学	29	24	15	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	4	1
高等専門学校	4	3	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
51人以上	61	58	54	5	1	10	3	7	0	2	2	0	0	1	0	0	1
大学	57	54	50	4	1	10	3	7	0	2	2	0	0	1	0	0	1
短期大学	4	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
41～50人	11	11	11	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0
大学	9	9	9	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0
短期大学	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31～40人	26	22	18	1	3	3	2	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0
大学	26	22	18	1	3	3	2	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0
短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21～30人	39	35	30	5	0	4	3	1	0	0	0	0	0	5	3	2	1
大学	36	32	28	4	0	4	3	1	0	0	0	0	0	5	3	2	1
短期大学	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11～20人	44	37	24	10	3	6	2	4	0	0	0	0	0	2	0	2	0
大学	38	31	22	7	2	6	2	4	0	0	0	0	0	2	0	2	0
短期大学	5	5	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6～10人	33	26	24	3	0	2	1	1	0	0	0	0	0	6	6	0	0
大学	31	24	22	3	0	2	1	1	0	0	0	0	0	6	6	0	0
短期大学	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1～5人	63	38	25	9	4	5	3	2	0	0	0	0	0	21	7	12	2
大学	47	28	20	6	2	4	3	1	0	0	0	0	0	16	7	8	1
短期大学	15	10	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	4	1
高等専門学校	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援学生はいない	892																
大学	541																
短期大学	298																
高等専門学校	53																

※①②は複数回答あり。「支援学生がいる」校数では複数回答は学生数の多い区分に分類した。

(注) 本項目は平成28年度から設けたものであるが、30年度から調査票と集計方法が変更されているため比較には留意が必要である。

8. 障害学生支援に関する活動や取組実施状況

(1) 学校種別・障害学生在籍者数別

<概要>

○障害学生支援に関する活動や取組を実施している学校は1,056校であり、そのうち支援障害学生が在籍する学校は804校である。

表52 活動・取組実施状況 [学校種別]

(校)	全体の学校数	実施校数	支援障害 学生在籍校
計	1,169	1,056	804
大学	785	724	605
短期大学	327	278	146
高等専門学校	57	54	53

表53 活動・取組実施状況 [障害学生数別・学校種別]

(校)	全体の学校数	実施校数	支援障害 学生在籍校
障害学生21人以上	400	391	383
大学	345	338	333
短期大学	24	24	21
高等専門学校	31	29	29
障害学生11～20人	149	142	138
大学	113	108	107
短期大学	25	23	20
高等専門学校	11	11	11
障害学生6～10人	113	107	93
大学	75	72	64
短期大学	31	29	23
高等専門学校	7	6	6
障害学生2～5人	173	163	137
大学	90	86	74
短期大学	76	70	56
高等専門学校	7	7	7
障害学生1人	106	92	53
大学	55	46	27
短期大学	50	45	26
高等専門学校	1	1	0
障害学生0人	228	161	0
大学	107	74	0
短期大学	121	87	0
高等専門学校	0	0	0

※支援障害学生在籍学校数：支援障害学生が在籍している学校数

(2)学校種別・内容別

<概要>

○障害学生支援に関する活動や取組を内容別に見ると、多い順に「4 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援」714校(前年度703校)、「1 不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組」636校(同568校)、「10 障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣」595校(同647校)。

表54 活動・取組実施状況[学校種別・内容別]

	(校) 実施校数	大学	短期大学	高等 専門学校	全実施校 1,056校 中の実施率	全学校 1,169校 中の実施率
1 不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組	636 (568)	450 (404)	148 (130)	38 (34)	60.2 (55.1)	54.4 (48.5)
2 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組	517 (481)	385 (356)	109 (104)	23 (21)	49.0 (46.7)	44.2 (41.1)
3 支援情報の公開(学外者が見られるホームページで公開している)	559 (515)	425 (387)	94 (86)	40 (42)	52.9 (50.0)	47.8 (44.0)
4 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援	714 (703)	517 (513)	171 (163)	26 (27)	67.6 (68.2)	61.1 (60.1)
5 他大学等との連携	237 (186)	188 (150)	37 (23)	12 (13)	22.4 (18.0)	20.3 (15.9)
6 学外機関との連携	444 (437)	332 (332)	92 (84)	20 (21)	42.0 (42.4)	38.0 (37.4)
7 相談対応・懇親会等(障害学生・支援スタッフ向け)	348 (365)	260 (269)	69 (75)	19 (21)	33.0 (35.4)	29.8 (31.2)
8 障害学生支援に関する(学内)研修	462 (432)	344 (326)	95 (83)	23 (23)	43.8 (41.9)	39.5 (36.9)
8 教員向け各種研修(FD等)	420 (391)	316 (296)	81 (73)	23 (22)	39.8 (37.9)	35.9 (33.4)
9 職員向け各種研修(SD等)	371 (340)	283 (260)	74 (64)	14 (16)	35.1 (33.0)	31.7 (29.1)
10 障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣	595 (647)	427 (466)	126 (138)	42 (43)	56.3 (62.8)	50.9 (55.3)
11 障害学生支援に関する学生向け研修(ノートテイク養成等)	203 (197)	182 (180)	20 (16)	1 (1)	19.2 (19.1)	17.4 (16.8)
12 支援マニュアル、パンフレット等の配布	246 (213)	208 (182)	35 (27)	3 (4)	23.3 (20.7)	21.0 (18.2)
13 オープンキャンパス等、入学希望者を対象とするイベントでの情報提供	337 —	262 —	66 —	9 —	31.9 —	28.8 —
14 入学後のガイダンス等における、障害学生支援の続きなどに関する学内規程や支援事例等の周知	197 —	163 —	26 —	8 —	18.7 —	16.9 —
15 障害学生支援に関する講座講演等イベント	155 (139)	127 (118)	25 (18)	3 (3)	14.7 (13.5)	13.3 (11.9)
16 障害学生支援または障害者支援に関する講義(ポラントニア論等)	415 (376)	323 (298)	91 (77)	1 (1)	39.3 (36.5)	35.5 (32.1)

※ 複数回答あり

()内は前年度数値

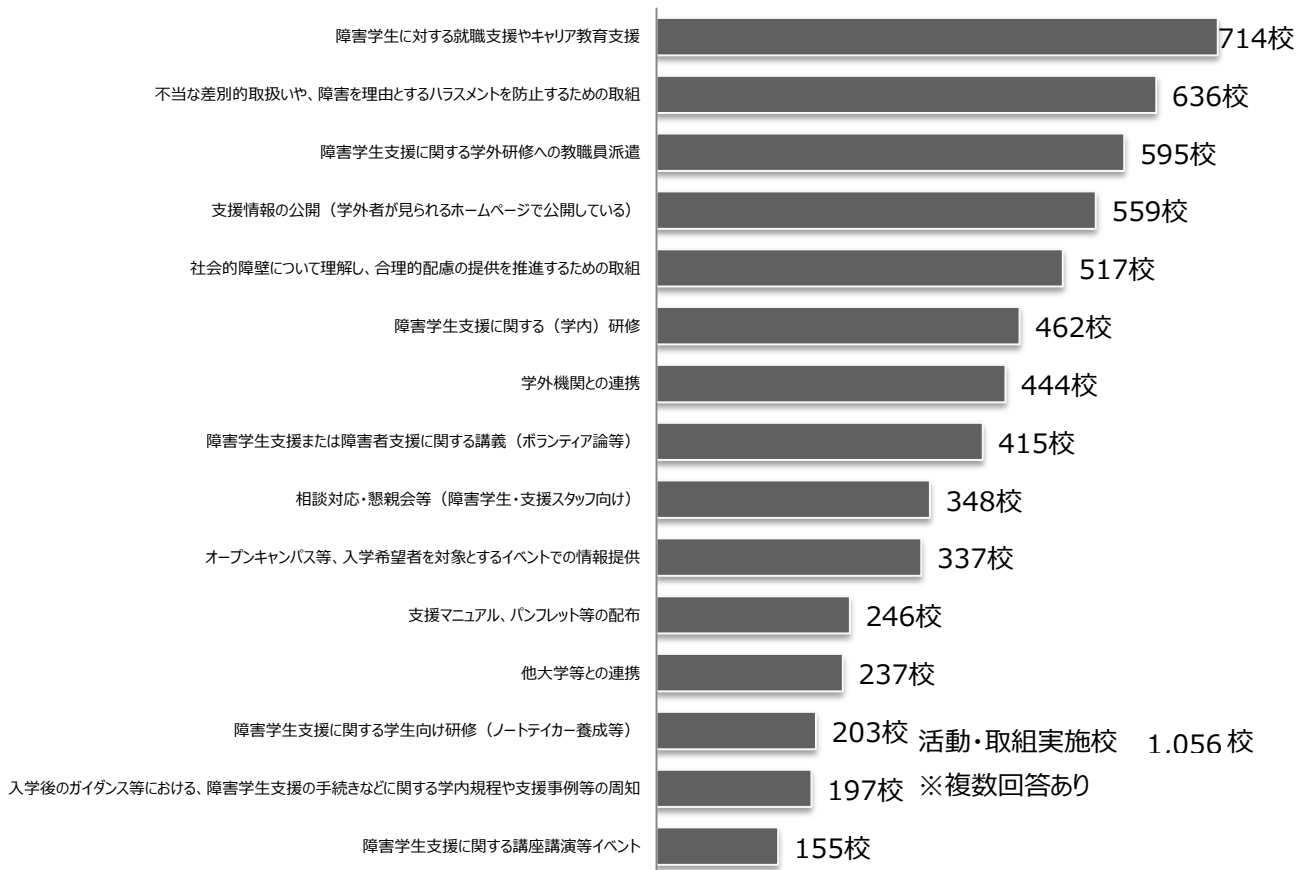


図21 活動・取組実施状況（内容別）

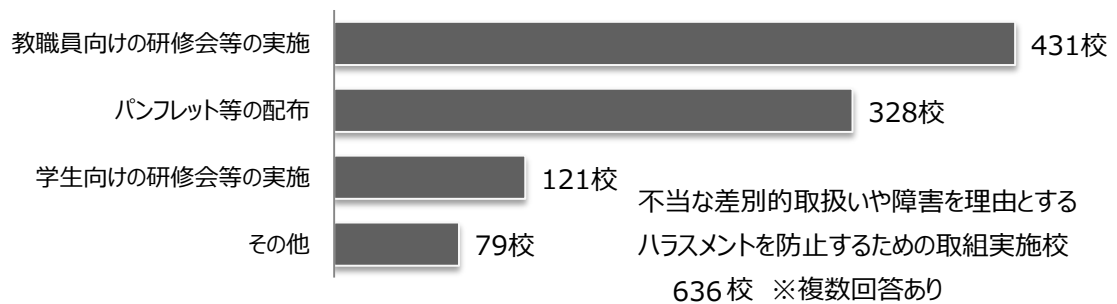


図22 不当な差別的取扱いや障害を理由とするハラスメントを防止するための取組

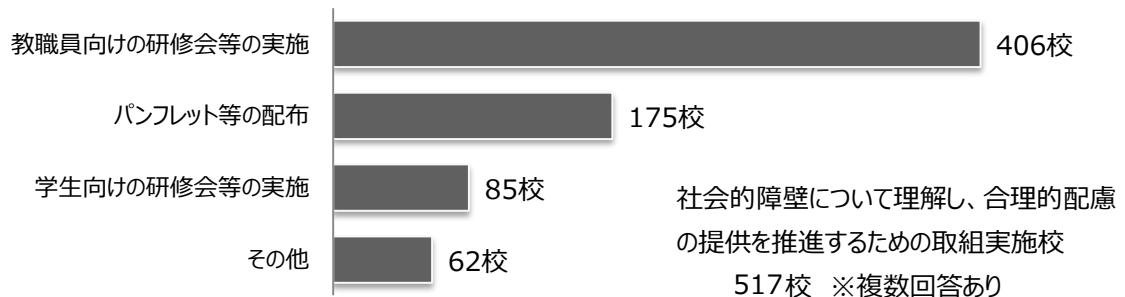


図23 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組

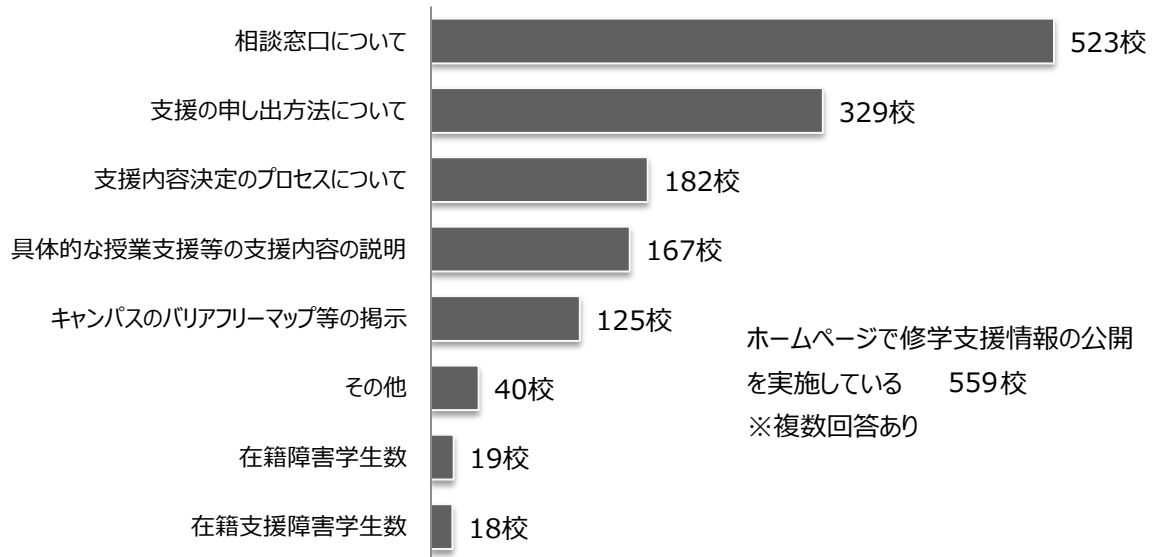


図24 支援情報の公開（学外者が見られるホームページで公開している）

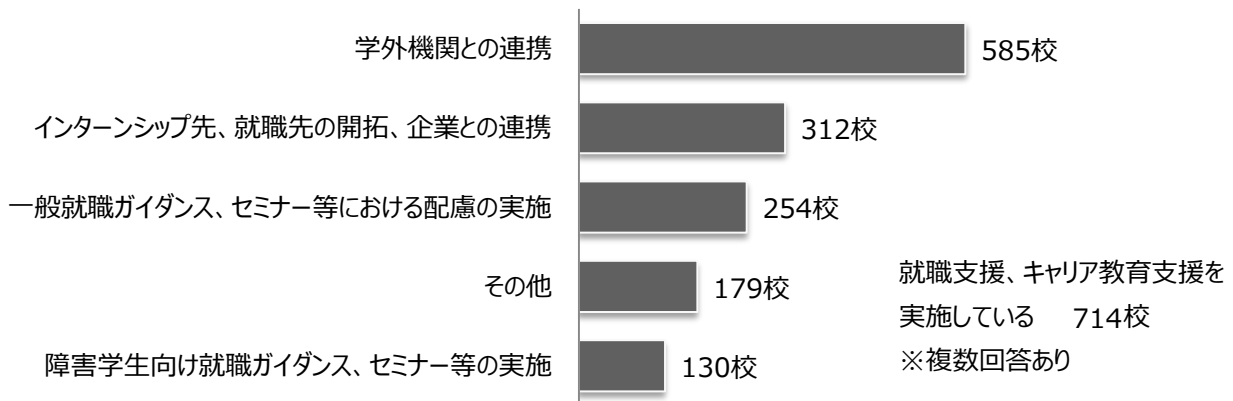


図25 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援

9. 障害のある生徒の受入に関する配慮及び入学者数等

(1) 入学者選抜における配慮に関する体制

<概要>

- 平成30年度入学者選抜において、入試要項等への障害学生配慮に関する記載状況については、「入試要項(紙)及びホームページに記載」している学校が776校である。
- 入学選抜における配慮についての事前相談の受付方法については、「全学共通のルールで期間を設けている」学校が523校である。

表55 入試要項等への障害学生配慮に関する記載状況

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
入試要項(紙)及びホームページに記載		776	588	139	49
「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載		766	580	137	49
個々の困難に応じた配慮内容を記載		12	12	0	0
その他		10	9	1	0
入試要項(紙)のみに記載		198	116	80	2
「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載		191	114	75	2
個々の困難に応じた配慮内容を記載		4	2	2	0
その他		8	3	5	0
入試要項(紙)にもホームページにも記載していない		180	74	100	6

※複数回答あり

表56 入学者選抜における配慮についての事前相談の受付方法

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
随時受け付けている		372	247	112	13
全学共通のルールで期間を設けている		523	386	99	38
出願受付締め切りまで		80	58	18	4
試験前日まで		9	7	1	1
その他		434	321	80	33
学部、学科等や入試形態によって違う		63	61	2	0
特に告知はしていないが、相談があれば対応する		204	91	107	6

(2)入学者選抜において実施可能な配慮

<概要>

○平成30年度入学者選抜における実施可能な配慮について、多い順に「松葉杖の持参使用」940校、「車椅子等の持参使用」938校、「別室を設定」925校。

表57 入学者選抜において実施可能な配慮

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
点字問題を点字で解答		147	129	18	0
拡大文字問題の準備		571	427	123	21
拡大解答用紙の準備		559	415	124	20
音声で出題し音声で解答		57	50	7	0
マークシートに替えて文字で解答		148	125	21	2
チェック解答		189	156	31	2
試験時間の延長		634	482	131	21
照明器具の準備		444	330	94	20
特製机の使用		397	321	60	16
拡大鏡等の持参使用		744	543	166	35
補聴器の持参使用		867	622	205	40
車椅子等の持参使用		938	663	226	49
松葉杖の持参使用		940	663	229	48
パソコン等の持参使用		196	162	32	2
手話通訳者の付与		153	128	24	1
文書による伝達		630	484	127	19
窓側の明るい席の指定		866	615	206	45
トイレに近接する試験室に指定		885	636	206	43
別室を設定		925	658	222	45
試験室を一階に設定		656	468	154	34
介助者の付与		345	262	75	8
試験場への車での入構許可		893	637	212	44
その他		218	179	30	9

※ 複数回答あり

※ 過去に実施した実績がなく、実施可否の検討も行っていない項目については、実施可能と回答していない場合がある。

(3)障害のある入学者数等(障害種別・学校種別)

<概要>

○平成30年度入学者選抜における障害のある入学者について見ると、大学においては「聴覚・言語障害」が、短期大学では「病弱・虚弱」が、高等専門学校では「発達障害」が最も多い。

表58 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数 [障害種別・学校種別] (総表)

	(人)	※の内で受験上の配慮を実施した数						
		相談者	志願者	受験者※	合格者※	入学者※	受験者	合格者
計	5,038	5,110	4,883	1,990	1,516	4,308	1,505	1,065
視覚障害	238	284	279	154	127	244	132	104
盲	47	49	48	34	31	40	29	26
弱視	191	235	231	120	96	204	103	78
聴覚・言語障害	1,346	1,306	1,266	492	369	1,192	441	329
聾	345	349	339	134	110	321	128	103
難聴	992	948	918	353	255	866	312	225
言語障害のみ	9	9	9	5	4	5	1	1
肢体不自由	767	800	777	337	288	688	257	208
上肢機能障害	57	58	51	29	24	38	17	12
下肢機能障害	328	338	329	137	121	293	104	89
上下肢機能障害	289	282	278	107	96	253	85	73
他の機能障害	93	122	119	64	47	104	51	34
病弱・虚弱	574	602	580	257	207	472	157	113
内部障害等	440	463	450	194	154	366	116	82
他の慢性疾患	134	139	130	63	53	106	41	31
重複	119	114	107	50	48	97	39	37
発達障害	653	644	610	275	198	476	165	94
SLD	52	47	47	20	12	38	13	7
ADHD	147	160	153	60	37	130	38	18
ASD	265	268	255	130	101	188	70	42
発達障害の重複	189	169	155	65	48	120	44	27
精神障害	627	666	631	222	168	532	134	86
統合失調症等	43	44	42	27	23	19	5	3
気分障害	30	46	40	30	26	14	4	2
神経症性障害等	357	359	345	103	69	316	80	48
摂食障害・睡眠障害等	13	13	12	10	9	5	3	2
他の精神障害	184	204	192	52	41	178	42	31
その他の障害	714	694	633	203	111	607	180	94

表59 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数 [障害種別・学校種別] (大学)

	(人)	※の内で受験上の配慮を実施した数						
		相談者	志願者	受験者※	合格者※	入学者※	受験者	合格者
計	4,923	4,927	4,701	1,840	1,371	4,220	1,443	1,007
視覚障害	229	275	270	149	123	236	128	101
盲	47	49	48	34	31	40	29	26
弱視	182	226	222	115	92	196	99	75
聴覚・言語障害	1,326	1,284	1,244	475	355	1,179	432	322
聾	341	345	335	130	107	318	125	101
難聴	976	930	900	340	244	856	306	220
言語障害のみ	9	9	9	5	4	5	1	1
肢体不自由	742	772	749	316	267	669	244	195
上肢機能障害	56	56	49	27	22	37	16	11
下肢機能障害	313	322	313	124	108	282	96	81
上下肢機能障害	282	275	271	102	91	247	81	69
他の機能障害	91	119	116	63	46	103	51	34
病弱・虚弱	558	568	546	226	176	453	141	97
内部障害等	428	441	428	174	134	354	106	72
他の慢性疾患	130	127	118	52	42	99	35	25
重複	115	110	103	46	44	93	35	33
発達障害	633	593	559	230	153	466	157	86
SLD	49	43	43	17	9	35	11	5
ADHD	144	153	146	54	31	127	36	16
ASD	255	239	226	104	75	186	68	40
発達障害の重複	185	158	144	55	38	118	42	25
精神障害	616	642	608	202	148	526	131	83
統合失調症等	42	41	39	24	20	19	5	3
気分障害	30	40	34	24	20	14	4	2
神経症性障害等	353	352	339	99	65	313	79	47
摂食障害・睡眠障害等	12	11	10	8	7	5	3	2
他の精神障害	179	198	186	47	36	175	40	29
その他の障害	704	683	622	196	105	598	175	90

※ 相談者と志願者は学校が記入した数そのまま集計しているため、志願者≧受験者となっていない。

表60 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数 [障害種別・学校種別] (短期大学)

(人)	相談者	志願者	受験者※	合格者※	入学者※	※の内で受験上の配慮を実施した数		
						受験者	合格者	入学者
計	88	127	126	105	100	68	51	47
視覚障害	6	6	6	4	3	5	3	2
盲	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	6	6	6	4	3	5	3	2
聴覚・言語障害	14	15	15	12	9	9	6	4
聾	3	3	3	3	2	2	2	1
難聴	11	12	12	9	7	7	4	3
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	22	25	25	19	19	16	11	11
上肢機能障害	1	2	2	2	2	1	1	1
下肢機能障害	13	14	14	11	11	9	6	6
上下肢機能障害	6	6	6	5	5	5	4	4
他の機能障害	2	3	3	1	1	1	0	0
病弱・虚弱	11	28	28	28	28	14	14	14
内部障害等	9	18	18	18	18	8	8	8
他の慢性疾患	2	10	10	10	10	6	6	6
重複	4	4	4	4	4	4	4	4
発達障害	12	20	20	16	16	7	6	6
SLD	1	2	2	2	2	1	1	1
ADHD	3	4	4	3	3	3	2	2
ASD	6	11	11	8	8	2	2	2
発達障害の重複	2	3	3	3	3	1	1	1
精神障害	9	19	18	16	16	4	2	2
統合失調症等	1	3	3	3	3	0	0	0
気分障害	0	4	4	4	4	0	0	0
神経症性障害等	4	7	6	4	4	3	1	1
摂食障害・睡眠障害等	1	1	1	1	1	0	0	0
他の精神障害	3	4	4	4	4	1	1	1
その他の障害	10	10	10	6	5	9	5	4

表61 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数 [障害種別・学校種別] (高等専門学校)

(人)	相談者	志願者	受験者※	合格者※	入学者※	※の内で受験上の配慮を実施した数		
						受験者	合格者	入学者
計	27	56	56	45	45	20	11	11
視覚障害	3	3	3	1	1	3	1	1
盲	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	3	3	3	1	1	3	1	1
聴覚・言語障害	6	7	7	5	5	4	3	3
聾	1	1	1	1	1	1	1	1
難聴	5	6	6	4	4	3	2	2
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	3	3	3	2	2	3	2	2
上肢機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	2	2	2	2	2	2	2	2
上下肢機能障害	1	1	1	0	0	1	0	0
他の機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	5	6	6	3	3	5	2	2
内部障害等	3	4	4	2	2	4	2	2
他の慢性疾患	2	2	2	1	1	1	0	0
重複	0	0	0	0	0	0	0	0
発達障害	8	31	31	29	29	3	2	2
SLD	2	2	2	1	1	2	1	1
ADHD	0	3	3	3	3	0	0	0
ASD	4	18	18	18	18	0	0	0
発達障害の重複	2	8	8	7	7	1	1	1
精神障害	2	5	5	4	4	2	1	1
統合失調症等	0	0	0	0	0	0	0	0
気分障害	0	2	2	2	2	0	0	0
神経症性障害等	0	0	0	0	0	0	0	0
摂食障害・睡眠障害等	0	1	1	1	1	0	0	0
他の精神障害	2	2	2	1	1	2	1	1
その他の障害	0	1	1	1	1	0	0	0

※ 相談者と志願者は学校が記入した数そのまま集計しているため、志願者≧受験者となっていない。

(4)受験上の配慮を行なった受験者数(障害種別・学校種別)

<概要>

○平成30年度入学者選抜において受験上の配慮を行なった受験者数について見ると、大学においては「聴覚・言語障害」が、短期大学では「肢体不自由」が、高等専門学校では「病弱・虚弱」が最も多い。

表62 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別](総表)

	学部・学科(通学)						特別入試 以外	学部・ 学科 (通信)	大学院 (通学)	大学院 (通信)	専攻科
	(人)	計	特別入試	AO入試	推薦入試	障害者 特別入試					
計	4,308	4,169	797	273	505	19	3,372	23	96	7	13
視覚障害	244	215	85	36	48	1	130	1	27	1	0
盲	40	29	17	11	6	0	12	0	11	0	0
弱視	204	186	68	25	42	1	118	1	16	1	0
聴覚・言語障害	1,192	1,152	281	92	185	4	871	1	29	2	8
聾	321	312	119	38	79	2	193	0	8	1	0
難聴	866	835	161	54	105	2	674	1	21	1	8
言語障害のみ	5	5	1	0	1	0	4	0	0	0	0
肢体不自由	688	653	164	57	101	6	489	6	23	3	3
上肢機能障害	38	35	10	2	8	0	25	1	2	0	0
下肢機能障害	293	282	64	18	45	1	218	2	6	2	1
上下肢機能障害	253	239	73	30	39	4	166	1	10	1	2
他の機能障害	104	97	17	7	9	1	80	2	5	0	0
病弱・虚弱	472	471	77	30	47	0	394	0	0	0	1
内部障害等	366	366	63	18	45	0	303	0	0	0	0
他の慢性疾患	106	105	14	12	2	0	91	0	0	0	1
重複	97	96	37	12	20	5	59	0	1	0	0
発達障害	476	468	66	22	41	3	402	2	6	0	0
SLD	38	37	8	4	4	0	29	0	1	0	0
ADHD	130	128	11	4	7	0	117	0	2	0	0
ASD	188	186	34	12	22	0	152	0	2	0	0
発達障害の重複	120	117	13	2	8	3	104	2	1	0	0
精神障害	532	521	45	17	28	0	476	4	6	1	0
統合失調症等	19	18	3	1	2	0	15	0	1	0	0
気分障害	14	13	1	0	1	0	12	0	1	0	0
神経症性障害等	316	309	16	4	12	0	293	4	2	1	0
摂食障害・睡眠障害等	5	5	2	1	1	0	3	0	0	0	0
他の精神障害	178	176	23	11	12	0	153	0	2	0	0
その他の障害	607	593	42	7	35	0	551	9	4	0	1

表63 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別] (大学)

	学部・学科(通学)						特別入試 以外	学部・ 学科 (通信)	大学院 (通学)	大学院 (通信)	専攻科
	(人)	計	特別入試	AO入試	推薦入試	障害者 特別入試					
計	4,220	4,085	742	250	475	17	3,343	23	96	7	9
視覚障害	236	207	82	35	46	1	125	1	27	1	0
盲	40	29	17	11	6	0	12	0	11	0	0
弱視	196	178	65	24	40	1	113	1	16	1	0
聴覚・言語障害	1,179	1,139	275	91	181	3	864	1	29	2	8
聾	318	309	118	37	79	2	191	0	8	1	0
難聴	856	825	156	54	101	1	669	1	21	1	8
言語障害のみ	5	5	1	0	1	0	4	0	0	0	0
肢体不自由	669	636	150	50	95	5	486	6	23	3	1
上肢機能障害	37	34	9	1	8	0	25	1	2	0	0
下肢機能障害	282	272	57	15	42	0	215	2	6	2	0
上下肢機能障害	247	234	68	28	36	4	166	1	10	1	1
他の機能障害	103	96	16	6	9	1	80	2	5	0	0
病弱・虚弱	453	453	63	23	40	0	390	0	0	0	0
内部障害等	354	354	54	16	38	0	300	0	0	0	0
他の慢性疾患	99	99	9	7	2	0	90	0	0	0	0
重複	93	92	35	12	18	5	57	0	1	0	0
発達障害	466	458	58	18	37	3	400	2	6	0	0
SLD	35	34	6	4	2	0	28	0	1	0	0
ADHD	127	125	8	2	6	0	117	0	2	0	0
ASD	186	184	33	11	22	0	151	0	2	0	0
発達障害の重複	118	115	11	1	7	3	104	2	1	0	0
精神障害	526	515	41	17	24	0	474	4	6	1	0
統合失調症等	19	18	3	1	2	0	15	0	1	0	0
気分障害	14	13	1	0	1	0	12	0	1	0	0
神経症性障害等	313	306	14	4	10	0	292	4	2	1	0
摂食障害・睡眠障害等	5	5	2	1	1	0	3	0	0	0	0
他の精神障害	175	173	21	11	10	0	152	0	2	0	0
その他の障害	598	585	38	4	34	0	547	9	4	0	0

表64 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別](短期大学)

	学部・学科(通学)						特別入試		学部・学科(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
	(人)	計	AO入試	推薦入試	障害者特別入試	特別入試以外						
計	68	65	49	23	24	2	16	0	—	—	3	
視覚障害	5	5	2	1	1	0	3	0	—	—	0	
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
弱視	5	5	2	1	1	0	3	0	0	0	0	
聴覚・言語障害	9	9	5	1	3	1	4	0	—	—	0	
聾	2	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	
難聴	7	7	4	0	3	1	3	0	0	0	0	
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
肢体不自由	16	15	14	7	6	1	1	0	—	—	1	
上肢機能障害	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
下肢機能障害	9	8	7	3	3	1	1	0	0	0	1	
上下肢機能障害	5	5	5	2	3	0	0	0	0	0	0	
他の機能障害	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
病弱・虚弱	14	13	13	7	6	0	0	0	—	—	1	
内部障害等	8	8	8	2	6	0	0	0	0	0	0	
他の慢性疾患	6	5	5	5	0	0	0	0	0	0	1	
重複	4	4	2	0	2	0	2	0	0	0	0	
発達障害	7	7	6	4	2	0	1	0	—	—	0	
SLD	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	
ADHD	3	3	3	2	1	0	0	0	0	0	0	
ASD	2	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	
発達障害の重複	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
精神障害	4	4	3	0	3	0	1	0	—	—	0	
統合失調症等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
気分障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
神経症性障害等	3	3	2	0	2	0	1	0	0	0	0	
摂食障害・睡眠障害等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
他の精神障害	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	
その他の障害	9	8	4	3	1	0	4	0	0	0	1	

表65 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別] (高等専門学校)

	学部・学科(通学)						特別入試		学部・学科(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
	(人)	計	AO入試	推薦入試	障害者特別入試	特別入試以外						
計	20	19	6	0	6	0	13	—	—	—	1	
視覚障害	3	3	1	0	1	0	2	—	—	—	0	
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
弱視	3	3	1	0	1	0	2	0	0	0	0	
聴覚・言語障害	4	4	1	0	1	0	3	—	—	—	0	
聾	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
難聴	3	3	1	0	1	0	2	0	0	0	0	
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
肢体不自由	3	2	0	0	0	0	2	—	—	—	1	
上肢機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
下肢機能障害	2	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
上下肢機能障害	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
他の機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
病弱・虚弱	5	5	1	0	1	0	4	—	—	—	0	
内部障害等	4	4	1	0	1	0	3	0	0	0	0	
他の慢性疾患	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
重複	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
発達障害	3	3	2	0	2	0	1	—	—	—	0	
SLD	2	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	
ADHD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ASD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
発達障害の重複	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	
精神障害	2	2	1	0	1	0	1	—	—	—	0	
統合失調症等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
気分障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
神経症性障害等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摂食障害・睡眠障害等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
他の精神障害	2	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	
その他の障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(5)入学者選抜において実施した配慮の内容(障害種別)

<概要>

○平成30年度入学者選抜において実施した配慮の内容について見ると、多い順に「別室を設定」246校、「補聴器の持参使用」198校、「文書による伝達」180校。

表66 入学者選抜において実施した配慮の内容 [障害種別]

	実施校数 (校)	点字問題を点字で解答	拡大文字問題の準備	拡大解答用紙の準備	音声で出題し音声で解答	マークシートに替えて文字で解答	チェック解答	試験時間の延長	照明器具の準備	特製機の使用	拡大鏡等の持参使用	補聴器の持参使用	車椅子等の持参使用	松葉杖の持参使用	パソコン等の持参使用	手話通訳者の付与	文書による伝達	窓側の明るい席の指定	トイレに近接する試験室に指定	別室を設定	試験室を一階に設定	介助者の付与	試験場への車での入構許可	その他
実施校数	459	17	88	74	0	12	44	172	14	74	68	198	167	66	24	32	180	18	172	246	80	84	166	317
視覚障害	108	17	69	44	0	9	17	67	10	13	56	0	1	1	7	0	4	8	3	59	2	10	8	47
盲	24	16	0	0	0	0	1	15	0	3	1	0	0	1	6	0	2	0	1	16	1	7	2	12
弱視	98	1	69	44	0	9	16	59	10	10	56	0	1	0	2	0	3	8	2	52	1	5	6	43
聴覚・言語障害	265	0	0	0	0	0	0	14	0	0	1	198	3	0	3	32	157	2	5	41	4	6	14	179
聾	67	0	0	0	0	0	0	11	0	0	1	48	1	0	2	21	51	1	0	10	2	3	4	39
難聴	228	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	173	2	0	1	12	121	2	5	33	2	3	12	154
言語障害のみ	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
肢体不自由	217	0	14	21	0	1	23	67	5	59	1	1	144	60	11	0	1	1	90	91	62	58	110	114
上肢機能障害	30	0	1	9	0	1	7	14	1	5	0	0	4	2	1	0	0	1	5	13	4	1	5	18
下肢機能障害	131	0	0	0	0	0	3	4	3	20	0	0	80	42	4	0	1	0	52	32	35	25	61	65
上下肢機能障害	100	0	10	12	0	0	13	45	2	31	0	1	72	14	5	0	0	0	38	49	29	31	52	49
他の機能障害	38	0	3	2	0	0	5	12	1	14	1	1	20	8	1	0	0	0	17	21	13	8	24	19
病弱・虚弱	160	0	3	4	0	0	5	22	0	9	3	2	20	6	2	0	1	2	61	88	20	8	43	114
内部障害等	141	0	3	4	0	0	5	16	0	7	3	1	19	6	1	0	1	2	57	69	20	6	42	98
他の慢性疾患	52	0	0	0	0	0	0	6	0	2	0	1	1	0	1	0	0	0	8	33	2	3	3	33
重複	35	1	4	4	0	1	4	14	0	9	5	2	17	3	5	2	4	1	12	17	7	13	21	25
発達障害	149	0	13	12	0	2	14	65	0	0	4	0	1	1	0	0	54	4	15	111	3	5	11	70
SLD	20	0	0	0	0	0	1	8	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	8	0	0	2	12
ADHD	46	0	4	4	0	0	12	24	0	0	0	0	1	0	0	0	12	0	4	36	0	0	1	14
ASD	93	0	2	2	0	2	1	27	0	0	1	0	1	0	0	0	31	2	12	64	3	4	9	39
発達障害の重複	48	0	8	6	0	1	0	25	0	0	2	0	0	1	0	0	16	3	3	39	0	1	0	19
精神障害	146	0	0	2	0	0	2	10	0	1	1	1	2	0	2	0	8	1	52	87	7	3	12	94
統合失調症等	13	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	2	12	1	0	0	8
気分障害	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	4	1	0	1	6
神経症性障害等	101	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	1	0	3	0	37	61	4	1	7	64
摂食障害・睡眠障害等	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	1	0	5
他の精神障害	70	0	0	1	0	0	1	8	0	1	1	1	1	0	1	0	5	1	19	38	2	1	4	39
その他の障害	143	0	2	3	0	0	2	6	1	3	2	0	5	1	2	0	1	0	69	55	5	3	22	110

※ 複数回答あり

10. 障害学生の卒業後の進路

進路状況(学校種別・障害種別)

<概要>

- 通学の最高年次(※)に在籍していた障害学生は(平成29年5月1日現在)6,165人で、平成29年度の卒業生は4,609人。
- 卒業生の進路状況は、「進学者」が521人で「就職者」が2,684人。また、「進学者」のうち就職している者2人を加えた全就職者数は2,686人。

※最高学年とは「大学:4年次及び6年次、短期大学:2年次(3年制の場合は3年次)、高等専門学校:5年次」をいう。

表67 進路状況 [学校種別・障害種別] (総表)

	2 9 年 5 月 1 日 現 在 数 (平 成 2 9 年 5 月 1 日 現 在 数)	日 生 平 成 3 0 年 度 卒 業 の 障 害 学 生 数 (平 成 3 0 年 5 月 1 日 現 在 数)	平成30年度に卒業した障害学生の進路状況(平成30年5月1日まで)													
			進 学 者	大 学 院 研 究 科	大 学 学 部	短 期 大 学 本 科	専 攻 科	別 科	う ち 就 職 し て い る 者	就 職 者 (左 記 を 除 く)	臨 床 研 修 医 (予 定 者 を 含 む)	専 修 学 校 ・ 外 国 の 学 校 ・ 教 育 訓 練 機 関 等	入 所 者	一 時 的 な 職 に 就 いた 者	左 記 以 外 の 者	死 亡 ・ 不 詳 の 者
計	6,165	4,609	521	335	106	21	50	9	2	2,684	32	91	66	187	699	329
視覚障害	138	118	15	11	2	0	1	1	0	64	0	7	2	3	21	6
盲	18	16	3	2	0	0	1	0	0	4	0	3	0	2	4	0
弱視	120	102	12	9	2	0	0	1	0	60	0	4	2	1	17	6
聴覚・言語障害	410	360	45	27	9	2	6	1	1	256	1	2	0	15	28	13
聾	150	125	13	9	1	0	2	1	0	101	1	1	0	3	4	2
難聴	247	222	30	17	8	2	3	0	1	146	0	1	0	12	22	11
言語障害のみ	13	13	2	1	0	0	1	0	0	9	0	0	0	0	2	0
肢体不自由	520	455	49	35	10	1	3	0	1	279	2	9	2	25	59	30
上肢機能障害	83	74	6	5	1	0	0	0	1	52	0	5	1	3	4	3
下肢機能障害	188	169	21	13	5	1	2	0	0	101	2	2	1	8	20	14
上下肢機能障害	153	129	15	11	3	0	1	0	0	76	0	2	0	4	23	9
他の機能障害	96	83	7	6	1	0	0	0	0	50	0	0	0	10	12	4
病弱・虚弱	1,582	1,389	168	90	34	17	25	2	0	962	6	16	10	29	116	82
内部障害等	755	655	79	57	13	5	4	0	0	440	4	9	4	19	56	44
他の慢性疾患	827	734	89	33	21	12	21	2	0	522	2	7	6	10	60	38
重複	68	54	5	3	0	0	2	0	0	25	0	0	2	9	12	1
発達障害	1,206	823	91	55	23	0	10	3	0	398	5	29	36	38	175	51
SLD	32	22	3	2	1	0	0	0	0	12	0	0	0	0	2	5
ADHD	290	184	15	8	7	0	0	0	0	116	3	3	3	7	27	10
ASD	719	521	63	38	14	0	8	3	0	226	0	19	31	25	124	33
発達障害の重複	165	96	10	7	1	0	2	0	0	44	2	7	2	6	22	3
精神障害	1,930	1,148	126	99	21	1	3	2	0	535	17	26	10	58	254	122
統合失調症等	220	118	8	3	4	0	0	1	0	49	0	6	0	6	35	14
気分障害	645	347	36	27	8	0	1	0	0	161	4	8	2	23	77	36
神経症性障害等	627	387	52	44	5	1	2	0	0	175	7	5	3	18	85	42
摂食障害・睡眠障害等	138	97	8	6	2	0	0	0	0	52	4	3	2	1	19	8
他の精神障害	300	199	22	19	2	0	0	1	0	98	2	4	3	10	38	22
その他の障害	311	262	22	15	7	0	0	0	0	165	1	2	4	10	34	24

表68 進路状況 [学校種別・障害種別] (大学)

	2019年5月1日現在 (人)	平成30年度卒業の障害学生 (平成31年3月31日まで)	平成30年度に卒業した障害学生の進路状況(平成30年5月1日まで)													
			進学者	大学院研究科	大学学部	短期大学本科	専攻科	別科	うち就職している者	就職者(左記を除く) (含む)	臨床研修医(予定者を含む)	専修学校・外国の学校・教育訓練機関等	入所者 社会福祉施設・医療機関	一時的な職に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者
計	5,315	3,851	393	330	47	1	9	6	1	2,183	32	79	62	164	625	313
視覚障害	129	110	15	11	2	0	1	1	0	57	0	7	2	3	20	6
盲	18	16	3	2	0	0	1	0	0	4	0	3	0	2	4	0
弱視	111	94	12	9	2	0	0	1	0	53	0	4	2	1	16	6
聴覚・言語障害	379	330	37	27	7	0	2	1	0	241	1	2	0	14	24	11
聾	149	125	13	9	1	0	2	1	0	101	1	1	0	3	4	2
難聴	219	194	23	17	6	0	0	0	0	131	0	1	0	11	19	9
言語障害のみ	11	11	1	1	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	1	0
肢体不自由	476	416	41	35	4	0	2	0	1	254	2	8	2	23	56	30
上肢機能障害	77	69	6	5	1	0	0	0	1	48	0	4	1	3	4	3
下肢機能障害	169	151	17	13	3	0	1	0	0	90	2	2	1	7	18	14
上下肢機能障害	144	121	12	11	0	0	1	0	0	71	0	2	0	4	23	9
他の機能障害	86	75	6	6	0	0	0	0	0	45	0	0	0	9	11	4
病弱・虚弱	1,156	991	95	87	8	0	0	0	0	676	6	13	10	26	90	75
内部障害等	619	529	60	55	5	0	0	0	0	352	4	8	4	17	46	38
他の慢性疾患	537	462	35	32	3	0	0	0	0	324	2	5	6	9	44	37
重複	63	49	5	3	0	0	2	0	0	22	0	0	2	8	11	1
発達障害	1,056	693	65	53	10	0	0	2	0	325	5	26	32	32	162	46
SLD	23	15	2	2	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	2	3
ADHD	253	152	13	8	5	0	0	0	0	92	3	2	2	6	24	10
ASD	633	444	44	37	5	0	0	2	0	188	0	19	29	20	114	30
発達障害の重複	147	82	6	6	0	0	0	0	0	37	2	5	1	6	22	3
精神障害	1,802	1,055	118	99	14	1	2	2	0	478	17	22	10	52	238	120
統合失調症等	202	107	7	3	3	0	0	1	0	42	0	6	0	5	33	14
気分障害	603	320	33	27	5	0	1	0	0	143	4	8	2	21	73	36
神経症性障害等	608	374	50	44	4	1	1	0	0	165	7	5	3	18	85	41
摂食障害・睡眠障害等	121	82	7	6	1	0	0	0	0	45	4	2	2	0	15	7
他の精神障害	268	172	21	19	1	0	0	1	0	83	2	1	3	8	32	22
その他の障害	254	207	17	15	2	0	0	0	0	130	1	1	4	6	24	24

表69 進路状況 [学校種別・障害種別] (短期大学)

	2020年度 5月1日現在 (人)	平成29年度 卒業の障害学 生数(平成30 年3月31 日まで)	平成30年度に卒業した障害学生の進路状況(平成30年5月1日まで)													
			進学者	大学院研究科	大学学部	短期大学本科	専攻科	別科	うち就職している者	就職者(左記を除く) (む)	臨床研修医(予定者を含む)	専修学校・外国の学校・ 教育訓練機関等	入所者 社会福祉施設・医療機関	一時的な職に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者
計	651	573	70	1	37	20	9	3	1	387	0	10	3	19	68	16
視覚障害	3	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	3	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0
聴覚・言語障害	21	20	3	0	1	2	0	0	1	12	0	0	0	0	3	2
聾	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	19	19	3	0	1	2	0	0	1	12	0	0	0	0	2	2
言語障害のみ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
肢体不自由	41	36	6	0	5	1	0	0	0	24	0	1	0	2	3	0
上肢機能障害	6	5	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	0	0
下肢機能障害	18	17	3	0	2	1	0	0	0	11	0	0	0	1	2	0
上下肢機能障害	8	7	2	0	2	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	9	7	1	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	1	1	0
病弱・虚弱	336	311	43	0	16	17	8	2	0	232	0	2	0	3	24	7
内部障害等	112	103	9	0	4	5	0	0	0	77	0	1	0	2	8	6
他の慢性疾患	224	208	34	0	12	12	8	2	0	155	0	1	0	1	16	1
重複	5	5	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	1	0
発達障害	78	65	7	1	4	0	1	1	0	34	0	2	3	4	10	5
SLD	8	6	1	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2
ADHD	17	15	1	0	1	0	0	0	0	11	0	1	0	0	2	0
ASD	46	41	5	1	2	0	1	1	0	19	0	0	2	4	8	3
発達障害の重複	7	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0
精神障害	115	82	6	0	6	0	0	0	0	49	0	4	0	5	16	2
統合失調症等	16	9	1	0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	1	2	0
気分障害	41	26	3	0	3	0	0	0	0	17	0	0	0	2	4	0
神経症性障害等	18	12	1	0	1	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	1
摂食障害・睡眠障害等	13	12	1	0	1	0	0	0	0	5	0	1	0	0	4	1
他の精神障害	27	23	0	0	0	0	0	0	0	12	0	3	0	2	6	0
その他の障害	52	51	5	0	5	0	0	0	0	31	0	1	0	4	10	0

表70 進路状況 [学校種別・障害種別] (高等専門学校)

	2019年5月1日現在 (人)	平成30年度に卒業した障害学生の進路状況(平成30年5月1日まで)														
		平成29年度卒業の障害学生数(平成30年3月31日まで)	進学者	大学院研究科	大学学部	短期大学本科	専攻科	別科	うち就職している者	就職者(左記を除く)	臨床研修医(予定者を含む)	専修学校・外国の学校・教育訓練機関等	入所者 社会福祉施設・医療機関	一時的な職に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者
計	199	185	58	4	22	0	32	0	0	114	0	2	1	4	6	0
視覚障害	6	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	6	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0
聴覚・言語障害	10	10	5	0	1	0	4	0	0	3	0	0	0	1	1	0
聾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	9	9	4	0	1	0	3	0	0	3	0	0	0	1	1	0
言語障害のみ	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	3	3	2	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
上肢機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上下肢機能障害	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	90	87	30	3	10	0	17	0	0	54	0	1	0	0	2	0
内部障害等	24	23	10	2	4	0	4	0	0	11	0	0	0	0	2	0
他の慢性疾患	66	64	20	1	6	0	13	0	0	43	0	1	0	0	0	0
重複	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発達障害	72	65	19	1	9	0	9	0	0	39	0	1	1	2	3	0
SLD	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ADHD	20	17	1	0	1	0	0	0	0	13	0	0	1	1	1	0
ASD	40	36	14	0	7	0	7	0	0	19	0	0	0	1	2	0
発達障害の重複	11	11	4	1	1	0	2	0	0	6	0	1	0	0	0	0
精神障害	13	11	2	0	1	0	1	0	0	8	0	0	0	1	0	0
統合失調症等	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
気分障害	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
神経症性障害等	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摂食障害・睡眠障害等	4	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0
他の精神障害	5	4	1	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
その他の障害	5	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0

表71 障害学生の卒業率と就職率 [障害種別]

	最高年次 学生数 (人)	卒業 学生数	就職 希望者数	就職者数	卒業率 (%)	就職希望 率(%)	就職率 (%)
計	6,165	4,609	3,377	2,684	74.8	73.3	79.5
視覚障害	138	118	81	64	85.5	68.6	79.0
盲	18	16	8	4	88.9	50.0	50.0
弱視	120	102	73	60	85.0	71.6	82.2
聴覚・言語障害	410	360	290	256	87.8	80.6	88.3
聾	150	125	106	101	83.3	84.8	95.3
難聴	247	222	174	146	89.9	78.4	83.9
言語障害のみ	13	13	10	9	100.0	76.9	90.0
肢体不自由	520	455	341	279	87.5	74.9	81.8
上肢機能障害	83	74	61	52	89.2	82.4	85.2
下肢機能障害	188	169	122	101	89.9	72.2	82.8
上下肢機能障害	153	129	94	76	84.3	72.9	80.9
他の機能障害	96	83	64	50	86.5	77.1	78.1
病弱・虚弱	1,582	1,389	1,089	962	87.8	78.4	88.3
内部障害等	755	655	496	440	86.8	75.7	88.7
他の慢性疾患	827	734	593	522	88.8	80.8	88.0
重複	68	54	42	25	79.4	77.8	59.5
発達障害	1,206	823	583	398	68.2	70.8	68.3
SLD	32	22	14	12	68.8	63.6	85.7
ADHD	290	184	148	116	63.4	80.4	78.4
ASD	719	521	352	226	72.5	67.6	64.2
発達障害の重複	165	96	69	44	58.2	71.9	63.8
精神障害	1,930	1,148	760	535	59.5	66.2	70.4
統合失調症等	220	118	80	49	53.6	67.8	61.3
気分障害	645	347	225	161	53.8	64.8	71.6
神経症性障害等	627	387	242	175	61.7	62.5	72.3
摂食障害・睡眠障害等	138	97	71	52	70.3	73.2	73.2
他の精神障害	300	199	142	98	66.3	71.4	69.0
その他の障害	311	262	191	165	84.2	72.9	86.4

※ 卒業率:卒業学生数÷最高年次学生数×100(%)

※ 就職希望率:就職希望者数÷卒業学生数×100(%)

※ 就職率:就職者数÷就職希望者数×100(%)

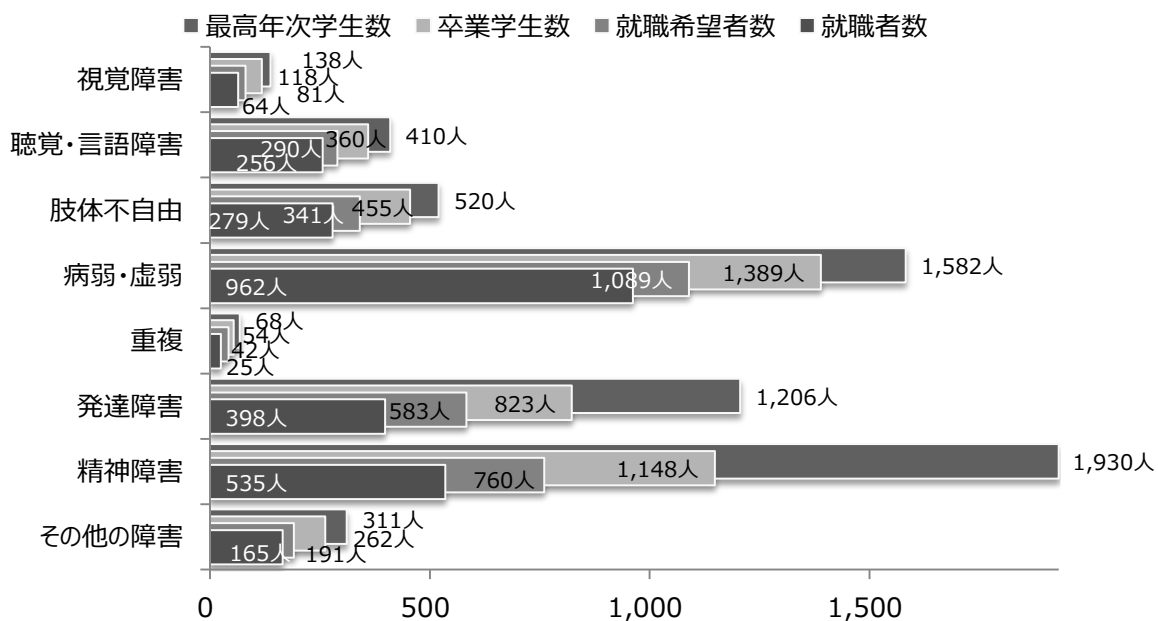


図26 障害学生の卒業及び就職の状況

11. 発達障害学生支援状況（一部再掲）

発達障害学生の支援状況に関しては、診断書のある発達障害学生に加え、診断書はないものの発達障害があることが推察され教育上の配慮を行なっている者（特別な支援を行なっていない者は除く）についても調査した。

(1) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数(学校種別)

<概要>

○発達障害(診断書有)学生は6,047人で、このうち支援障害学生は4,325人。

○発達障害(診断書無・配慮有)の支援障害学生は3,105人。発達障害(診断書有)の支援障害学生と合わせると7,430人。

表72 発達障害学生数及び支援発達障害学生数 [学校種別]

	障害学生数				支援障害学生数			
	(人)	大学	短期大学	高等 専門学校	大学	短期大学	高等 専門学校	
計	6,047	5,063	228	756	7,430	6,540	299	591
診断書有(再掲)	6,047	5,063	228	756	4,325	3,763	160	402
SLD	213	178	16	19	134	111	13	10
ADHD	1,522	1,267	74	181	1,066	918	50	98
ASD	3,426	2,879	115	432	2,436	2,138	79	219
重複	886	739	23	124	689	596	18	75
診断書無・配慮有	—	—	—	—	3,105	2,777	139	189
SLD	—	—	—	—	110	78	19	13
ADHD	—	—	—	—	594	532	31	31
ASD	—	—	—	—	1,621	1,496	29	96
区分不明	—	—	—	—	780	671	60	49

(2) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数(学科(専攻)別)

<概要>

○支援発達障害学生数(診断書有+診断書無・配慮有)を学科(専攻)別に見ると、大学では多い順に、「人文科学」1,498人、「社会科学」1,497人、「工学」1,372人。短期大学では多い順に、「教育」55人、「人文」52人、「家政」51人。高等専門学校では多い順に、「工業」552人、「芸術」34人。

表73 発達障害学生数及び支援発達障害学生数 [学科(専攻)別]

	障害学生数			支援発達障害学生数			支援発達障害学生数			支援発達障害学生数			区分不明			
	(人)	診断書有(再掲)	診断書有(再掲)	①+②	①診断書有(再掲)	②診断書無・配慮有	①+②	①診断書有(再掲)	②診断書無・配慮有	①+②	①診断書有(再掲)	②診断書無・配慮有				
		S L D	A D H D	A S D	発達障害の重複		S L D	A D H D	A S D	発達障害の重複		S L D	A D H D	A S D		
計	6,047	213	1,522	3,426	886	7,430	4,325	134	1,066	2,436	689	3,105	110	594	1,621	780
大学	5,063	178	1,267	2,879	739	6,540	3,763	111	918	2,138	596	2,777	78	532	1,496	671
人文科学	1,101	34	289	619	159	1,498	871	26	232	483	130	627	18	137	306	166
社会科学	1,124	56	273	638	157	1,497	831	35	196	472	128	666	20	129	348	169
理学	349	4	79	210	56	401	264	1	55	164	44	137	2	27	87	21
工学	1,077	18	213	671	175	1,372	778	8	144	489	137	594	20	100	379	95
農学	213	8	55	116	34	300	173	7	37	98	31	127	2	18	78	29
保健(医・歯学)	65	0	23	30	12	95	52	0	20	22	10	43	0	11	19	13
保健(医・歯学を除く)	195	13	64	96	22	249	124	10	44	53	17	125	4	23	73	25
商船	3	0	1	2	0	3	3	0	1	2	0	0	0	0	0	0
家政	57	1	20	31	5	85	43	0	16	24	3	42	5	8	22	7
教育	197	5	64	104	24	268	149	1	48	79	21	119	6	30	62	21
芸術	363	23	108	182	50	338	221	14	64	109	34	117	1	19	38	59
その他	319	16	78	180	45	434	254	9	61	143	41	180	0	30	84	66
短期大学	228	16	74	115	23	299	160	13	50	79	18	139	19	31	29	60
人文	41	2	8	25	6	52	32	2	7	18	5	20	0	6	4	10
社会	22	1	4	13	4	27	13	0	2	9	2	14	5	4	2	3
教養	9	0	6	3	0	14	7	0	6	1	0	7	0	4	3	0
工業	21	0	4	14	3	21	15	0	4	10	1	6	0	1	5	0
農業	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
保健	4	0	1	3	0	12	3	0	1	2	0	9	2	2	2	3
家政	43	4	14	22	3	51	28	4	6	15	3	23	2	4	3	14
教育	44	9	21	11	3	55	25	7	12	3	3	30	6	4	7	13
芸術	27	0	9	16	2	34	24	0	8	14	2	10	0	2	1	7
その他	16	0	6	8	2	32	12	0	3	7	2	20	4	4	2	10
高等専門学校	756	19	181	432	124	591	402	10	98	219	75	189	13	31	96	49
社会	1	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
工業	749	19	178	430	122	552	398	10	96	218	74	154	12	19	76	47
商船	6	0	3	1	2	4	3	0	2	0	1	1	0	0	1	0
芸術	0	0	0	0	0	34	0	0	0	0	0	34	1	12	19	2

(3)発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数(学校種別)

<概要>

- 「発達障害(診断書有)学生又は発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校」は730校で、全学校(1,169校)に占めるその在籍校の割合は62.4%。
- 「支援発達障害(診断書有)学生又は発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校」は670校で、全学校(1,169校)に占めるその在籍校の割合は57.3%。

表74 発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数 [学校種別]

(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
発達障害(診断書有)学生又は発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校数	730	552	124	54
発達障害(診断書有)学生が1人以上在籍する学校数	673	522	99	52
SLD	151	127	13	11
ADHD	463	376	43	44
ASD	555	446	60	49
発達障害の重複	316	263	19	34
支援発達障害(診断書有)学生又は発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校数	670	518	100	52
支援発達障害(診断書有)学生が1人以上在籍する学校数	592	471	72	49
SLD	110	92	11	7
ADHD	368	300	30	38
ASD	482	395	45	42
発達障害の重複	272	232	15	25
発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校数	421	336	58	27
SLD	66	54	9	3
ADHD	193	163	20	10
ASD	282	246	22	14
区分不明	216	170	30	16
全体の学校数	1,169	785	327	57

(4)発達障害のある学生への支援(支援内容別)

<概要>

○「支援発達障害(診断書有)学生又は発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校」670校で行なわれている支援内容は次のとおり。

- ・授業支援では、多い順に「配慮依頼文書の配付」388校、「学習指導」251校、「履修支援」227校。
- ・授業以外の支援では、多い順に「専門家によるカウンセリング」432校、「対人関係配慮」287校、「自己管理指導」280校。

表75 支援発達障害学生への主な支援内容 [授業支援及び授業以外の支援]

	(校)	計	大学	短期大学	高等 専門学校
授業支援		575	451	78	46
配慮依頼文書の配付		388	329	36	23
学習指導		251	189	34	28
履修支援		227	200	24	3
講義に関する配慮		221	198	14	9
出席に関する配慮		195	172	12	11
授業内容の代替、提出期限延長等		185	160	11	14
注意事項等文書伝達		180	152	15	13
教室内座席配慮		172	140	16	16
実技・実習配慮		136	112	14	10
試験時間延長・別室受験		119	102	9	8
授業以外の支援		564	437	82	45
専門家によるカウンセリング		432	346	47	39
対人関係配慮		287	229	31	27
自己管理指導		280	232	24	24
就職支援情報の提供、支援機関の紹介		212	181	23	8
居場所の確保		209	164	25	20
医療機関との連携		197	164	12	21
キャリア教育		193	167	19	7
就職先の開拓、就職活動支援		167	137	22	8
障害学生向け求人情報の提供		155	134	17	4
休憩室・治療室の確保等		138	107	21	10

(5)発達障害を理由とする受験上の配慮(学校種別)

<概要>

○平成30年度入学者選抜において、発達障害を理由とする受験上の配慮について次のとおり。

- ・「診断書有」の受験者は476人で、多い順に「特別入試以外」受験者402人、「特別入試」の受験者66人、「特別入試」の中では、多い順に「推薦入試」の受験者41人、「AO入試」の受験者22人。
- ・「診断書無・配慮有」の受験者は19人で、多い順に「特別入試以外」の受験者12人、「特別入試」の受験者7人、「特別入試」のほとんどは「AO入試」の受験者で6人、「推薦入試」の受験者が1人。

表76 発達障害を理由とする受験上の配慮を行なった受験者数 [学校種別]

	(人)	学部・学科(通学)					学部・学科(通信)					
		計	特別入試	AO入試	推薦入試	障害者特別入試	特別入試以外	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科		
診断書有(再掲)	476	468	66	22	41	3	402	2	6	0	0	
大学	466	458	58	18	37	3	400	2	6	0	0	
SLD	35	34	6	4	2	0	28	0	1	0	0	
ADHD	127	125	8	2	6	0	117	0	2	0	0	
ASD	186	184	33	11	22	0	151	0	2	0	0	
発達障害の重複	118	115	11	1	7	3	104	2	1	0	0	
短期大学	7	7	6	4	2	0	1	0	—	—	0	
SLD	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	
ADHD	3	3	3	2	1	0	0	0	0	0	0	
ASD	2	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	
発達障害の重複	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
高等専門学校	3	3	2	0	2	0	1	—	—	—	0	
SLD	2	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	
ADHD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ASD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
発達障害の重複	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	
診断書無・配慮有	19	19	7	6	1	0	12	0	0	0	0	
大学	17	17	6	6	0	0	11	0	0	0	0	
SLD	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
ADHD	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
ASD	2	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	
区分不明	13	13	4	4	0	0	9	0	0	0	0	
短期大学	1	1	1	0	1	0	0	0	—	—	0	
SLD	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	
ADHD	1	1	1	0	1	0	0	0	—	—	0	
ASD	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	
区分不明	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	
高等専門学校	1	1	0	0	0	0	1	—	—	—	0	
SLD	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	
ADHD	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	
ASD	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	
区分不明	1	1	0	0	0	0	1	—	—	—	0	

(6)発達障害学生の卒業後の進路状況(学校種別)

<概要>

- 「診断書有」の学生については次のとおり。
 - ・通学制の最高年次(※)に在籍していた「診断書有」の学生は、(平成29年5月1日現在)1,355人。平成29年度卒業生は953人。
 - ・卒業生の進路状況は、進学が117人、就職が471人。
- 「診断書無・配慮有」の学生については次のとおり。
 - ・通学制の最高年次(※)に在籍していた「診断書無・配慮有」の学生は、(平成29年5月1日現在)1,088人。平成29年度卒業生は799人。
 - ・卒業後の進路状況は、進学が61人、就職が406人。進学のうち就職している者1人を加えた全就職者数は407人。

※ 最高年次とは「大学:4年次及び6年次、短期大学:2年次(3年制の場合は3年次)、高等専門学校:5年次」をいう。

表77 発達障害学生の卒業後の進路状況 [学校種別]

	2 9 年 5 月 1 日 現 在 数 (平 成 2 9 年 5 月 1 日 現 在 数)	日 生 平 成 3 0 年 5 月 1 日 ま で (平 成 2 9 年 5 月 1 日 現 在 数)	平成30年度に卒業した障害学生の進路状況(平成30年5月1日まで)													
			進 学 者	大 学 院 研 究 科	大 学 学 部	短 期 大 学 本 科	専 攻 科	別 科	う ち 就 職 し て い る 者	就 職 者 (左 記 を 除 く)	含 む 臨 床 研 修 医 (予 定 者 を 除 く)	専 修 学 校 ・ 教 育 訓 練 機 関 等	関 入 所 者	社 会 福 祉 施 設 ・ 医 療 機	一 時 的 な 職 に 就 いた 者	左 記 以 外 の 者
計	2,443	1,752	178	99	48	0	23	8	1	877	12	44	44	97	360	140
診断書有(再掲)	1,355	953	117	57	36	0	20	4	0	471	5	32	40	44	188	56
大学	1,205	823	91	55	23	0	10	3	0	398	5	29	36	38	175	51
SLD	32	22	3	2	1	0	0	0	0	12	0	0	0	0	2	5
ADHD	290	184	15	8	7	0	0	0	0	116	3	3	3	7	27	10
ASD	719	521	63	38	14	0	8	3	0	226	0	19	31	25	124	33
発達障害の重複	164	96	10	7	1	0	2	0	0	44	2	7	2	6	22	3
短期大学	78	65	7	1	4	0	1	1	0	34	0	2	3	4	10	5
SLD	8	6	1	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2
ADHD	17	15	1	0	1	0	0	0	0	11	0	1	0	0	2	0
ASD	46	41	5	1	2	0	1	1	0	19	0	0	2	4	8	3
発達障害の重複	7	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0
高等専門学校	72	65	19	1	9	0	9	0	0	39	0	1	1	2	3	0
SLD	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ADHD	20	17	1	0	1	0	0	0	0	13	0	0	1	1	1	0
ASD	40	36	14	0	7	0	7	0	0	19	0	0	0	1	2	0
発達障害の重複	11	11	4	1	1	0	2	0	0	6	0	1	0	0	0	0
診断書無・配慮有	1,088	799	61	42	12	0	3	4	1	406	7	12	4	53	172	84
大学	983	702	51	42	7	0	0	2	1	350	7	6	3	40	161	84
SLD	18	15	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	1	1	3
ADHD	198	119	7	4	3	0	0	0	1	65	2	0	0	8	28	9
ASD	558	408	35	30	3	0	0	2	0	194	3	5	1	11	99	60
区分不明	209	160	9	8	1	0	0	0	0	81	2	1	2	20	33	12
短期大学	73	68	4	0	2	0	1	1	0	40	0	4	0	10	10	0
SLD	9	9	1	0	1	0	0	0	0	6	0	0	0	1	1	0
ADHD	23	22	1	0	0	0	0	1	0	15	0	0	0	3	3	0
ASD	20	18	2	0	1	0	1	0	0	8	0	3	0	2	3	0
区分不明	21	19	0	0	0	0	0	0	0	11	0	1	0	4	3	0
高等専門学校	32	29	6	0	3	0	2	1	0	16	0	2	1	3	1	0
SLD	2	2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ADHD	7	6	1	0	1	0	0	0	0	4	0	1	0	0	0	0
ASD	15	14	2	0	1	0	1	0	0	9	0	1	1	0	1	0
区分不明	8	7	2	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	3	0	0

< **IV. 参考資料** >
(調査の手引)

※日本学生支援機構のウェブサイトからダウンロードできます。
https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/chosa_kenkyu/chosa/2018.html

平成 30 年度 (2018 年度)

大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査

調査の手引

I 調査の概要

本調査は、全国すべての大学、短期大学、高等専門学校を対象とし、障害のある学生の状況および修学支援に関する基本的事項を明らかにし、修学支援のより一層の充実を図ることを目的とした実態調査であり、独立行政法人日本学生支援機構 (以下 JASSO) が毎年実施しています。

調査は、統計的に処理を行ない、個々の学校の状況は公表しません。

学校単位の個別情報や個人情報保護・管理については十分な配慮を行いません。収集した情報は、研究及び政策立案のために使用しますが、学校及び個人が特定できる分析は行いません。

〔1〕 調査の期日 平成 30 年 5 月 1 日現在

〔2〕 調査の内容

1. 学校基本情報 (障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)
 - (1) 学校名と主となる所在地
 - (2) 学校全体の学生数
 - (3) 本調査の担当部署 (者)
 - (4) 障害学生支援の主たる担当部署 (者)
2. 支援体制 (障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)
 - (1) 障害者差別解消法に関する対応要領等
 - (2) 障害学生支援に関する委員会等
 - (3) 紛争解決のための第三者組織
 - (4) 障害学生支援担当部署 (者)
 - (5) 障害学生の相談受付窓口
 - (6) 支援の申し出等に関する対応手順
 - (7) 障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況
 - (8) 支援学生 (ノートテイカー等)
3. 活動や取組 (障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)
4. 受入に関する配慮 (障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)
 - (1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知
 - (2) 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法
 - (3) 入学者選抜において実施可能な受験上の配慮
5. 入学者数等 (障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)
 - (1) 障害のある入学者数等
 - (2) 受験上の配慮の内容
6. 平成 29 年度卒業生 (平成 29 年度の学部 (通学課程) 最高年次に障害学生が在籍

していた場合にご回答ください)

- (1) 学部 (通学課程) 最高年次及び卒業障害学生数
 - (2) 状況別卒業障害学生数 (平成 30 年 5 月 1 日現在)
7. 障害学生数 (平成 30 年度に障害のある学生が在籍する場合にご回答ください)
学校種別に以下の課程の表があります。障害のある学生が在籍する課程全てに記入してください。

- 大学・大学院 (1) 学部 (通学課程)、(2) 学部 (通信教育課程)、(3) 大学院 (通学課程)、(4) 大学院 (通信教育課程)、(5) 専攻科
- 短期大学 (1) 学部 (通学課程)、(2) 学部 (通信教育課程)、(3) 専攻科
- 高等専門学校 (1) 学部 (通学課程)、(2) 専攻科

8. 病弱・虚弱 (他の慢性疾患) の内訳 (「7. 障害学生数」の障害種別「病弱・虚弱」の「他の慢性疾患」に学生数を計上した場合にご回答ください)

9. 精神障害 (他の精神障害) の内訳 (「7. 障害学生数」の障害種別「精神障害」の「他の精神障害」に学生数を計上した場合にご回答ください)

10. その他の障害の内訳 (「7. 障害学生数」の障害種別「その他の障害」に学生数を計上した場合にご回答ください)

11. 授業支援と授業以外の支援 (平成 30 年度に障害のある学生が在籍する場合にご回答ください)

学校種別に全課程の表があります。障害のある学生が在籍する課程全てに記入してください。

12. 発達障害が疑われる学生への支援 (診断書はないが発達障害が疑われ、なんらかの支援を行なっている学生が在籍する場合にご回答ください)

- (1) 発達障害のある学生への支援における課題
- (2) 発達障害が疑われ、なんらかの支援を行なっている学生数
支援している学生の数、実施している支援内容 (授業支援及び授業以外の支援) を記入してください。

13. 意見・要望 (障害学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

〔3〕 提出の期限 平成 30 年 10 月 24 日 (水)

〔4〕 調査結果の公表

報告書：平成 31 年 3 月 (予定)

調査結果は JASSO ウェブサイト障害学生支援

(https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/index.html) で閲覧できます。

〔5〕 調査票の配付

調査票は、「大学・大学院用」「短期大学用」「高等専門学校用」の 3 種類を用意して

います。JASSO ウェブサイトからダウンロードしてご利用ください。
なお、この「調査の手引」(PDF)はウェブサイトに掲載していません。

JASSO ウェブサイト 障害のある学生の修学支援に関する実態調査
https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/chosa_kenkyu/chosa/2018.html

- キャンパスが複数ある場合も 1 校 1 回答にまとめてください。
- 大学内に短期大学部を有している場合は、大学 (大学院を含む) と短期大学部の各 1 回答をお願いします。
- 統合された学校で、旧校名での在籍学生がいる場合は、統合先の学校と合算せず、旧校名での回答をお願いします。

〔6〕 回答の提出

回答を記入した調査票データファイル (Excel) をメールに添付し、JASSO まで送信してください。

【回答のファイル名】

機関コード (6桁の半角数字)_ (アンダーバー) 学校名_ (アンダーバー) 実態調査

(例：100999_JASSO大学_実態調査)

※ 機関コードとは、JASSO 学生生活部障害学生支援課が各学校の識別用に割り当てている番号で、奨学金の「学校番号」とは違います。調査票の「1. 学校基本情報」シートの (1) に学校名を記入すると、上の黒帯の右端に白い文字で 6 桁の数字が表示されますのでご確認ください。

【メールのタイトル】 学校名

【メールの送信先】 kaitou@jasso.go.jp

事情によりメールでデータファイルを送ることができない場合は、JASSO 学生生活部障害学生支援課までご相談ください。

〔7〕 調査に関するお問い合わせ先

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部障害学生支援課障害学生調査・分析係

電話：03-5520-6176 E-Mail：tokubetsushien@jasso.go.jp

Ⅱ 調査票に係る取扱上の注意及び作成上の留意点

〔1〕 調査票（回答）の取扱上の注意

情報保護のため、メールに添付する調査票（回答）ファイルには、読み取りパスワードを設定してください。パスワードは、JASSOよりお送りした調査依頼文書（平成30年9月1日付）に記載してあります。パスワードを設定したファイルは、再度開いて、パスワードでロックを解除できることをご確認の上、メールに添付して送信してください。

読み取りパスワードの設定方法については、12ページをご参照ください。

〔2〕 調査票（回答）の作成上の留意点

①セル、シート、ブックの編集はできません。

本調査票では、記入欄以外のところには記入できないようになっております。また、シートやセル、行、列の移動、削除、挿入等の編集もできません。ただし、自由記述欄の結合してあるセルを分割する等、一部編集できてしまう箇所もありますので、ご記入の際にはご注意ください。

また、セル内容をコピーして他のセルに貼り付ける場合には、必ず貼り付けオプションの「値の貼り付け」を選択してください。セル内容の全てをコピーしてしまうと、エラーメッセージに誤動作が発生することがあります。

記入欄が足りない場合は、回答を添付するメール本文に記載するか、別表を作成して調査票（回答）とともにメールに添付してください。

②赤色や黄色のセル

本調査票には、記入すると赤色や黄色になるセルがあります。

<赤色のセル> 記入した数や内容について、詳細や関連事項を記入する別表があるセルです。詳細や関連事項等の必要箇所を記入すると、白地に戻ります。

<黄色のセル> 同じ表の中で不整合が起きていると、セルが黄色に表示されます。（例：全学生数より入学者数の方が多い）不整合を修正すると、白地に戻ります。回答後のご確認の際に、各設問にある【記入上の注意】を参考に、赤や黄色のセルが残っていないかご確認ください。

③記入内容の反映

各表の計の欄や、赤色、黄色のセル表示が再記入内容をすぐに反映しない場合があります。その場合は、ファイルのオプションにある「計算方法」が「手動」になっているので、「自動」に変更してください。

④学校名の記入

「学校名」には法人名は不要です。法人名を加えて記入（例：国立大学法人〇〇大学）すると「機関コード」にエラー表示が出ます。大学名のみを、略さず「〇〇大学」と記入してください。「学校名」を記入すると、その右上の黒帯の欄に「機関コード」が表示されます。この「機関コード」は回答ファイルのファイル名に

使用します。

⑤「記入上の注意」

調査票各シートの記入欄の右側には、本手引の内容を含む、より具体的な「記入上の注意」を掲載しています。回答を記入する際の参考にしてください。なお、調査票を印刷する際には、この「記入上の注意」は印刷されない設定となっております。

〔3〕 昨年度調査との主な相違点

「3. 活動や取組」の以下の設問を追加修正しました。

<平成29年度調査の項目>

⑨学内イベント（オープンキャンパス・入学式等）での支援についての情報提供

<平成30年度調査の項目> ⑨の修正と⑩の追加

⑩オープンキャンパス等、入学希望者を対象とするイベントでの情報提供

⑪入学後のガイダンス等における、障害学生支援の手続きなどに関する学内規程や支援事例等の周知

1. 学校基本情報
(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 学校名と主となる所在地
学校名の欄に学校の名称を記入してください。法人名は不要です。学校名にアルファベットを含む場合は全角で入力してください。
主となる所在地の欄に都道府県名を記入してください。なお、記入の際は末尾に「都」「道」「府」「県」を付けてください。(例：京都府、青森県)
- (2) 学校全体の学生数
平成30年5月1日現在の在籍学生数、入学者数及び平成29年度卒業生数を回答してください。対象となる学生の定義については、13ページをご参照ください。
・全学生数
・学部……通学課程、通信教育課程 大学院……通学課程、通信教育課程 専攻科
・全入学者数(1年次のみ)
・学部……通学課程、通信教育課程 大学院……通学課程、通信教育課程 専攻科
・平成29年度全卒業生数
・学部……通学課程
- (3) 本調査の担当部署(者)
本調査の担当部署名、担当者(記入者)の役職・氏名(フリガナ)・連絡先(郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、E-Mailアドレス)を記入してください。
※回答内容に関する確認等で、連絡させていただく場合があります。
- (4) 障害学生支援の主たる担当部署(者)
障害学生支援の担当部署と担当者について記入してください。担当部署が複数存在する場合には、いずれか1部署を代表で記入してください。
※本機構の障害学生支援事業に関するご案内等をさせていただいた場合があります。

2. 支援体制
(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 障害者差別解消法に関する対応要領等
障害者差別解消法の施行に伴い、これに適切に対応するための対応要領の策定は大学等においても国公立は義務となり、私立においては文部科学省の定める対応指針に準じた対応を行なうこととされました。対応要領またはこれに準じる規程等があるかどうかについて回答してください。
- (2) 障害学生支援に関する専門委員会等
障害学生支援について協議・検討する委員会等の有無について回答してください。委員会の名称及び代表者の役職等(副学長、学部長等)についても記入してください。

- (3) 紛争解決のための第三者組織
障害を理由とする差別及び合理的配慮の不提供に関する紛争の防止、解決等に関する調整機関の有無について回答してください。
- (4) 障害学生支援担当部署(者)

- 1) 障害学生支援業務を行なう部署、機関の有無、名称について回答してください。
2) 障害学生支援業務を行なう担当者の有無と人数について回答してください。兼任スタッフについては、障害学生支援に関する決まった担当者だけでなく関連部署・機関の全員が対応している場合は、人数は記入不要です。
- (5) 障害学生の相談受付窓口
支援の申し出等、障害のある学生からの相談に対応する窓口の有無及びその周知について回答してください。
- (6) 支援の申し出等に関する対応手順
支援の申し出等に関する対応手順を定めた文書について回答してください。対応手順とは、障害学生から支援の申し出を受けた際に、どのような手順で対応するか業務の流れを指します。
対応手順の例：手順1. 関係部署・機関が対応を協議 手順2. 障害学生との面談実施 手順3. 障害学生とともに使用する施設・設備を視察……等
- (7) 障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況
障害のある学生が学生生活を送る上で必要となる施設・設備(屋外・屋内・支援機器)について、その整備状況を記入してください。キャンパスごとに整備状況が異なる場合も学校全体の状況にまとめて回答してください。
- (8) 支援学生(ノートテイカー等)
障害のある学生を支援する学生(支援学生)について、支援学生組織の有無、支援を実施した場合の待遇(有償、無償等)、組織に所属する学生数等を回答してください。

3. 活動や取組
(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

- 平成30年度に実施する(予定含む)障害学生支援に関する活動や取組について回答してください。各項目の定義については、16ページをご参照ください。
- ① 不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組
② 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組
③ 支援情報の公開(学外者が見られるホームページで公開している)
④ 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援
⑤ 他大学等との連携
⑥ 学外機関との連携
⑦ 相談対応・懇談会等(障害学生・支援スタッフ向け)

入してください。内容が複数ある場合も同じ欄に併記してください。

6. 平成 29 年度卒業生
(平成 29 年度学部(通学課程)最高年次に障害学生が在籍していた場合にご回答ください)

大学は学部(通学課程)、短期大学は学科(通学制)、高等専門学校は本科の平成 29 年度の最高年次に障害学生が在籍していた場合にご回答ください。最高年次及び進路の定義については、16 ページをご参照ください。

(1) 学部(通学課程)最高年次及び卒業障害学生数

①昨年度調査時(平成 29 年 5 月 1 日現在)に最高年次に在籍していた障害学生数を記入してください。

②平成 29 年 5 月 2 日から平成 30 年 3 月 31 日までに卒業した障害学生数を記入してください。

③上記②のうち就職希望者数を記入してください。

(2) 状況別卒業障害学生数(平成 30 年 5 月 1 日現在)

(1)の②で回答した卒業生の、平成 30 年 5 月 1 日現在の状況を記入してください。
※診断書はないが、発達障害が疑われ、学校が支援を行っていた卒業生の連絡についても、別表で回答してください。

7. 障害学生数

(平成 30 年度に障害のある学生が在籍している場合にご回答ください)

学校種別に、それぞれ次のように表が分かれています。障害のある学生が在籍するすべての課程の表に記入してください。

■大学・大学院(1)学部(通学課程)、(2)学部(通信教育課程)、(3)大学院(通学課程)、(4)大学院(通信教育課程)、(5)専攻科

■短期大学(1)学部(通学課程)、(2)学部(通信教育課程)、(3)専攻科

■高等専門学校(1)学部(通学課程)、(2)専攻科

○障害学生数について

A～Lの学科(専攻)別の該当する障害種の欄に、障害学生数と支援障害学生数を記入してください。障害学生、支援障害学生及び各障害種の定義については、13 ページをご確認ください。

※学科(専攻)の分類は学校ごとに違います。詳しくは文部科学省「学校基本調査」付属資料の「学科系統分類表」をご確認ください。

記入した学生数の障害種別の合計は、表の最上段の「全体の障害学生数」及び「支援障害学生数」の欄に反映されます。

平成 30 年度障害のある入学者数、休学者数(平成 30 年 5 月 1 日現在)、最低在学年限超過数についても回答してください。

- ⑧障害学生支援に関する(学内)教員研修(FD等)
- ⑨障害学生支援に関する(学内)職員研修(SD等)
- ⑩障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣
- ⑪障害学生支援に関する学生向け研修(ノートテイカー養成等)
- ⑫支援マニュアル、パンフレット等の配布

⑬オーブンキャンパス等、入学希望者を対象とするイベントでの情報提供

⑭入学後のガイダンス等における、障害学生支援の手続きなどに関する学内規程や支援事例等の周知

⑮障害学生支援に関する講座・講演等イベント

⑯障害学生支援または障害者支援に関する講義(ポランティア論等)

4. 受入に関する配慮
(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

(1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知
入学者選抜における受験上の配慮を周知している方法とその内容について回答してください。

(2) 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法
平成 30 年度入学者選抜において、実際に事前相談があったかどうかに関わらず、どのような受付方法をとっていたかを回答してください。

(3) 入学者選抜において実施可能な受験上の配慮
平成 30 年度入学者選抜において準備していた、または受験者から申請があった場合に対応が可能であった配慮について回答してください(申請の有無は問わない)。

5. 入学者数等
(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

(1) 障害のある入学者数等
平成 30 年度入学者選抜における、障害のある相談者数、志願者数、受験者数、合格者数、入学者数について回答してください。相談者数、志願者数、受験者数、合格者数は延べ数を、入学者数は実数を記入してください。入学後に障害のあることがわかった学生は含みません。

また、障害のある入学希望者のうち、受験者数、合格者数、入学者数について、受験上の配慮を行なった数を、課程ごと(学部(通学課程)は入試方式ごと)に回答してください。入試形態の定義については、16 ページをご参照ください。

(2) 受験上の配慮の内容

(1)で計上した受験上の配慮の内容について回答してください。配慮の内容 A～V までに該当しない場合は、下にある表の該当する障害種の欄に具体的な内容を記

身体障害と発達障害、精神障害が重複している場合は、身体障害の該当欄に数を記入し、最下段にある「発達障害との重複」「精神障害との重複」の該当欄にも記入してください。

発達障害と精神障害が重複している場合は、学校で把握している主たる障害の欄に学生数を記入し、副となる障害については、「発達障害との重複」または「精神障害との重複」の該当欄に記入してください。いずれが主たる障害かが明らかでない場合も「発達障害」にも「精神障害」にも記入せず、「その他の障害」に計上してください。

8. 病弱・虚弱（他の慢性疾患）の内訳
〔7. 障害学生数〕で「病弱・虚弱 他の慢性疾患」に計上した場合にご回答ください

課程別に表が分かれています。「病弱・虚弱」の「他の慢性疾患」に計上した学生の学科（専攻）と診断名、障害学生数と支援障害学生数を記入してください。

9. 精神障害（他の精神障害）の内訳
〔7. 障害学生数〕で「精神障害 他の精神障害」に計上した場合にご回答ください

課程別に表が分かれています。「精神障害」の「他の精神障害」に計上した学生の学科（専攻）と診断名、障害学生数と支援障害学生数を記入してください。

10. その他の障害の内訳
〔7. 障害学生数〕で「その他の障害」に計上した場合にご回答ください

課程別に表が分かれています。「その他の障害」に計上した学生の学科（専攻）と診断名、障害学生数と支援障害学生数を記入してください。

11. 授業支援と授業以外の支援
〔7. 障害学生数〕で支援障害学生数を計上した場合にご回答ください

課程別に授業支援の表と授業以外の支援の表があります。「7. 障害学生数」に計上した支援障害学生数への支援について、該当する支援内容を回答してください。発達障害については、診断書種別に、実施している支援の欄に「1」を記入してください。発達障害については、診断書のある学生に対する支援について回答してください。診断書のない学生への支援については「12. 発達障害が疑われる学生への支援」に回答欄があります。実施している支援が各項目に当てはまらない場合には、「その他の授業支援」または「その他の授業以外の支援」に「1」を記入し、下にある表に障害種と具体的な内容を記入してください。支援内容の定義については、17ページをご参照ください。

12. 発達障害が疑われる学生への支援
（発達障害が疑われ、何らかの支援を行なっている学生が在籍する場合にご回答ください）

(1) 発達障害のある学生への支援における課題

発達障害のある学生への支援について、課題と感していることがあれば該当欄に「1」を記入してください。

(2) 発達障害が疑われ、なんらかの支援を行なっている学生数

課程ごとに、学生数と授業支援の表、授業以外の支援の表があります。なお、ページの都合上、学科（専攻）別の「人文科学」～「保健（医・歯学）」までと、「保健（医・歯学を除く）」～「その他」までの表に分かれています。

発達障害が疑われ、何らかの支援を行なっている学生の数を記入してください。「発達障害（診断書無・配慮有）」の定義については、15ページをご参照ください。

平成30年度入学学生数、休学者数（平成30年5月1日現在）、最低在学年眼超過数についても記入してください。

なお、このシートで計上した学生数は、「7. 障害学生数」の障害学生数、支援障害学生数には含まれません。

○支援内容

実施している支援内容について、該当する区分の欄に「1」を記入してください。「その他の授業支援」「その他の授業以外の支援」を選択した場合は、学科（専攻）、障害種別（下位区分）、具体的な内容を下にある別表に記入してください。支援内容の定義については、17ページをご参照ください。

13. 意見・要望
（障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）

- (1) 障害学生支援の課題について
- (2) 障害学生の進路、就労、キャリア教育等の課題について
- (3) JASSOの障害学生支援の取組について

Ⅲ本調査における用語の定義

対象となる学生について

- 【学生数】 研究生、科目等履修生、聴講生及び別科生は含みません。
- 【入学者数】 1年次の入学者の数（2年次以上の編入者は含みません）。
- 【障害学生】 「身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳」を有している学生又は健康診断等において障害があることが明らかになった学生（重複する場合は実数）
- ※平成30年5月1日現在、在籍していた全ての障害学生（障害があることについて）の申請が平成30年5月2日以降の場合を含む）を計上してください。
- ※各障害種の定義（13～15ページ）もご参照ください。
- 【支援障害学生】 学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている障害学生（今年度中の支援予定を含む）
- 支援については、17ページの各支援内容の定義をご参照ください。
- 【最低在学年限超過数】 各課程の最低在学年限（4年制ならば4年、6年制ならば6年）を超えて在学している障害学生数（休学者数は含みません）

障害について

- 【視覚障害】
 - 盲……視覚による教育が不可能又は著しく困難で、主として触覚及び聴覚など、視覚以外の感覚を利用する教育が必要な程度
 - 弱視……視覚による教育は可能であるが、文字の拡大など教育上特別の配慮が必要なる程度（視野障害や、明るいと暗いところがまぶしく感じる羞明や暗いところが見えにくい夜盲等の明暗順応の障害を含む）
 - ※色覚異常、片目の失明については、「その他の障害」に計上し、診断名欄にその旨（色覚異常、片目の失明）を記入する。
- 【聴覚・言語障害】
 - 聾……両耳の聴力損失60デシベル以上、又は補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能、又は著しく困難な程度
 - 難聴……両耳の聴力損失60デシベル未満、又は補聴器を使用すれば通常の話し声を解することが可能な程度
 - 言語障害のみ……発声、発語に関する機能障害（構音障害、音声障害、流暢性の障害、言語発達遅滞、口蓋裂）

調査票記入後の確認事項

1. 全般的な確認事項

- (1) 学校名、機関コード、所在地の都道府県名とNo.は正しく表示されていますか。
- (2) 連絡先（電話・FAX番号）、担当者課室名、担当者役職・氏名（フリガナ）・E-Mailアドレスに誤りはありませんか。
- (3) 前年度調査でご回答いただいた内容と比較して、各項目の数値に著しい差はありませんか。
- (4) 記入漏れシートはありませんか。

2. 項目別の確認事項

各項目の記入欄に、赤色や黄色のセルは残っていませんか。セルが黄で表示される場合は、同じ表内の別の数値と不整合がないかご確認ください。セルが赤で表示される場合は、同じ数値の詳細、内容等を記入している別表と不整合がないかご確認ください。

読み取りパスワードの設定について

まず、回答を記入した調査票ファイルのコピーを作成し、ファイル名（3ページ〔6〕参照）をつけます。パスワードの設定方法は使用するMicrosoft Excelのバージョンによって異なります。

■Excel2007

①ファイルを開き、[Microsoft Office] ボタンをクリックし、[配布準備] の [ドキュメントの暗号化] を選択します。② [ドキュメントの暗号化] 画面でパスワードを設定してください。

■Excel2010

① [ファイル] タブをクリックします。②ファイルを開き、[Backstage] ビューで [情報] を選択し、[アクセス許可] で [ブックの保護] を選択します。③ [パスワードを使用して暗号化] を選択し、パスワードを設定してください。

■Excel2013

調査票ファイルのコピーを作成する過程で、パスワードを設定します。①[ファイル]タブをクリックしてバックステージを開きます。② [名前を付けて保存]を選択して、右下の[参照]ボタンをクリックします。③名前を付けて保存 ダイアログボックスの下のほうにある [ツール]→[全般オプション]を選択し、パスワードを設定してください。④ファイル名（3ページ〔6〕参照）をつけて、ファイルを保存してください。

気分障害……躁病エピソード、双極性感情障害、うつ病エピソード、反復性うつ病性障害、持続性気分（感情）障害等（ICD-10 F30-F39 に該当する疾患）
 神経症性障害等……不安障害、強迫性障害（強迫神経症）、重度ストレスへの反応及び適応障害、解離性（転換性）障害、身体表現性障害、神経衰弱等（ICD-10 F40-F48 に該当する疾患）

摂食障害、睡眠障害等……摂食障害、睡眠障害、依存を生じない物質の乱用等（ICD-10 F50-F59 に該当する疾患）

※ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群はここに計上する。
 他の精神障害……上記に当てはまらない精神障害。高次脳機能障害、依存症候群、人格障害、トゥレット症候群、性別違和（性同一性障害）、緘黙症、知的障害、診断名が確定していない抑うつ状態等。

【その他の障害】視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複、発達障害及び精神障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある者 又は、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者

※多汗症、原因の特定できない過敏性腸症候群、頻尿等はこの中に計上する。
 【発達障害（診断書無・配慮有）】発達障害であるとの医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、学校が何らかの支援（教育上の配慮等）を行なっている者

※何らかの支援（教育上の配慮等）とは、学内の組織、部署等の業務として行なっているもので、一部の教職員が個人的に行なっているものではない。

S L D……限局性学習症/限局性学習障害（旧 L D；学習障害）
 ADHD……注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害（旧注意欠陥/多動性障害）
 ASD……自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害（旧高機能自閉症等；高機能自閉症及びアスペルガー症候群）

区分不明……上記の3つのいずれに該当するか不明の者

※ICD は世界保健機関による疾病及び関連保健問題の国際統計分類で、国際的に広く用いられている統計分類基準です。平成 30 年 9 月 1 日時点での最新版が ICD-10 となります。

【肢体不自由】
 上肢機能障害……腕、手、指および各関節に関する機能障害
 下肢機能障害……脚、足指および各関節に関する機能障害
 上下肢機能障害……上肢、下肢の両方に関する機能障害
 他の機能障害……体幹（胴体）に関する機能障害、体幹と上肢の機能障害、体幹と下肢の機能障害、体幹と上下肢の機能障害および運動の障害

【病弱・虚弱】「学校教育法施行令 障害の程度」における「病弱者」に該当する者を指す。
 内部障害等（※1）……心臓機能障害、じん臓機能障害、呼吸器機能障害、ぼうこう又は直腸の機能障害、小腸機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、肝臓機能障害及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者

※1：「身体障害者障害程度等級表」または「小児慢性特定疾患」に該当する者
 他の慢性疾患（※2）……身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者 又は、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者（てんかん、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アナフィラキシー等で、身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする者はこの中に計上する）

※2：これに当てはまらない疾患等については、「その他の障害」に計上する。
 【重複】以下の通り、障害が重複している者

○2つの身体障害の重複
 視覚障害と聴覚・言語障害、視覚障害と肢体不自由、視覚障害と病弱・虚弱・聴覚・言語障害と肢体不自由、聴覚・言語障害と病弱・虚弱、肢体不自由と病弱・虚弱

○3つ以上の身体障害の重複
 視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由、視覚障害と聴覚・言語障害と病弱・虚弱、視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱

【発達障害（診断書有）】発達障害に関する医師の診断書がある者
 S L D……限局性学習症/限局性学習障害（旧 L D；学習障害）
 ADHD……注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害（旧注意欠陥/多動性障害）
 ASD……自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害（旧高機能自閉症等；高機能自閉症及びアスペルガー症候群）

発達障害の重複……上記の3つのいずれかが重複している者

【精神障害】以下の疾患が継続して医療または生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者 又は、健康診断等において下記の障害があることが明らかになった者

統合失調症等……統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害（ICD-10 F20-F29 に該当する疾患）

活動や取組について

【障害学生支援に関する講義】カリキュラムに含まれる講義（資格取得等に要するものを除く）、単位付身の有無は問わない。

【障害学生支援に関する学生向け研修】支援方法、支援技術等の習得を目的として実施するもの。

【障害学生支援に関する講座・講演等イベント】支援についての意識啓発、情報提供等を目的として実施するもの。

入学者選抜及び受験上の配慮について

【受験上の配慮】入学者選抜において行なった、障害を理由とする合理的配慮（別室受験、時間延長等）

※急性の疾病（インフルエンザ等）やけが（骨折、捻挫等）等、一過性のもので、その後に回復の見込みのある者に対して行なった配慮は含みません。

【特別入試】以下の3つに分類される入試方式

AO入試……学校独自の選抜基準（アドミッション・ポリシー）による入試

推薦入試……出身学校長の推薦に基づく、公募制、指定校対象、付属高等学校対象等の推薦入試

障害者特別入試……障害者を対象とする一般入試とは異なる選抜方式による入試（入試形式がAO入試、推薦入試であった場合を含む）

【特別入試以外の入試】上記に当てはまらない入試 一般入試、社会人入試、海外からの帰国生等を対象とする入試、外国人を対象とする入試等

卒業生及び卒業後の進路について

【最高年次】

大学……4年次または6年次（4年制、6年制の両方が設置されている場合は、その学生数の合計）

短期大学……2年次または3年次（2年制、3年制の両方が設置されている場合は、その学生数の合計）

高等専門学校……5年次

【就職希望者】平成30年3月31日現在卒業した障害学生のうち就職を希望していた者

【就職者】給料、賃金、報酬その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いた者 正社員または雇用期間が一年以上で、勤務形態が正社員に準ずるものであれば「イ．就職者」、

それ以外または雇用期間、勤務形態等が不明の場合は「カ．一時的な仕事に従事」に計上してください。自家・自営業に就いた者（継続的に本業として家業に従事する場合）も、「イ．就職者」の欄に計上してください。家事の手伝いに就いた者は「ア～カ以外」の欄に計上してください。夜間部の学生のうち在学中すでに職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある場合は「イ．就職者」の欄に計上してください。「ア．進学者」のうちで職に就いている者については、「イ．就職者」に含めず、「②就職教

の欄に計上してください。

【臨床研修医】医師法第16条の2及び歯科医師法第16条の2に基づく臨床研修を受ける者 また5月1日現在、臨床研修医となることが予定される者も含まれます。

【専修学校、外国の学校、教育訓練機関等入学者】「ア．進学者」以外で、学校等に入学（在籍）している者 専修学校、外国の学校、職業能力開発校等への入学者、

研究生として入学した者等

【社会福祉施設、医療機関入所者】社会福祉施設に入所、又は医療機関に入院した者 社会福祉施設、医療機関に就職した者は「イ．就職者」に計上してください。

【一時的な仕事に従事】臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者 例えばアルバイト、パート等で一時的な仕事に就いた者を計上してください。

【ア～カ以外】進学でも就職でもないことが明らかかな者 家事手伝いなどがここに含まれます。学校で具体的な状況を把握していない者であっても、進学でも就職でもないことが明らかかな者であれば計上してください。

【不詳・死亡の者】不詳は、各欄のいずれに該当するかを学校で把握していない者 死亡は、平成30年5月1日までに死亡した者

支援について

【点訳・墨訳】

点訳……教材、配布資料などを点字に訳すこと。

墨訳（すみやく）……試験の点字解答を出題者が採点する際等、点字を墨字、活字に訳すこと。

【教材のテキストデータ化】教材、配付資料等をテキストデータにすること。音声認識ソフトや点訳ソフトを利用するために行ないます。

【教材の拡大】教材、配付資料等を拡大読書器でモニターに拡大表示したり、大きな文字で印刷したりすること。

【ガイドヘルプ】移動の際に、歩行介助及び誘導を行なうこと。主として講義と講義の間の教室移動のサポートをいいます。

【リーディングサービス】教材や配布資料などを音声で読み上げる（文字を音声に訳すこと。主として、講義中に板書されたものをその場で口頭で伝える「代読」と、利用者と支援者が対面して資料等を読み上げる「対面朗読」があります。

【手話通訳（触手話を含む）】講義内容や周りの様子等を手話で伝えること。盲聾者のための触手話を含みます。

【ノートテイク】講義内容や周りの様子等を筆記し、文字で伝えること。

【パソコンテイク】講義内容や周りの様子等をパソコンに入力し、文字で伝えること。

【ビデオ教材字幕付け・文字起こし】教材等として使用される映像メディアの台詞やレーションをテキスト化し、字幕として挿入する、または紙面に記すこと。

【チューター又はティーチング・アシスタントの活用】大学院の学生や担当教員等が学部学生等に対し、生活や講義、実験・実習、演習等の補助や助言等を行なう学内制度を活用した支援のこと。

【試験時間延長・別室受験】定期試験の際に、通常の試験時間を延長したり他の学生とは別室で試験を実施すること。点字の読み取りや筆記、代筆等で通常に比べて時間を要する場合、他の学生と同室では支障がある場合等を実施します。

【解答方法配慮】障害の状況に応じて、試験時の解答方法を変更すること。

【パソコンの持ち込み使用許可】受講に利用するため、パソコンの持ち込みを許可すること。

【注意事項等文書伝達】定期試験の際、通常は口頭で受験者に伝達する注意事項を文書にして配付あるいは板書すること。

【使用教室配慮】授業で使用する教室を、移動しやすしい教室や修学に適した広さ・設備のある教室にすること。

【実技・実習配慮】いわゆる座学中心の講義以外の授業（体育等の実技、専門教育での実習、学外実習等）において、障害の状況に応じて配慮すること。

【教室内座席配慮】教室内での座席を障害学生が受講しやすしい位置に配慮すること。

【FM補聴器/マイク使用】講義者の声を、専用のマイクを通じて補聴器を装着した学生に伝える支援技術の活用。またはその器材の貸し出し等を行なうこと。

【専用机・イス・スペース確保】車いす用の机の配置やスペースの確保等、受講や学生生活円滑にするために、障害の状況や特性に合わせた設備又はそれに関連する配慮を行なうこと。

【読み上げソフト・音声認識ソフト使用】電子データを音声に変換して読み上げたり、音声データを電子データに変換するソフトの活用。またはその貸し出し等を行なうこと。

【講義に関する配慮】講義内容の録音、板書の撮影等を許可すること。

【授業内容の代替、提出期限延長等】実技やリスニング等、障害学生にとって困難のある授業を別の内容に代替する、レポートや課題の提出期限を延長する等、評価方法を配慮すること。ただし評価基準はダブルスタンダードを設けず、障害のない学生との公平性を保つことが必要です。

【履修支援】履修登録の補助や支援、優先的な履修登録等の配慮をすること。

【学外実習・フィールドワーク配慮】実習先での情報保障や移動支援、実習先機関との連携等を行なうこと。

【居場所の確保】学内で1人になれるスペースを確保したり、孤立しないための仲間作り支援を行なうこと。

【通学支援】スクーパの乗降や自動車通学の許可、専用駐車場の確保等を行なうこと。

【個別支援情報の収集】出身校や保護者と連携し、必要な支援や入学以前に受けていた支援に関する情報を収集すること。

【情報取得支援】学内行事の案内や休講情報等、学生生活に必要な情報を取得できるように支援すること。

【自己管理指導】スケジュール管理に関する指導や、自主学習への支援を行なうこと。

【対人関係支援】対人スキル指導や対人関係に関するトラブルへの対応を行なうこと。

【日常生活支援】食事、洗濯、清掃、入浴、睡眠等、日常生活に関する指導を行なうこと。

【専門家によるカウンセリング】臨床心理士等の専門家によるカウンセリング。

【医療機関との連携】主治医や障害に関する専門医療機関等と連携すること。

【医療機器、薬剤の保管等】透析用機器や人工呼吸器等の医療機器や、発作等の緊急用薬剤等を預かり、保管すること。

【休憩室・治療室の確保】休み時間、空き時間に利用できる休憩室や透析等の医療行為を行なうための部屋を確保すること。

【生活介助】体位変換、更衣、食事、トイレ等の介助を行なうこと。

【介助者の入構、入室許可】生活介助等を行なう介助者が学内や教室に入ることを許可すること。

【キャリア教育】学生が自身の障害についての理解を深め、必要な支援や職業適性を把握できるように指導すること。

【障害生向け求人情報の提供】障害学生を対象とする求人情報を収集し、学生に提供すること。

【就職支援情報の提供、支援機関の紹介】障害学生を対象とする就職ガイダンスやセミナー、就職支援サイト、就職支援機関等に関する情報を提供し、紹介すること。

【インターンシップ先の開拓】受け入れ先となる企業等を開拓し、障害学生のインターンシップ体験を支援すること。

【就職先の開拓、就職活動支援】障害学生の適性に合う就職先の開拓や、就職活動におけるエンタートリーシートでの作成や面接を指導すること。

F A Q よくある質問集

○全般的な質問

- Q** 障害学生が在籍していませんが、回答しなければいけませんか。
A 「1. 学校基本情報」「2. 支援体制」「3. 活動や取組」「4. 受入に関する配慮」「5. 入学者数等」「3. 意見・要望」シートにご回答ください。また、昨年度最年次に障害学生が在籍していた場合は「6. 平成29年度卒業生」シートに、診断書はないが発達障害が疑われる学生への支援を実施している場合は、「12. 発達障害が疑われる学生への支援」シートにもご回答ください。
- Q** 今年度から新入生の募集を停止しています。回答する必要がありますか。
A 学生が在籍している間は回答してください。まったく在籍学生がいない場合はその旨ご連絡ください。
- Q** キャンパスが分かれているので、キャンパスごとに回答してもいいですか。
A お手数ですが1校1回答をお願いします。それぞれのキャンパスの情報を集約し、学校全体の回答としてまとめてください。
- Q** 記入欄が足りません。行を追加してもいいですか。
A 行や列、セルやシートの追加、削除等はできません。記入欄が足りない場合は、回答ファイルを送信する際にメールアドレスに内容を記載するか、追加分についての別表を作成してメールに添付してください。
- Q** 5月1日現在と、現時点では学生数が変わっていますが、どの時点の数値を記入したらいいですか。
A 平成30年5月1日時点の数値を記入してください。
- Q** 研修生は対象となりますか？
A 研修生、研究生、科目等履修生、聴講生、別科生は調査対象外です。
- Q** 2年生から3年生に進級する時点で留年し、2年生が2回目の学生がいます。この学生は「最低在学年限超過数」に計上しますか。
A 最低在学年限は、4年制であれば4年、6年制であれば6年となります。問いの2年生は3年次以降の課程のある学生で、最低在学年限には達していないため、計上の対象とはなりません。

- Q** 平成30年5月1日現在、学費未納の学生は、学生数に計上しますか。
A 学校に籍のある学生はすべて計上してください。除籍処分となった学生は計上の対象となりません。

○調査票の取得と回答方法について

- Q** 「調査票」「調査の手引」がダウンロードできません。どうしたらいいですか。
A ご担当者のメールアドレス宛にファイルを送信しますので、日本学生支援機構障害学生支援課 (E-Mail: tokubetsushien@jasso.go.jp または電話: 03-5520-6176) までご連絡ください。
- Q** メールで回答を送りましたが、間違いない届くかどうか不安です。
A メール送信時に開封確認をつけてください。受信時に開封確認を返信します。
- Q** 先に送った回答に誤りがありました。どうしたらいいですか。
A 修正後、回答ファイル名の学校名の後に(再提出)と追記したファイルをメールに添付し、「学校名(再提出)」というメールアドレスで再送付してください。
- Q** 具体的な内容欄を記入したところ、欄の大きさに対して文字数が多すぎて全文が表示されませんか。どうしたらいいですか。
A 本調査票は集計上の都合によりセルの大きさの変更はできません。該当セルを選択し、次にExcelの上部にある「fx」欄を選択してください。ここに全文が表示されることを確認し、そのままご送付ください。回答内容を印刷保存する場合等にご不便をおかけしますが、あしからずご了承ください。
- 障害についての質問**
- Q** 学校では障害があることを把握していますが、本人の希望で障害者手帳を取得していない学生がいます。障害学生に計上しますか。
A 実態調査では学校や個人を特定できるような結果は公表しません。学校として障害があることを把握している場合には、障害学生数に計上してください。
- Q** 障害があるらしいが、手帳や診断書があるかどうかを把握していない学生がいます。学生に確認しなければいけませんか。
A 本調査の回答のために学生に確認する必要はありません。「障害があるらしい」と推察されるが把握していない学生については障害学生数に計上しません。ただし推察される障害が発達障害で何らかの支援を行なっている場合は、この後のFAQもご参照ください。

- Q 視覚障害の盲、弱視、聴覚障害の聾、難聴を区別して把握していません。調査票にはどのように記入したらいいですか。
- A 18 ページの各障害の定義を参考に、いずれれかを判断して該当する欄に計上してください。
- Q 発達障害（診断書有）で、SLD、ADHD、ASDDの重複している学生がいます。調査票にはどのように記入したらいいですか。
- A 発達障害の中に重複の欄があります。この欄に記入してください。
- Q 発達障害らしい学生がいて、対応に気をつけています。この場合「12. 発達障害が疑われる学生への支援」の学生数に計上しますか。
- A 「発達障害らしい」という推察が、複数の教職員によって共有されていて、組織的な配慮、対応が行なわれている場合は計上してください。ただし、教職員個人が「発達障害らしい」と思い、個人的に配慮している場合は含みません。
- Q 身体障害と発達障害の両方のある学生がいます。障害学生数は両方に計上しますか。
- A 身体障害と発達障害の重複する学生については、「7. 障害学生数」の該当する身体障害の欄に計上し、同じ表の下段にある「発達障害との重複」の該当欄に計上してください。
- Q 最近、障害があることがわかった学生がいて、5月1日現在にはそのことを把握していませんが、この学生は障害学生数に含めますか？
- A 5月2日以降に障害のあることを把握した学生が、5月1日現在に在籍していた場合には、障害学生数に含めてください。
- 活動や取組、支援について
- Q 障害学生支援に関する活動や取組において「演習」は⑩の「講義」、⑪の「研修」のどちらに当てはまりますか？
- A カリキュラムに含まれている「演習」ならば⑩の「講義」、カリキュラム外で支援方法、支援技術等の習得を目的とする内容であれば⑪の「研修」、カリキュラム外で意識啓発、情報提供を目的とする内容であれば⑩の「講座・講演等イベント」となります。
- Q 学生組織が障害学生支援を行なっています。この場合、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。
- A 学校が学生組織に依頼している等、学校が関与している場合には、支援障害学生に計上してください。学校が関与していない場合は、支援障害学生には該当しません。

- Q 一般学生が自立的に障害学生を支援しています。この場合、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。
- A 学校に申し出がなく、学校が支援していない場合は、支援障害学生には該当しません。
- Q 自立的に障害学生を支援している学生から、ノートテイクのための入室許可の申し出があり、許可しました。この場合は、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。また、支援している学生は支援学生に計上しますか。
- A 支援入室の許可は、学校の支援として支援障害学生に計上してください。ただし、この場合のノートテイクは学校が実施している支援としての計上には含まれません。同様に、支援に学校が関わっていない場合は、「2. 支援体制」(8)の支援学生の計上には含まれません。
- Q パソコンテイクや点字のサークルがあり、このサークルの学生に支援活動を依頼しています。この場合は、支援学生のどこに計上したらいいですか。
- A 「②学生が運営する組織に参加する学生がいる」に計上してください。
- Q ボランティア活動を行なう学生組織が障害学生支援を行なっています。当該学生組織は障害学生支援のみならず、学内外の様々なボランティア活動を行なっているため、所属している学生が必ずしも全員、障害学生支援に携わっている訳ではありません。この場合、支援学生の人数のカウントはどのように行なえばいいでしょうか。
- A 支援学生の数については、現在実際に障害学生支援を行なっている学生数、または本年度中に障害学生支援に携わる予定の概数を実数で計上してください。
- Q 授業の一環として障害学生支援に携わっている学生は支援学生として計上しますか。
- A 「②iii」その他」に計上し、どのような支援学生なのかを記入する欄に、その旨（○○の授業の一環として障害学生支援をしている等）を記入してください。また、単位取得や成績評価の対象としている場合は、「C. その他」を選択し「C. その他の具体的な内容」にその旨を記入してください。
- Q 学内にスロープ等のバリアフリー設備を設けます。これは支援として計上しますか。
- A 「2. 支援体制」の(7)「障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況」に、該当の設備がありますので、そちらに記入してください。「11. 授業支援と授業以外の支援」には計上しません。

(調査票)

大学・大学院用

※課程別の調査票については学部（通学課程）のみを掲載しています。

※短期大学用、高等専門学校用は、以下の2点を除き同様です。

1. 課程数

短期大学：学部（通学課程）、学部（通信教育課程）、専攻科

高等専門学校：学部（通学課程）、専攻科

2. 学科（専攻）数

短期大学：人文、社会、教養、工業、農業、保健、家政、教育、
芸術、その他

高等専門学校：社会、工業、商船、芸術

※日本学生支援機構のウェブサイトからダウンロードできます。

https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/chosa_kenkyu/chosa/2018.html

1. 学校基本情報

平成30年度 (2018年度)	
大学、短期大学及び高等専門学校における 障害のある学生の修学支援に関する実態調査 (大学・大学院用)	
1. 学校基本情報	
(1) 学校名と主たる所在地	
学校名	主たる所在地の都道府県名
No.	

機関コード表示欄

(2) 学校全体の学生数 ※課程のないところ、学生数のないところには0を入力してください。

課程	平成30年度 全学生数	平成30年度 全入学者数	平成29年度 全卒業者数
学部			
通学課程			
通信教育課程			
大学院			
通学課程			
通信教育課程			
専攻科			
計	0	0	0

全入学者数または全卒業者数が0の場合、以下の当てはまる理由を選択してください。

平成 年より募集停止しているため、入学者はいない。
 平成 年開学のため、卒業者はまだいない。
 その他

(3) 本調査の担当部署 (者)

部署室名	担当者
役職	フリガナ
氏名	
郵便番号	所在地
電話番号	FAX番号
E-Mail	E-Mail

(4) 障害学生支援の主たる担当部署 (者)

部署室名	担当者
役職	フリガナ
氏名	
郵便番号	所在地
電話番号	FAX番号
E-Mail	E-Mail

次に「2. 支援体制」シートを記入してください。

2. 支援体制

2. 支援体制

(1) 障害者差別解消法に関する対応要領等
 障害者差別解消法に関する対応要領、基本方針（ガイドライン）等、または障害学生支援に関する規程等（例：入学者選抜、修学支援に関する委員会、部署、担当者等に関する規程、規定等）について、該当する欄に「1」を記入してください。なお、学生全数に関する規程等のうち、障害学生に関する具体的な表記がないものは、下記Dに該当しません。

<input type="checkbox"/>	① 対応要領または基本方針、規程等がある。 URL: <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	② 平成30年度中に策定予定である。
<input type="checkbox"/>	③ 対応要領または基本方針、規程等はない。

(2) 障害学生支援に関する委員会等
 障害学生支援について協議、検討する委員会について、該当する欄に「1」を記入し、下欄に代表者について記入してください。

<input type="checkbox"/>	① 専門委員会がある（障害学生委員会、バリアフリー委員会、支援担当者会議等）。 委員会名 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	代表者（委員長等）の役職等 （副学長、学部長等） <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	② 専門委員会はないが、他の委員会に対応している（学生委員会等）。 委員会名 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	代表者（委員長等）の役職等 （副学長、学部長等） <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	③ 障害学生支援に關して検討・協議する委員会はない。

(3) 紛争解決のための第三者組織
 障害学生に関する紛争の防止、解決等に関し、障害学生支援部署とは別に、第三者的視点で調整を行う学内機関について、該当する欄に「1」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	① 第三者的視点で調整を行なう専門機関がある。
<input type="checkbox"/>	② 他の機関（ワカメント委員会等）で対応している。機関 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	③ 第三者的視点で調整を行なう機関はない。

2. 支援体制

(5) 障害学生の相談受付窓口
 障害学生が支援の申し出等をしたときに、学生にとってわかりやすい窓口がありますか。窓口の有無及びその周知について、該当する欄に「1」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	① 支援の申し出等の相談に対応する窓口がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	ア. 窓口について、要覧、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	イ. 窓口は設けているが、特に周知していない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	② 支援の申し出等の相談に対応する窓口はない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	ア. 特に窓口は設けず、各部署で相談に対応していることを周知している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	イ. 窓口はなく、相談対応について特に周知していない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(6) 支援の申し出等に関する対応手順
 障害学生から支援の申し出、相談等があった場合の対応手順について、該当する欄に「1」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	① 対応手順を規定した文書がある。
<input type="checkbox"/>	② 対応業務等に対応手順が記載されている。
<input type="checkbox"/>	③ 対応手順を規定する文書はない。

2. 支援体制

(4) 障害学生支援担当部署（者）
 1. 障害学生支援業務を行なう部署・機関について、該当する欄に「1」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	① 専門部署・機関がある（障害学生支援センター、バリアフリー支援室等）
<input type="checkbox"/>	部署・機関名 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	② 専門部署・機関はないが他の部署・機関が対応している（学生課、保健室等）
<input type="checkbox"/>	部署・機関名 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	③ 障害学生支援業務を行なう部署・機関はない

2. 障害学生支援業務を行なう担当者の有無と人数を記入してください。

① 専任スタッフ (担当者がある場合、左の欄に1を記入し、右の欄に人数を記入してください)	人数
<input type="checkbox"/>	ア. 障害学生支援を専門に担当するコーディネーター
<input type="checkbox"/>	イ. 障害学生を専門に担当するカウンセラー
<input type="checkbox"/>	ウ. 障害学生を専門に担当する医師
<input type="checkbox"/>	エ. 専門の支援技術（手話通訳、点訳等）を持つ教職員
<input type="checkbox"/>	オ. 障害学生支援を専門に担当する職員
<input type="checkbox"/>	カ. 障害学生支援を専門に担当する教員
<input type="checkbox"/>	キ. その他 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	② 兼任スタッフ (障害学生支援担当者が決まっている場合のみ人数を計上してください。決まった担当者がなく、部署・機関の全員が別時対応する場合は左の欄のみ1を記入し、人数は記入不要です)
<input type="checkbox"/>	ア. 他の業務と兼任で障害学生支援を担当するコーディネーター
<input type="checkbox"/>	イ. 他の業務と兼任で障害学生を担当するカウンセラー
<input type="checkbox"/>	ウ. 他の業務と兼任で障害学生を担当する医師
<input type="checkbox"/>	エ. 専門の支援技術（手話通訳、点訳等）を持ち他の業務と兼任で支援を行なう教職員
<input type="checkbox"/>	オ. 他の業務と兼任で障害学生支援を担当する職員
<input type="checkbox"/>	カ. 他の業務と兼任で障害学生支援を担当する教員
<input type="checkbox"/>	キ. その他 <input type="text"/>
③ 外部スタッフ	人数
<input type="checkbox"/>	ア. 職託等の契約に基づき、外部から抱えている医師、カウンセラー等
<input type="checkbox"/>	イ. 必要に応じて定期的に業務を委託している専門技術者（手話通訳、ノートタイカー等）
<input type="checkbox"/>	ウ. その他 <input type="text"/>

2. 支援体制

(7) 障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況
 学生生活において必要となる施設・設備の整備状況について、該当する欄に1を記入して下さい。

現在必要な箇所	整備	部分的に整備	整備中	または	年度末に整備	整備分が定数
①屋外	ア. 道路の舗装、段差の解消等 イ. 手すり、スロープ、階段昇降機等 ウ. 点字ブロック、標識シール等 エ. 専用駐車場					
②屋内	ア. 自動扉等出入口の整備 イ. エレベーター ウ. 手すり、スロープ、階段昇降機等 エ. 車椅子移動等に必要なスリッパ確保 オ. 点字プレート等教室内表示 カ. 聴覚障害者用屋内番号装置 キ. 自習室、独習室 ク. 磁気誘導カーブ					
③支援機器	ア. 点字プリンタ イ. 立体コピー機 ウ. 拡大読書機 エ. 点字携帯端末 オ. 筆談器等 カ. 車椅子、簡易ベッド等					
その他	※以下に、その他の具体的な内容を記入して下さい。					

2. 支援体制

(8) 支援学生（ノートテイク等）
 支援学生（障害学生を支援する学生）について、該当する欄に1を記入して下さい。

※①～③のいずれかかを必ず選択して下さい。
 支援学生の数は、現在支援に携わっている、または本年度中に支援に携わる予定の人数を要数で計上して下さい。障害学生が個人的に依頼した学生が個人的に支援している、学校が関わっていない場合は含まれません。

① 学校が運営する組織に登録している支援学生がいる。	<table border="1"> <tr> <td>ア. 有償</td> <td>7. 1～5人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>イ. 6～10人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>イ. 無償</td> <td>ウ. 11～20人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>エ. 21～30人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ. その他</td> <td>オ. 31～40人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>カ. 41～50人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ. その他</td> <td>キ. 51人以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	ア. 有償	7. 1～5人				イ. 6～10人				イ. 無償	ウ. 11～20人				エ. 21～30人				ウ. その他	オ. 31～40人				カ. 41～50人				エ. その他	キ. 51人以上							
ア. 有償	7. 1～5人				イ. 6～10人																																
イ. 無償	ウ. 11～20人				エ. 21～30人																																
ウ. その他	オ. 31～40人				カ. 41～50人																																
エ. その他	キ. 51人以上																																				
② 上記①以外の支援学生がいる。																																					
i) 学生が自主的に運営する組織に参加する支援学生がいる。	<table border="1"> <tr> <td>ア. 有償</td> <td>7. 1～5人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>イ. 6～10人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>イ. 無償</td> <td>ウ. 11～20人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>エ. 21～30人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ. その他</td> <td>オ. 31～40人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>カ. 41～50人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ. その他</td> <td>キ. 51人以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	ア. 有償	7. 1～5人				イ. 6～10人				イ. 無償	ウ. 11～20人				エ. 21～30人				ウ. その他	オ. 31～40人				カ. 41～50人				エ. その他	キ. 51人以上							
ア. 有償	7. 1～5人				イ. 6～10人																																
イ. 無償	ウ. 11～20人				エ. 21～30人																																
ウ. その他	オ. 31～40人				カ. 41～50人																																
エ. その他	キ. 51人以上																																				
ii) 他校の協力により支援学生を派遣してもらっている。	<table border="1"> <tr> <td>ア. 有償</td> <td>7. 1～5人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>イ. 6～10人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>イ. 無償</td> <td>ウ. 11～20人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>エ. 21～30人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ. その他</td> <td>オ. 31～40人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>カ. 41～50人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ. その他</td> <td>キ. 51人以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	ア. 有償	7. 1～5人				イ. 6～10人				イ. 無償	ウ. 11～20人				エ. 21～30人				ウ. その他	オ. 31～40人				カ. 41～50人				エ. その他	キ. 51人以上							
ア. 有償	7. 1～5人				イ. 6～10人																																
イ. 無償	ウ. 11～20人				エ. 21～30人																																
ウ. その他	オ. 31～40人				カ. 41～50人																																
エ. その他	キ. 51人以上																																				
iii) その他（上記 i） ii）に該当しない支援学生がいる																																					

※授業の一環として障害学生支援を行なっている場合はこちらを選択して下さい。また、その中で単位取得、成績評価等に反映している場合は、下の「c. その他」を選択して具体的な内容を記入して下さい。
 以下にどの支援学生数を記入して下さい。（例：ゼミの課題を行なっている等）

ア. 有償	7. 1～5人				イ. 6～10人			
イ. 無償	ウ. 11～20人				エ. 21～30人			
ウ. その他	オ. 31～40人				カ. 41～50人			
エ. その他	キ. 51人以上							

①または②（i、ii、iii）の支援学生が行なっている具体的な支援内容
 ※複数ある場合は、複数記入して下さい。

③ 支援学生はいない（支援学生による支援は行なっていません）。

次に3. 活動や取組シートをご記入下さい。

3. 活動や取組

以下の活動や取組を実施している場合は、実施の欄に「1」を記入してください。

<input type="checkbox"/> ① 不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組 ア. 教職員向けの研修会等の実施 イ. 学生向けの研修会等の実施 ウ. パンフレット等の配布 エ. その他				

<input type="checkbox"/> ② 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組 ア. 教職員向けの研修会等の実施 イ. 学生向けの研修会等の実施 ウ. パンフレット等の配布 エ. その他				

<input type="checkbox"/> ③ 支援情報の公開（学外者が見られるホームページで公開している） ア. 相談窓口について イ. 支援の申し出方法について ウ. 支援内容決定のプロセスについて エ. 具体的な授業支援等の支援内容の説明 オ. 在籍障害学生数 カ. 在籍支援障害学生数 キ. キャンパスのバリアフリーマップ等の掲示 ク. その他										

<input type="checkbox"/> ④ 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援 ア. 学外機関との連携、支援情報の提供 イ. 一般就職ガイダンス、セミナー等における配慮の実施 ウ. 障害学生向け就職ガイダンス、セミナー等の実施 エ. インターンシップ先、就職先の開拓、企業との連携 オ. その他				

<input type="checkbox"/> ⑤ 他大学等との連携 連携している学校名と連携内容、または参加している（大学等による）ネットワーク名と活動内容を記入してください。	名称/	
	内容	
	名称/	
	内容	
	名称/	
	内容	
	名称/	
内容		

⑥ 学外機関との連携
相談・支援機関、訓練機関、企業等、連携機関の名称と連携内容を記入してください。

名称/ 内容	
名称/ 内容	
名称/ 内容	
名称/ 内容	
名称/ 内容	
名称/ 内容	
名称/ 内容	

⑦ 相談対応・懇談会等（障害学生・支援スタッフ向け）

⑧ 障害学生支援に関する（学内）教員研修（FD等）

名称/ 内容		対象
名称/ 内容		対象
名称/ 内容		対象
名称/ 内容		対象
名称/ 内容		対象
名称/ 内容		対象
名称/ 内容		対象

⑨ 障害学生支援に関する（学内）職員研修（SD等）

名称/ 内容		対象
名称/ 内容		対象
名称/ 内容		対象
名称/ 内容		対象
名称/ 内容		対象
名称/ 内容		対象
名称/ 内容		対象

⑩ 障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣

名称/ 内容		派遣した人数
名称/ 内容		派遣した人数
名称/ 内容		派遣した人数
名称/ 内容		派遣した人数
名称/ 内容		派遣した人数
名称/ 内容		派遣した人数
名称/ 内容		派遣した人数

⑪障害学生支援に関する学生向け研修（ノートテイカー養成等）		
名称/内容	回数	

⑫支援マニュアル、パンフレット等の配布

⑬オープンキャンパス等、入学希望者を対象とするイベントでの情報提供

⑭入学後のガイダンス等における、障害学生支援の手続きなどに関する学内規程や支援事例等の周知

⑮障害学生支援に関する講座・講演等イベント		対象
名称/内容		

⑯障害学生支援または障害者支援に関する講義（ボランティア論等）		
名称/内容	回数	種別

次に「4. 受入に関する配慮」シートをご記入ください。

4. 受入に関する配慮

(1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知
 入学者選抜における受験上の配慮の周知について、①～③のうち該当する欄に「1」を記入してください。なお、①②については、具体的な内容についても、該当する欄に「1」を記入してください。また、「その他」を選択した場合は、その具体的な内容を記載してください。

①入試要項（募集要項）に、受験上の配慮に関する記載がある。
 7. 「陣書のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載している。
 1. 個々の困難の程度に応じた配慮内容を記載している。
 2. その他

②ホームページに、受験上の配慮に関する記載がある。または、記載のある入試要項を掲載している。
 7. 「陣書のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載している。
 1. 個々の困難の程度に応じた配慮内容を記載している。
 2. その他

③入試要項にも、ホームページにも記載していない。

(2) 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法
 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法について、①～④のうち該当する欄に「1」を記入してください。なお、②については、具体的な内容についても、該当する欄に「1」を記入してください。また、「その他」を選択した場合には、その具体的な内容を記載してください。

①随時、受け付けている。
 ②全学共通のルールで期間を設けている。
※ルールは同じが試験日が違うので異なる期日は違うという場合もこちらを選択してください。
 7. 出願受付締切まで 1. 試験前日まで

2. その他

③学部、学科等や入試形態によって違う。
 ④特に告知していないが、相談があれば対応する。

(3) 入学者選抜において実施可能な受験上の配慮
 平成30年度大学入学者選抜において、もし受験者から申請があったら対応が可能だった受験上の配慮を、該当する欄に「1」を記入してください。

①配慮の準備がある、または申し出があれば対応可能だった配慮がある。

<input type="checkbox"/> A. 点字問題を点字で解答	<input type="checkbox"/> L. 車椅子等の持参使用
<input type="checkbox"/> B. 拡大文字問題の準備	<input type="checkbox"/> M. 松葉杖の持参使用
<input type="checkbox"/> C. 拡大解答用紙の準備	<input type="checkbox"/> N. パソコン等の持参使用
<input type="checkbox"/> D. 音声で出題し音声で解答	<input type="checkbox"/> O. 手話通訳者の付与
<input type="checkbox"/> E. マークシートに替えて文字で解答	<input type="checkbox"/> P. 文書による伝達
<input type="checkbox"/> F. チャック解答	<input type="checkbox"/> Q. 窓側の明るい席の指定
<input type="checkbox"/> G. 試験時間の延長	<input type="checkbox"/> R. トイレに近接する試験室に指定
<input type="checkbox"/> H. 照明器具の準備	<input type="checkbox"/> S. 別室を設定
<input type="checkbox"/> I. 特製机の使用	<input type="checkbox"/> T. 試験室を一階に設定
<input type="checkbox"/> J. 拡大鏡等の持参使用	<input type="checkbox"/> U. 介助者の付与
<input type="checkbox"/> K. 補聴器の持参使用	<input type="checkbox"/> V. 試験場への車での入構許可
<input type="checkbox"/> W. その他	

具体的な内容

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

②申し出がなかったため検討しておらず、回答できない。
 次に「5. 入学者数等」シートをご記入ください。

※(2)に実施した配属内容がない場合、以下に、実施した配属の具体的な内容を、障害種別に記入してください。1つの障害種別に列して複数の記録を実施した場合は、同一欄に連記してください。

障害種別	実施した配属の具体的な内容
1 視覚障害 盲	
2 視覚障害 弱視	
3 聴覚・言語障害 聾	
4 聴覚・言語障害 難聴	
5 聴覚・言語障害 言語のみ	
6 肢体不自由 上肢機能障害	
7 肢体不自由 下肢機能障害	
8 肢体不自由 上下肢機能障害	
9 肢体不自由 他の機能障害	
10 病弱・虚弱 内部障害等	
11 病弱・虚弱 他の慢性疾患	
12 重複	
13 発達障害 (診断書有) SL	
14 発達障害 (診断書有) AD	
15 発達障害 (診断書有) AS	
16 発達障害 (診断書有) 重複	
17 精神障害 統合失調症等	
18 精神障害 気分障害	
19 精神障害 神経症性障害等	
20 精神障害 摂食障害、睡眠障害等	
21 精神障害 他の精神障害	
22 その他の障害	
23 発達障害 (診断書無) SL	
24 発達障害 (診断書無) AD	
25 発達障害 (診断書無) AS	
26 不明	

次に16. 平成29年度卒業生「D」をご記入ください。

6. 平成29年度卒業生 (1) 学部 (通学課程) 最高年次及び卒業障害者学生数

障害種別	①	②	③
	H29年度3月31日現在	H30年度3月31日現在	H31年度3月31日現在
視覚障害 盲			
視覚障害 弱視			
聴覚・言語障害			
言語障害のみ			
上肢機能障害			
下肢機能障害			
上下肢機能障害			
他の機能障害			
内部障害等			
他の慢性疾患			
重複			
発達障害 (診断書有)			
SL			
ADHD			
ASD			
発達障害の重複			
統合失調症等			
気分障害			
神経症性障害等			
摂食障害、睡眠障害等			
精神障害			
他の精神障害			
その他の障害			
計	0	0	0

※診断書はないが、発達障害が疑われ、支援を行っていた卒業者の数

発達障害 (診断書) SL			
発達障害 (診断書) ADHD			
無・配属不明			
計	0	0	0

8. 病弱・虚弱(他の慢性疾患)の内訳

8. 病弱・虚弱(他の慢性疾患)の内訳
 シート「7. 障害学生数」で「病弱・虚弱」の「他の慢性疾患」学生を計上した場合、下の該当の課程の表に
 学科(専攻)、内訳(具体的な障害名)、障害学生数、支援障害学生数を記入してください。
 (1) 学部(通学課程)

	学科(専攻)	内訳		アのうち 支援障害 学生数	
		※病弱・虚弱(他の慢性疾患)に計上した学生の 各障害名(例:アトピー性皮膚炎、てんかん、アノミア ラキシー等)	障害学生 数		
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
計				0	0

9. 精神障害(他の精神障害)の内訳

9. 精神障害(他の精神障害)の内訳
 シート「7. 障害学生数」で「精神障害」の「他の精神障害」学生を計上した場合、下の該当の課程の表に
 学科(専攻)、内訳(具体的な障害名)、障害学生数、支援障害学生数を記入してください。
 (1) 学部(通学課程)

	学科(専攻)	内訳		アのうち 支援障害 学生数	
		※精神障害(他の精神障害)に計上した学生の各 障害名(例:知的障害、性別違和、高次脳機能障 害等)	障害学生 数		
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
計				0	0

支援措置学生数	視覚障害	聴覚障害・言語障害	身体不自由	弱視・弱聴	重複障害	S L D D	A D D	統 合 失 調 の 症 等	系 列 分 野 障 害	精神障害	その他の障害	その他の障害の有無
1	居場所の確保（占有スペース、仲間づくり等）											0
2	通学支援（自動車通学許可、専用駐車場等）											0
3	個別支援情報の収集（出身校との連携等）											0
4	情報取得支援（行事案内、休講情報等）											0
5	社会的自己管理指導（スケジュール管理等）											0
6	スキル対人関係配慮（対人スキル、トラブル対応等）											0
7	指導日常生活支援（食事、入浴、睡眠等）											0
8	専門家によるカンパニオン											0
9	保健管理、医療機関との連携											0
10	医療機器、薬物の保管等											0
11	生活支援、休憩室・治療室の確保等											0
12	生活介助（体位変換、食事、トイレ等）											0
13	介助者の入構、入退室許可											0
14	キャリア教育（障害理解、職業適性の把握等）											0
15	進路、就職支援情報の提供											0
16	就職支援情報の提供、支援機関の紹介											0
17	インターンシップ先の開拓											0
18	就職先の開拓、就職活動支援											0
19	その他の授業以外の支援											0
※その他の授業以外の支援の具体的な内容を記入して下さい。												

障害種別	実施した支援の具体的な内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

12. 発達障害が疑われる学生への支援

(1) 発達障害のある学生への支援は、高等教育機関にとっても喫緊の課題の一つと捉われます。課題を感じられている事項に1を記入して下さい。（複数回答可）

<input type="checkbox"/>	学生の修学上の困難が発達障害によるものかどうかの把握
<input type="checkbox"/>	教員の発達障害のある学生への理解
<input type="checkbox"/>	職員・教員の発達障害のある学生への理解
<input type="checkbox"/>	周囲の学生の発達障害のある学生への理解
<input type="checkbox"/>	発達障害のある学生の自己理解
<input type="checkbox"/>	発達障害のある学生の保護者の理解
<input type="checkbox"/>	支援体制・部署間連携
<input type="checkbox"/>	個人情報取り扱い
<input type="checkbox"/>	その他

(2) 発達障害が疑われ、なんらかの支援を行なっている学生数
発達障害がないが、発達障害ではないかと懸念し、なんらかの支援(教育上の配慮等)を行なっている学生がいる場合、学科(専攻)別にその数を記入し、その学生に対して行なっている支援を次の欄に記入していただく。なお、このシートで計上した学生数は17. 障害学生数には含まれません。

Table with columns for 学科学 (人文科学, 社会科学, 理工学, 農学) and 保健 (医・歯学). Rows include 発達障害 (発達障害・配慮有), 発達障害 (発達障害・配慮無), and 支援学生数. Includes a list of 28 support categories and a grid for recording student counts.

※この表を基に学生の具体的な支援の具体的な内容を記載してください。
障害種別

Table with columns for 学科学 (人文科学, 社会科学, 理工学, 農学) and 保健 (医・歯学). Rows include 発達障害 (発達障害・配慮有), 発達障害 (発達障害・配慮無), and 支援学生数. Includes a list of 28 support categories and a grid for recording student counts.

※この表を基に学生の具体的な支援の具体的な内容を記載してください。
障害種別

【1】学部 (通学課程) 学科 (専攻) の保健 (医・歯学を除く) 〜その他

Table with columns for 保健 (医・歯学を除く) and 学部 (通学課程). Rows include 発達障害 (発達障害・配慮有), 発達障害 (発達障害・配慮無), and 支援学生数. Includes a list of 28 support categories and a grid for recording student counts.

※この表を基に学生の具体的な支援の具体的な内容を記載してください。
障害種別

Table with columns for 保健 (医・歯学を除く) and 学部 (通学課程). Rows include 発達障害 (発達障害・配慮有), 発達障害 (発達障害・配慮無), and 支援学生数. Includes a list of 28 support categories and a grid for recording student counts.

※この表を基に学生の具体的な支援の具体的な内容を記載してください。
障害種別

13. 意見、要望

(1) 障害学生支援について、課題と感じられていること、お困りになっていることがありましたら、ご記入ください。

(2) 障害学生の進路、就労、キャリア教育等に関して、課題と感じられていることがありましたら、ご記入ください。

(3) 日本学生支援機構の障害学生支援の取組について、ご意見、ご要望をご記入ください。

◆ご協力ありがとうございました◆

ご記入内容を再度ご確認ください。「調査の手引」をご参照の上、読み取りパスワードでロックしたファイルをJASSOまでメールにてご送付ください。

平成 30 年度（2018 年度）
大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

平成 31 年 3 月

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部 障害学生支援課

〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1

TEL 03-5520-6176 FAX 03-5520-6051

E-mail:tokubetsushien@jasso.go.jp

